

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
全学共通	伊藤創	GLS105-Y51	日本事情	本講義では、政治、社会、文化、歴史、宗教、生活習慣、社会問題など様々な側面から、日本を捉えることによって、日本への理解を深めることを目的とする。また、その過程で、今後、日本が、あるいは世界がどのような方向に進んでいくべきかを議論し、論理的かつ柔軟な思考を養う。本授業は、英語と日本語の両方で行う。また時事的な問題を取り込むこと、また留学生の国籍や人数によって、比較すべき項目を柔軟にシフトしながら授業で扱う項目を変更しつつ行っていくので、本シラバスに記載されていない日本の側面を扱うこともある。	2
全学共通	山本昌宏	SVL101-Y71	サービ斯拉ーニングA	◎背景及び目的 刑法犯認知件数は平成14年以降毎年減少しているものの、高齢者を狙った悪質な特殊詐欺等が年々増加の一途をたどり体感治安に悪影響を及ぼしている。昨年1年間の被害状況(全国)は、13,526件認知・被害額277.8億円にのぼり、なかでも高齢者(65歳以上)の被害が全体の85.7%を占め、高齢者の被害防止が課題となっている。そこで、大学近郊に居住する高齢者を対象として、寸劇及び紙芝居等により心に響く防犯啓発を展開し被害防止に資するものである。◎概要 ①特殊詐欺の発生実態等を図書やWebにて把握する ②三木警察署へ赴き現場での実態調査を行う ③高齢者の心に届く寸劇・紙芝居等の制作を行う ④三木市内の公民館にて、寸劇等の実演を行う ⑤振り返りの実施(日々の振り返りと総括の振り返りを行う)	1
全学共通	小川知子、幸泉正子	SPS901-Y51	特別研究Ⅰ(手話基礎)	目的:ユニバーサル社会、共生社会を具体的に進める際に必要なコミュニケーションツール(日本手話)を身につける。概要:音声言語と手話の違いなど手話言語の基礎知識を学ぶとともに、手話の習得と会話場面を想定した演習を行います。授業は聴覚障害のある講師と聞こえる講師の2名で担当します。聴覚障害者の様々な特性を理解し、対象者に合ったコミュニケーション方法を考えるとともに、視覚言語である手話を身につけ、手話を使うことで手話言語の普及と手話言語の継承に欠かせない手話コミュニティの構築に寄与する。(社会的貢献性 多様性理解 コミュニケーションスキル)	1
全学共通	森啓二	PED320-M01	生徒・進路指導論(中・高)	1 教育活動全体を通して、生徒指導の考え方や目標を理解する。2 生徒指導の基礎・基本を踏まえたうえで、自分なりの生徒指導の具体的な進め方や留意点をレポートにまとめる。3 キャリア教育の考え方と具体的な指導方法を理解する。4 地域との連携など、これからの生徒指導及びキャリア教育の在り方を考える。	2
全学共通	川脇康生、村田昌彦	GLS201-G81	グローバルスタディⅡ	本プログラムは、ウタラマレーシア大学(UUM)を拠点に、多国籍学生と共に、今後アジア圏で求められるグローバルな防災対策についてリサーチを行い、それを踏まえた防災教育を実践するものである。気候変動は、地球規模の安全保障及び経済の繁栄に脅威をもたらす最も深刻な課題の一つと捉えられている。近年、わが国でも多くの台風被害が発生しているが、経済発展を続ける東南アジアの各都市においても気候変動に伴う洪水や干ばつ等の被害が深刻度を増している。本プログラムではマレーシアの首都クアラルンプールおよび北部クダ州を訪問し、洪水・干ばつ等の被害の現状と減災対策について学ぶとともに、日本において展開されている減災対策等の技術も踏まえたうえで、現地の実情に応じた対策を考える。とりわけ、本プログラムでは、調査や提案に留まることなく、安全・安心な地域づくりへの具体的な取り組みとして、実際に現地の小学校を訪問し、子供たちに対して防災教育を実践する予定である。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
全学共通	村田昌彦	GLB302-M51	国際防災協力	大災害発生時には、海外からの被災地支援が必要となる。本授業では、国際的な災害支援の仕組みやシステム、さらに、わが国の具体的な国際支援や受援の実績などについて、実際に国際防災協力関係の仕事を行っている実務家を授業に呼び、実体験に基づく話を聞き、国際防災協力について体系的に学ぶ。	2
全学共通	村田昌彦	GLB302-y51	国際防災協力	大災害発生時には、海外からの被災地支援が必要となる。本授業では、国際的な災害支援の仕組みやシステム、さらに、わが国の具体的な国際支援や受援の実績などについて、実際に国際防災協力関係の仕事を行っている実務家を授業に呼び、実体験に基づく話を聞き、国際防災協力について体系的に学ぶ。	2
全学共通	村田昌彦	MNG305-M01	セーフティマネジメント論	具体的な各種の危機事案対応などを通じて、「地域防災減災論」で学んだ防災・減災についての体系的な知識をさらに深め、災害をイメージする力をより高めることにより、様々な危機に対する事前対策、予防、対応など、社会のいかなる分野においても有効となる安全・安心を担保する力を身につける。	2
全学共通	村田昌彦	MNG305-y01	セーフティマネジメント論	具体的な各種の危機事案対応などを通じて、「地域防災減災論」で学んだ防災・減災についての体系的な知識をさらに深め、災害をイメージする力をより高めることにより、様々な危機に対する事前対策、予防、対応など、社会のいかなる分野においても有効となる安全・安心を担保する力を身につける。	2
全学共通	村田昌彦	NSC201-M01	防災入門（防災への理解と実践）	本授業では、今後ますます頻発し巨大化する各種災害をたくましく生き抜くために必要となる災害に対する基礎的な知識、災害への備え、災害発生時の対応などについて体系的に学習する。さらに、履修者には、全国的に認知されている「防災士」の資格試験の受験機会を提供し、履修者全員が「防災士」の資格取得を目指す<防災士教本、防災士試験受験料、防災士登録料（合計11,500円）の一部は、協力企業からの寄付金により補填され、自己負担金は3,500円。自己負担金は、履修登録時に必要書類に添えて納入すること。なお、試験に不合格でも返金はしません>	2
全学共通	村田昌彦	REG305-M01	コミュニティ防災	大災害に際してきわめて重要となる自助・共助について、実際の災害事例などを通じて理解し、地域コミュニティの一員として災害に事前に備え、災害発生時には迅速的確な対応を、自ら率先して行える力を身につける。	2
全学共通	村田昌彦	REG305-y01	コミュニティ防災	大災害に際してきわめて重要となる自助・共助について、実際の災害事例などを通じて理解し、地域コミュニティの一員として災害に事前に備え、災害発生時には迅速的確な対応を、自ら率先して行える力を身につける。	2
全学共通	村田昌彦	REG306-M51	防災教育	【本授業では、企業防災を行うための防災教育を主眼とする】 大災害において企業に対する被害を最小限にとどめ、企業活動を迅速に再開し、企業を存続させるために必用となる、災害への備え、災害後の対応についての知識や対処法を、過去の災害における企業対応の成功・失敗事例などから学ぶ。	2
全学共通	村田昌彦	REG306-y51	防災教育	【本授業では、企業防災を行うための防災教育を主眼とする】 大災害において企業に対する被害を最小限にとどめ、企業活動を迅速に再開し、企業を存続させるために必用となる、災害への備え、災害後の対応についての知識や対処法を、過去の災害における企業対応の成功・失敗事例などから学ぶ。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
全学共通	村田昌彦	RSM102-M01	地域防災減災論	本授業では、今後ますます頻発し巨大化する各種災害をたくましく生き抜くために必要となる災害に対する基礎的な知識、災害への備え、災害発生時の対応などについて体系的に学習する。さらに、履修者には、全国的に認知されている「防災士」の資格試験の受験機会を提供し、履修者全員が「防災士」の資格取得を目指す<防災士教本、防災士試験受験料、防災士登録料（合計11,500円）の一部は、協力企業からの寄付金により補填され、自己負担金は3,500円。自己負担金は、履修登録時に必要書類に添えて納入すること。なお、試験に不合格でも返金はしません>	2
全学共通	村田昌彦	RSM102-Y71	地域防災減災論	本授業では、今後ますます頻発し巨大化する各種災害をたくましく生き抜くために必要となる災害に対する基礎的な知識、災害への備え、災害発生時の対応などについて体系的に学習する。さらに、履修者には、全国的に認知されている「防災士」の資格試験の受験機会を提供し、履修者全員が「防災士」の資格取得を目指す<防災士教本、防災士試験受験料、防災士登録料（合計11,500円）の一部は、協力企業からの寄付金により補填され、自己負担金は3,500円。自己負担金は、履修登録時に必要書類に添えて納入すること。なお、試験に不合格でも返金はしません>	2
全学共通	村田昌彦	RSM301-M51	企業危機管理論	【本授業では、企業防災を行うための防災教育を主眼とする】 大災害において企業に対する被害を最小限にとどめ、企業活動を迅速に再開し、企業を存続させるために必用となる、災害への備え、災害後の対応についての知識や対処法を、過去の災害における企業対応の成功・失敗事例などから学ぶ。	2
全学共通	村田昌彦、田中綾子	CB0176-Y71	地域防災減災論	本授業では、今後ますます頻発し巨大化する各種災害をたくましく生き抜くために必要となる災害に対する基礎的な知識、災害への備え、災害発生時の対応などについて体系的に学習する。さらに、履修者には、全国的に認知されている「防災士」の資格試験の受験機会を提供し、履修者全員が「防災士」の資格取得を目指す<防災士教本、防災士試験受験料、防災士登録料（合計11,500円）の一部は、協力企業からの寄付金により補填され、自己負担金は3,500円。自己負担金は、履修登録時に必要書類に添えて納入すること。なお、試験に不合格でも返金はしません>	2
全学共通	村田昌彦、田中綾子	NSC201-A81	防災入門（防災への理解と実践）	本授業では、今後ますます頻発し巨大化する各種災害をたくましく生き抜くために必要となる災害に対する基礎的な知識、災害への備え、災害発生時の対応などについて体系的に学習する。さらに、履修者には、全国的に認知されている「防災士」の資格試験の受験機会を提供し、履修者全員が「防災士」の資格取得を目指す<防災士教本、防災士試験受験料、防災士登録料（合計11,500円）の一部は、協力企業からの寄付金により補填され、自己負担金は3,500円。自己負担金は、履修登録時に必要書類に添えて納入すること。なお、試験に不合格でも返金はしません>	2
全学共通	村田昌彦、田中綾子	NSC202-A81	地域防災減災論	本授業では、今後ますます頻発し巨大化する各種災害をたくましく生き抜くために必要となる災害に対する基礎的な知識、災害への備え、災害発生時の対応などについて体系的に学習する。さらに、履修者には、全国的に認知されている「防災士」の資格試験の受験機会を提供し、履修者全員が「防災士」の資格取得を目指す<防災士教本、防災士試験受験料、防災士登録料（合計11,500円）の一部は、協力企業からの寄付金により補填され、自己負担金は3,500円。自己負担金は、履修登録時に必要書類に添えて納入すること。なお、試験に不合格でも返金はしません>	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
全学共通	村田昌彦、田中綾子	RSM102-A81	地域防災減災論	本授業では、今後ますます頻発し巨大化する各種災害をたくましく生き抜くために必要となる災害に対する基礎的な知識、災害への備え、災害発生時の対応などについて体系的に学習する。さらに、履修者には、全国的に認知されている「防災士」の資格試験の受験機会を提供し、履修者全員が「防災士」の資格取得を目指す<防災士教本、防災士試験受験料、防災士登録料（合計11,500円）の一部は、協力企業からの寄付金により補填され、自己負担金は3,500円。自己負担金は、履修登録時に必要書類に添えて納入すること。なお、試験に不合格でも返金はしません>	2
全学共通	天野義美	PED402-M51	特別活動の指導法	[授業の目的] 特別活動は、小・中・高・特別支援学校の教育課程に位置付く教育活動である。従って、学校現場では、自己が担当する教科の如何に関わらず特別活動の指導にあたらなければならない。当授業では、特別活動の目標、意義、内容や、指導方法の基本的なあり方を理解することが目的である。[授業の概要] 「人間形成の基本となる教育活動は特別活動である」という視点から、特別活動の特質や意義、活動内容、指導方法などについて考察する。一方的な講義に終始するのではなく、課題についての話し合いや具体的な実践事例を参考にしながら、特別活動の大切さを追究する。	2
全学共通	天野義美	PED402-Y51	特別活動の指導法	[授業の目的] 特別活動は、小・中・高・特別支援学校の教育課程に位置付く教育活動である。従って、学校現場では、自己が担当する教科の如何に関わらず特別活動の指導にあたらなければならない。当授業では、特別活動の目標、意義、内容や、指導方法の基本的なあり方を理解することが目的である。[授業の概要] 「人間形成の基本となる教育活動は特別活動である」という視点から、特別活動の特質や意義、活動内容、指導方法などについて考察する。一方的な講義に終始するのではなく、課題についての話し合いや具体的な実践事例を参考にしながら、特別活動の大切さを追究する。	2
全学共通	田中綾子	RSM102-Y81	地域防災減災論	本授業では、今後ますます頻発し巨大化する各種災害をたくましく生き抜くために必要となる災害に対する基礎的な知識、災害への備え、災害発生時の対応などについて体系的に学習する。さらに、履修者には、全国的に認知されている「防災士」の資格試験の受験機会を提供し、履修者全員が「防災士」の資格取得を目指す<防災士教本、防災士試験受験料、防災士登録料（合計11,500円）の一部は、協力企業からの寄付金により補填され、自己負担金は3,500円。自己負担金は、履修登録時に必要書類に添えて納入すること。なお、試験に不合格でも返金はしません>	2
全学共通 合計					46

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
教育学部 教育福祉学科	岡修一	PED402-A01	特別活動の指導法	新学習指導要領の中で、小学校特別活動が改善された基本方針、具体的事項を知り、この教育活動のめざしているものを確実に理解しておくことは大切である。また、各活動・学校行事の改善のポイント・教育活動の内容・指導計画の作成・他の教育活動との関連等を具体的に調べることから、特別活動の基本的な性格と教育的意義の理解を深めることをねらいとしている。さらに、今小学校現場で取り組まれている特別活動の情報を収集して、グループワークなどから、具体的な活動計画の作成に取り組んでいきたい。また、学校教育全体における特別活動の意義を理解し、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の三つの視点や「チームとしての学校」の視点を持つと共に、学年の違いによる活動の変化、各教科等との往還的な関連、地域住民や他校の教職員と連携した組織的な対応等の特別活動の特質を踏まえた指導に必要な知識や素養を身に付ける。	2
教育学部 教育福祉学科	岡修一	PED402-A03	特別活動の指導法	新学習指導要領の中で、小学校特別活動が改善された基本方針、具体的事項を知り、この教育活動のめざしているものを確実に理解しておくことは大切である。また、各活動・学校行事の改善のポイント・教育活動の内容・指導計画の作成・他の教育活動との関連等を具体的に調べることから、特別活動の基本的な性格と教育的意義の理解を深めることをねらいとしている。さらに、今小学校現場で取り組まれている特別活動の情報を収集して、グループワークなどから、具体的な活動計画の作成に取り組んでいきたい。また、学校教育全体における特別活動の意義を理解し、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の三つの視点や「チームとしての学校」の視点を持つと共に、学年の違いによる活動の変化、各教科等との往還的な関連、地域住民や他校の教職員と連携した組織的な対応等の特別活動の特質を踏まえた指導に必要な知識や素養を身に付ける。	2
教育学部 教育福祉学科	岡修一、小笠原侃、水本隆正	PED316-A04	小学校教育実習Ⅰ	この科目は、小学校教員になるにあたって実際の教育活動を直に体験・実践するものです。【概要】 教育実習は、将来教師になろうとする人が、一定の期間、学校教育の実際の中で、経験豊富な教師の指導を受けながら、児童と直接交流し、実際の教育活動を身をもって体験、実践するものです。実習において、小学校の校務や教科指導等全般にわたって理解を深め、教師の生き方や指導する姿に具体的に触れる機会であり、教師としての必要な知識、指導技術、姿勢・態度等を身に付けるための重要な役割を持っています。小学校教師養成のための教育実習は、特に重要な位置を占めており、そこで学んだ学習技術や教師としての姿勢・態度などは、これからの大学での学習にも大きな影響を与えるものです。	2
教育学部 教育福祉学科	岡修一、小笠原侃、水本隆正	PED317-A04	小学校教育実習Ⅱ	この科目は、小学校教員になるにあたって実際の教育活動を直に体験・実践するものです。【概要】 教育実習は、将来教師になろうとする人が、一定の期間、学校教育の実際の中で、経験豊富な教師の指導を受けながら、児童と直接交流し、実際の教育活動を身をもって体験、実践するものです。実習において、小学校の校務や教科指導等全般にわたって理解を深め、教師の生き方や指導する姿に具体的に触れる機会であり、教師としての必要な知識、指導技術、姿勢・態度等を身に付けるための重要な役割を持っています。小学校教師養成のための教育実習は、特に重要な位置を占めており、そこで学んだ学習技術や教師としての姿勢・態度などは、これからの大学での学習にも大きな影響を与えるものです。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
教育学部 教育福祉学科	下里里枝	EED203-A01	保育内容総論	1、保育所保育指針・幼稚園教育要領における「保育の目標」[育みたい資質・能力]「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「保育の内容」の関連を理解する。2、保育所保育指針・幼稚園教育要領の各章のつながりを読み取り、保育の全体的な構造を理解する。3、子どもの発達や生活を取り巻く社会的背景及び保育の内容の歴史の変遷等を踏まえ、保育の内容の基本的な考え方を、子どもの発達や実態に即した具体的な保育の過程（計画・実践・記録・省察・評価・改善）につなげて理解する。4、保育の多様な展開について具体的に理解する。	1
教育学部 教育福祉学科	下里里枝	EED203-A02	保育内容総論	1、保育所保育指針・幼稚園教育要領における「保育の目標」[育みたい資質・能力]「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「保育の内容」の関連を理解する。2、保育所保育指針・幼稚園教育要領の各章のつながりを読み取り、保育の全体的な構造を理解する。3、子どもの発達や生活を取り巻く社会的背景及び保育の内容の歴史の変遷等を踏まえ、保育の内容の基本的な考え方を、子どもの発達や実態に即した具体的な保育の過程（計画・実践・記録・省察・評価・改善）につなげて理解する。4、保育の多様な展開について具体的に理解する。	1
教育学部 教育福祉学科	下里里枝	EED307-A01	保育実習Ⅱ事前事後指導	1、保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解する。2、実習や既習の教科目の内容や、その関連性を踏まえ、保育の実践力を習得する。3、保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、実践や事例を通して理解する。4、保育士の専門性と職業倫理について理解する。5、実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。	1
教育学部 教育福祉学科	下里里枝	EED313-A51	乳児保育Ⅱ	1、乳児保育の発育、発達の過程や特性を踏まえた生活や遊びの援助や関わりの基本的な考え方について理解する。2、養護及び教育の一体性を踏まえ、乳児保育の方法及び環境構成について、具体的に理解する。3、乳児保育における配慮の実際について、具体的に理解する。4、上記1～3を踏まえ、乳児保育における指導計画の作成について、具体的に理解する。 ※「乳児保育」とは、3歳未満児を念頭においた保育を示す。	1
教育学部 教育福祉学科	下里里枝	EED313-A52	乳児保育Ⅱ	1、乳児保育の発育、発達の過程や特性を踏まえた生活や遊びの援助や関わりの基本的な考え方について理解する。2、養護及び教育の一体性を踏まえ、乳児保育の方法及び環境構成について、具体的に理解する。3、乳児保育における配慮の実際について、具体的に理解する。4、上記1～3を踏まえ、乳児保育における指導計画の作成について、具体的に理解する。 ※「乳児保育」とは、3歳未満児を念頭においた保育を示す。	1
教育学部 教育福祉学科	下里里枝、中西一彦、水本隆正、三好徹明、百瀬和夫、吉田武大	INT201-A01	教育保育インターンシップⅡ	教育保育インターンシップⅡは、教育・保育現場における活動を中心として、教育現場への理解を深めることを目指す。教育現場における現状と課題を学習する。一人ひとりが課題を持ち、多様な体験することを通して問題解決の糸口を探ることができれば、教育・保育実習につながることになる。また、グループワークを通して情報の共有を図り、研究を進めていくことにより、教育・保育現場理解という目的達成をより確かなものにする。さらに毎回の活動記録を書くことや、担当教員の指導を受け、疑問や問題を解決し、実践的能力が高まっていくことを目的とする。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
教育学部 教育福祉学科	下里里枝、中西一彦、水本隆正、三好徹明、百瀬和夫、吉田武大	INT212-A01	インターンシップⅡ	教育保育インターンシップⅡは、教育・保育現場における活動を中心として、教育現場への理解を深めることを目指す。教育現場における現状と課題を学習する。一人ひとりが課題を持ち、多様な体験することを通して問題解決の糸口を探ることができれば、教育・保育実習につながることになる。また、グループワークを通して情報の共有を図り、研究を進めていくことにより、教育・保育現場理解という目的達成をより確かなものにする。さらに毎回の活動記録を書くことや、担当教員の指導を受け、疑問や問題を解決し、実践的能力が高まっていくことを目的とする。	2
教育学部 教育福祉学科	下里里枝、椋田善之	EED220-A02	保育実習Ⅰ（保育所）	1 保育実習の意義・目的を理解する。2 実習の内容を理解し、自らの実習の課題を明確にする。3 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。4 実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解する。5 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標を明確にする。	2
教育学部 教育福祉学科	下里里枝、椋田善之	EED312-A53	幼稚園教育実習事前事後指導	これまで学んできた幼児教育にかかわる専門的知識や技能を基礎に、実習という実践現場で総合的に能力が発揮できるための準備を進めていく。また、何のために幼稚園教育実習に行くのか、実習先はどのような所なのか、実習はどのようなことをするのかなどを理解させ、実習を効果的に行うための動機付けを行う。実習に必要な社会人としてのマナーの自覚や意識化、実習園でのオリエンテーションの持ち方、事務的な手続きについても具体的に指導を行う。事後指導は、実習体験をどのように捉えているか、実習の学びを考えさせる。実習日誌や実習園の評価を基に振り返り、次回の実習に活かせるよう新たな課題について学び、発揮できるようにする。	1
教育学部 教育福祉学科	梶正義、中尾繁樹	SED403-A01	教育実習(特別支援学校)	教育実習は、教職資格を取得するための必須の専門科目であり、教育の実際場面での研究と指導力を高めることがねらいである。そのため、教育実習にあたっては、その意義や目的、教育指導上基本となる事項等について正しく、深く理解しておかねばならない。実習事前事後指導は、教育実習で学ばなければならない事項の学習のみでなく、教師としてのあり方、姿勢も含め、きわめて重要な学習であるといえる。教育実習は広い領域に渡って教員としての全てを学び取るようとするものであるため、事前事後指導の学習が実習だけでなく、今後の進路に影響することもある重要な役割を担っているのが本科目の大きな特徴である。	3
教育学部 教育福祉学科	岩本裕子	SMN401-A10	卒業研究	専門演習Ⅲ、Ⅳで行った研究を基盤にそれぞれが研究テーマを深め、大学における研究の集大成として卒業論文を完成させることがこの卒業研究の目的です。研究テーマは、明確な研究目的に沿った具体的なものとし、研究目的に適合した研究方法により「研究計画書」を策定し、先行研究の十分な検討を行い研究を深めるものです。	4
教育学部 教育福祉学科	岩本裕子、道中 隆	SMN401-A52	卒業研究	専門演習Ⅲ、Ⅳで行った研究を基盤にそれぞれが研究テーマを深め、大学における研究の集大成として卒業論文を完成させることがこの卒業研究の目的です。研究テーマは、明確な研究目的に沿った具体的なものとし、研究目的に適合した研究方法により「研究計画書」を策定し、先行研究の十分な検討を行い研究を深めるものです。	4

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
教育学部 教育福祉学科	松尾和宣	PED223-A01	生活	この科目は、小学校生活科の目標を理解し、指導力の基礎を身に付けることを目的とします【授業の概要】○小学校生活科の成立過程から、幼稚園・保育園との接続の重要性について学ぶ○生活科の単元の概要を捉える○学習内容に応じた活動計画の作成・活動案を立案する○模擬授業やグループワークなどの体験を通して、授業の奥深さや面白さを体感する	2
教育学部 教育福祉学科	松尾和宣	PED224-A51	総合的な学習の時間の指導法（小）	この科目は、小学校総合的な学習成立の背景とその理念を捉え、探究的な活動について協議することを目的とします【授業の概要】○小学校総合的な学習の時間の基本理念（目標・内容等）について学ぶ○活動内容に応じたテーマ設定、活動計画、活動案の作成法について学ぶ○作成した活動案の検討・分析を通して、授業技術について学ぶ○グループワーク、模擬授業等の活動を通して、授業の奥深さ、面白さを体感する○SDGsをテーマにした教材開発に取り組む	1
教育学部 教育福祉学科	松尾和宣	PED301-A01	初等社会科教育法	この科目は、小学校教師として社会科の目標を理解し、授業の基礎を身に付けることを目的とします。【授業の概要】○小学校社会科の基本理念（目標・特性等）について学ぶ。○学習内容に応じた指導計画の作成法。指導計画に基づく指導案の作成法。○作成した指導案の検討・分析などを通して、授業技術について学ぶ。○模擬授業やグループワークなどの体験を通して、授業の奥深さ、面白さを体感する。	2
教育学部 教育福祉学科	松尾和宣	PED304-A01	初等生活科教育法	この科目は、小学校教師として生活科の目標を理解し、指導法の基礎を身に付けることを目的とします【講義の概要】○生活科の基本理念について理解する。○生活科の学習指導に必要な基礎知識や教育技術について学ぶ○生活科の学習内容に応じた指導計画の作成法。指導計画に基づく指導案の作成法について学ぶ○作成した指導案の検討・分析などを通して、授業技術について学ぶ○発表活動やグループワークなどを通して、授業のおもしろさ難しさなどの体験をする。	2
教育学部 教育福祉学科	松尾和宣	PED312-A01	社会 I	この科目は、特に小学校3年・4年生の教材について、教材研究していきます。【講義の概要】○学習指導要領における小学校社会科教育の目標・内容等のねらいやポイントを理解しつつ社会科の教育実践につなげる。 ・小学校社会科教育の目標・内容と具体的な実践との比較研究 ・社会科教育における資料の活用を中心として学習スキルを検討・研究する ・発表活動、グループワークなどの体験を通じた指導法の研究 【対応する学科の学修目標】①教育や福祉に関する様々な研究方法を活用し、教育・社会事象を理解し、分析できる。 ・教育・社会事象を教育や福祉の観点から特定の研究方法を使って説明できるようにする。（レベル2）【学期の主題：3年春学期（未来に向けた持続可能性）との関連】 「安全」で「安心」な学級経営を持続させるための柱となる学習指導の技術について、社会科を通して考えを深める。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
教育学部 教育福祉学科	松尾和宣	PED313-A51	社会Ⅱ	この科目は、特に小学校5年/年生の単元についての教材研究を目的とします【授業の概要】○社会Ⅰで学んだ小学校社会科教育の目標・内容等のねらいやポイントなどの理解を深め、社会科の教育実践力向上をめざす。○小学校社会科教育の目標・内容と具体的な実践との比較研究○社会科教育における資料の活用を中心とした学習スキルを検討・研究する○発表活動、グループワークなどの体験を通した指導法の研究【対応する学科の学修目標】②教育・社会事象に関して、教育学や社会福祉学の体系的な知識を使って理論的に説明できる。・教育・社会現象を、教育、福祉の観点から、特定の研究方法を使って説明することができる。【学期の主題：3年秋学期（グローバル化への対応）】学習指導要領の社会科の目標には、「我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う」とある。グローバル化社会に生きていく、子どもたちの資質の基礎を養うというねらいをふまえて社会科教育を考えることができるようにする。	2
教育学部 教育福祉学科	松尾和宣	PED316-A01	小学校教育実習Ⅰ	この科目は、小学校教員になるにあたって実際の教育活動を直に体験・実践するものです。【概要】教育実習は、将来教師になろうとする人が、一定の期間、学校教育の実際の場で、経験豊富な教師の指導を受けながら、児童と直接交流し、実際の教育活動を身をもって体験、実践するものです。実習において、小学校の校務や教科指導等全般にわたって理解を深め、教師の生き方や指導する姿に具体的に触れる機会であり、教師としての必要な知識、指導技術、姿勢・態度等を身に付けるための重要な役割を持っています。小学校教師養成のための教育実習は、特に重要な位置を占めており、そこで学んだ学習技術や教師としての姿勢・態度などは、これからの大学での学習にも大きな影響を与えるものです。	2
教育学部 教育福祉学科	松尾和宣	PED317-A01	小学校教育実習Ⅱ	この科目は、小学校教員になるにあたって実際の教育活動を直に体験・実践するものです。【概要】教育実習は、将来教師になろうとする人が、一定の期間、学校教育の実際の場で、経験豊富な教師の指導を受けながら、児童と直接交流し、実際の教育活動を身をもって体験、実践するものです。実習において、小学校の校務や教科指導等全般にわたって理解を深め、教師の生き方や指導する姿に具体的に触れる機会であり、教師としての必要な知識、指導技術、姿勢・態度等を身に付けるための重要な役割を持っています。小学校教師養成のための教育実習は、特に重要な位置を占めており、そこで学んだ学習技術や教師としての姿勢・態度などは、これからの大学での学習にも大きな影響を与えるものです。	2
教育学部 教育福祉学科	松尾和宣	PED318-A02	教育実習事前事後指導	この科目は、小学校教師として教育現場での研究と指導力を身に付けることを目的とします【概略】教育実習は、教職資格を取得するための必須の専門科目であり、教育の実際場面での研究と指導力を高めることがねらいである。そのため、教育実習にあたっては、その意義や目的、教育指導上基本となる事項等について正しく、深く理解しておかねばならない。さらに、人間を育てていくという学校教育の場で知っておかなければならないルールや守らなければならない規律・規則など事前に学んでおくべきことが多くある。それらを総じて、実習事前事後指導は、教育実習で学ばなければならない事項の学習のみでなく、教師としてのあり方、姿勢も含め、きわめて重要な学習であるといえる。教育実習は広い領域に渡って教員としての全てを学び取ろうとするものであるため、事前事後指導の学習が実習だけでなく、今後の進路に影響することもある重要な役割を担っているのが本科目の大きな特徴である。	1

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
教育学部 教育福祉学科	松本恵美子	EED202-A01	社会的養護	近年、児童を取り巻く社会環境は大きく変化し、児童が安心して暮らせるものではなくってきている。子供の貧困、児童虐待等、明らかに子どもの人権が侵害されている実態が毎日のようにニュースとして伝わって来る。このように、社会によって守られるべき（養護されるべき）子どもの実態は大きく変化し、従って、その支援に求められるものも変わりつつある。このような状況に対して、私たちに何ができるのかを考えるために、社会が児童の人権と命を守るために行ってきたことの歴史や法・制度について学び、学ぶことで会的養護とは何かについて学ぶ。そして、社会的養護を担う保育士に求められる専門性や支援のあり方について学び、専門職としての資質を高める。	2
教育学部 教育福祉学科	松本恵美子	EED308-A01	保育実習Ⅲ事前事後指導	①さまざまな種類の施設の子どもの抱える問題と、その生活を知り、理解をする。②さまざまな種類の施設の果たしている役割を理解する。③施設の子どもの支援の方法を学び、一人一人の子どもに合わせたコミュニケーションの取り方を学ぶ。④施設職員の仕事内容を知り、保育士の専門性について学ぶ	1
教育学部 教育福祉学科	松本恵美子	EED308-A02	保育実習Ⅲ事前事後指導	①さまざまな種類の施設の子どもの抱える問題と、その生活を知り、理解をする。②さまざまな種類の施設の果たしている役割を理解する。③施設の子どもの支援の方法を学び、一人一人の子どもに合わせたコミュニケーションの取り方を学ぶ。④施設職員の仕事内容を知り、保育士の専門性について学ぶ	1
教育学部 教育福祉学科	松本恵美子	EED308-A03	保育実習Ⅲ事前事後指導	①さまざまな種類の施設の子どもの抱える問題と、その生活を知り、理解をする。②さまざまな種類の施設の果たしている役割を理解する。③施設の子どもの支援の方法を学び、一人一人の子どもに合わせたコミュニケーションの取り方を学ぶ。④施設職員の仕事内容を知り、保育士の専門性について学ぶ	1
教育学部 教育福祉学科	上原昭三	PED212-A01	算数Ⅰ	<授業の目的>小学生に興味深い算数指導を行うために、算数科の具体的な内容（教材）について理解を深め、必要な知識や考え方を身につけることを目的としています。<授業の概要>この科目では、授業の目的を達成するため、講義、演習を通して次の①～④を行います。①児童目線に立って教材（小学校教科書）を読み解き、その狙いや考え方、工夫について他者に解説する。②児童に興味を持たせ、算数授業を深めるための算数・数学に関する知識や理論について学ぶ。③児童に分かりやすく説明できることを目指した、具体的な算数問題の解答・解説を作成する。④①～③を踏まえ、児童が算数を好きになる教材を作成する	2
教育学部 教育福祉学科	上原昭三	PED302-A01	初等算数科教育法	<授業の概要>小学校で実際に算数の授業を行うこと（教育実習含む）を念頭に置いて、それに必要な知識・技能・考え方について、学習指導要領等を踏まえて理論的に学ぶとともに、模擬授業づくりなどのグループワークや演習を通して実践的に磨いていく。<授業の目的>算数科における教育目標、目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる数学の理論や法則と関連させて理解を深めるとともに算数教育の理論をはじめとしたさまざまな学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。	2
教育学部 教育福祉学科	上原昭三	PED309-A51	道徳教育の指導法	<授業の目的>学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科の目標や内容、指導計画等について理解を深めるとともに、道徳教育に関する実践的な指導力を身に付ける。<授業の概要> ①学習指導要領解説などの記述を基に、講義や演習を通して、道徳の意義や原理等について理解を深め、道徳科の目標や内容、指導計画等について学ぶ。②学んだ知識・技能を活用して、教材研究や学習指導案の作成、模擬授業を行う。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
教育学部 教育福祉学科	上原昭三	PED309-A52	道徳教育の指導法	<授業の目的>学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科の目標や内容、指導計画等について理解を深めるとともに、道徳教育に関する実践的な指導力を身に付ける。<授業の概要> ①学習指導要領解説などの記述を基に、講義や演習を通して、道徳の意義や原理等について理解を深め、道徳科の目標や内容、指導計画等について学ぶ。②学んだ知識・技能を活用して、教材研究や学習指導案の作成、模擬授業を行う。	2
教育学部 教育福祉学科	上原昭三	PED319-A51	算数Ⅱ	興味深い算数指導を行うことを念頭に、算数Ⅰでの学修を1歩進めた、知識・技能・考え方を身につけることをめざし、以下のことを行う。・問題演習を通じて算数・数学的な知識および考え方を深める。・実践事例を参照しながら、(子どもたちの)日常事象や身近にある素材を活かした教材(教具)づくりの考え方や方法について学ぶ。・自らのアイデアを生かし、子どもの算数概念を形成する教材(教具)を作成する。・自ら開発した教材(教具)について、ワークショップを実施し、考えを交流する。	2
教育学部 教育福祉学科	上原昭三、三好徹明	INT102-A01	教育保育インターンシップⅠ	授業の概要 小学校の教育現場において、夏学期中(主に9月)に、各職場の通常業務を体験する。また、それに向けての事前学習および事後学習(体験の振り返り、発表など)を行う。具体的な内容は以下の通り。・小学校でのインターンシップの目的、ねらい、内容を学びます。・夏学期に行う「インターンシップⅠ」に向けての準備と予備知識の獲得を目指します。・小学校の概要と、そこでの1日の生活内容、教師としての仕事の内容を学びます。・2年次からの「教育保育インターンシップⅡ」や教育実習(3年次)に備え、職場体験の基礎・基本を学びます。・社会人としてのマナー、法令遵守、守秘義務などについての理解を深めます。・夏学期に行う「インターンシップⅠ」に向けての準備と予備知識の獲得を目指します。・インターンシップの振り返りを行い、課題を見出すことでそれからの学内での学びに活かします。 授業の目的 目的意識を持ち、学内での科目と関連させ小学校で職場体験を行うことにより、教員に必要な実践的能力を高めるとともに、自らの社会性や人間性を培う。	2
教育学部 教育福祉学科	上原昭三、三好徹明	INT107-A01	インターンシップⅠ	授業の概要 小学校の教育現場において、夏学期中(主に9月)に、各職場の通常業務を体験する。また、それに向けての事前学習および事後学習(体験の振り返り、発表など)を行う。具体的な内容は以下の通り。・小学校でのインターンシップの目的、ねらい、内容を学びます。・夏学期に行う「インターンシップⅠ」に向けての準備と予備知識の獲得を目指します。・小学校の概要と、そこでの1日の生活内容、教師としての仕事の内容を学びます。・2年次からの「教育保育インターンシップⅡ」や教育実習(3年次)に備え、職場体験の基礎・基本を学びます。・社会人としてのマナー、法令遵守、守秘義務などについての理解を深めます。・夏学期に行う「インターンシップⅠ」に向けての準備と予備知識の獲得を目指します。・インターンシップの振り返りを行い、課題を見出すことでそれからの学内での学びに活かします。 授業の目的 目的意識を持ち、学内での科目と関連させ小学校で職場体験を行うことにより、教員に必要な実践的能力を高めるとともに、自らの社会性や人間性を培う。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
教育学部 教育福祉学科	上原昭三、松本恵美子、百瀬和夫、吉田武大	CRE201-A01	仕事とキャリア形成Ⅰ	この授業では個人ワークやグループワークを用いて、職業や仕事に関する知識を広げていくとともに、自分の性格や価値観を客観的に把握して将来のキャリア像を考え、具体的な計画を立てていきます。みなさんの視野をひろげたり、視点を変えたり、様々な角度から社会や会社、仕事のことを見ていきます。第2部では、自分の特性・価値観などに気づき、その特性・価値観を生かせる職業は何か、その仕事をするためには今後どのような知識や技能を身につけなければならないのかを考え、短期的・中期的な計画を作成します。	2
教育学部 教育福祉学科	水本隆正	PED318-A04	教育実習事前事後指導	この科目は、小学校教師として教育現場での研究と指導力を身に付けることを目的とします 【概略】教育実習は、教職資格を取得するための必須の専門科目であり、教育の実際場面での研究と指導力を高めることがねらいである。そのため、教育実習にあたっては、その意義や目的、教育指導上基本となる事項等について正しく、深く理解しておかねばならない。さらに、人間を育てていくという学校教育の場で知っておかねばならないルールや守らなければならない規律・規則など事前学んでおくべきことが多くある。それらを総じて、実習事前事後指導は、教育実習で学ばなければならない事項の学習のみでなく、教師としてのあり方、姿勢も含め、きわめて重要な学習であるといえる。教育実習は広い領域に渡って教員としての全てを学び取ろうとするものであるため、事前事後指導の学習が実習だけでなく、今後の進路に影響することもある重要な役割を担っているのが本科目の大きな特徴である。	1
教育学部 教育福祉学科	大西洋史	EED208-A01	保育内容・表現Ⅰ	本科目では、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針及び幼稚園教育要領における領域「表現」について考察し、幼児の未分化な表現とその指導についての理解を深めます。本授業では特に、幼児の造形について取り扱い、幼児の造形作品を鑑賞したり、幼児の造形に関する研究に触れたりすることを通して幼児理解を進めるとともに、幼児と造形の関わり及びその活動の意義を学び、併せて基礎的指導力を養います。また描いたり、つくったり、みたりする活動を通して、互いの「違い」の面白さに気づき、色や形を介してのコミュニケーションの意義を認識します。それに加えて、その過程を通して自ら創造する喜びを味わい、保育者に必要とされる豊かな感性を自己の中に育てます。	1
教育学部 教育福祉学科	大西洋史	EED208-A02	保育内容・表現Ⅰ	本科目では、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針及び幼稚園教育要領における領域「表現」について考察し、幼児の未分化な表現とその指導についての理解を深めます。本授業では特に、幼児の造形について取り扱い、幼児の造形作品を鑑賞したり、幼児の造形に関する研究に触れたりすることを通して幼児理解を進めるとともに、幼児と造形の関わり及びその活動の意義を学び、併せて基礎的指導力を養います。また描いたり、つくったり、みたりする活動を通して、互いの「違い」の面白さに気づき、色や形を介してのコミュニケーションの意義を認識します。それに加えて、その過程を通して自ら創造する喜びを味わい、保育者に必要とされる豊かな感性を自己の中に育てます。	1
教育学部 教育福祉学科	大西洋史	EPE403-A51	造形Ⅱ	本科目では、図画工作科の「目標」「指導内容」「指導方法」「評価」を子どもの成長と表現・製作の発達といった観点や美術教育の歴史の変遷などから捉え直し、この教科の意味や価値についての認識を深めます。その上で、題材や授業を具体的に構想する力や子どもの自発的・主体的な学習を保障しながら授業を展開する力など、図画工作科に関する理論的・実践的力の形成をはかります。受講生の希望も取り入れながら様々な造形活動に取り組みます。その活動を通して造形教育の理念と方法を理解し、授業を計画実施できる能力を養います。	1

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
教育学部 教育福祉学科	大西洋史	PED203-A51	初等図画工作科教育法	本科目では、図画工作科の「目標」「指導内容」「指導方法」「評価」を子どもの成長と表現・製作の発達といった観点や美術教育の歴史の変遷などから捉え直し、この教科の意味や価値についての認識を深めます。その上で、題材や授業を具体的に構想する力や子どもの自発的・主体的な学習を保障しながら授業を展開する力など、図画工作科に関する理論的・実践的力量的形成をはかります。	2
教育学部 教育福祉学科	大西洋史	PED209-A01	図画工作Ⅰ	本科目では、図画工作科の「目標」「指導内容」「指導方法」「評価」を子どもの成長と表現・製作の発達といった観点や美術教育の歴史の変遷などから捉え直し、この教科の意味や価値についての認識を深めます。その上で、題材や授業を具体的に構想する力や子どもの自発的・主体的な学習を保障しながら授業を展開する力など、図画工作科に関する理論的・実践的力量的形成をはかります。特に、「造形遊び」、「絵や立体にあらわす」領域の題材について、製作を通して指導のポイントなどの理解を深め、授業を計画実施できる能力を養います。	1
教育学部 教育福祉学科	大西洋史	PED210-A51	図画工作Ⅱ	本科目では、図画工作科の「目標」「指導内容」「指導方法」「評価」を子どもの成長と表現・製作の発達といった観点や美術教育の歴史の変遷などから捉え直し、この教科の意味や価値についての認識を深めます。その上で、題材や授業を具体的に構想する力や子どもの自発的・主体的な学習を保障しながら授業を展開する力など、図画工作科に関する理論的・実践的力量的形成をはかります。特に、「工作にあらわす」、「鑑賞」領域の題材について、製作や活動を通して指導のポイントなどの理解を深め、授業を計画実施できる能力を養います。	1
教育学部 教育福祉学科	大西洋史、下里里枝、棕田善之、吉田武大	EED403-A51	教職実践演習（幼）	「教職実践演習（幼）」は、幼稚園教員免許、保育士資格の取得にとって必須の科目です。本科目では、教員・保育者として求められる、①使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項、②社会性や対人関係能力に関する事項、③こども理解やクラス運営等に関する事項、④保育内容等の指導力に関する事項について、総合的・横断的に学ぶと共に、実践について最終的な確認を行うこととなります。将来的に教育・保育に携わる際に有用な学修となります。	2
教育学部 教育福祉学科	大平誠也	EPE101-A01	体育指導Ⅰ	仲間との協同学修を通して、各種目の運動技能を高めるとともに、小学校における楽しい体育学習のあり方について実践的に学修し、不安感を改善する。・ボール運動プログラム（新聞紙を使った運動から）・体づくり運動プログラム（バランスボールを使った運動）小学校の体育指導の問題点は、低学年の指導にあることから想定される課題解決に取り組む。	1
教育学部 教育福祉学科	大平誠也	EPE101-A02	体育指導Ⅰ	仲間との協同学修を通して、各種目の運動技能を高めるとともに、小学校における楽しい体育学習のあり方について実践的に学修し、不安感を改善する。・ボール運動プログラム（新聞紙を使った運動から）・体づくり運動プログラム（バランスボールを使った運動）小学校の体育指導の問題点は、低学年の指導にあることから想定される課題解決に取り組む。	1

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
教育学部 教育福祉学科	大平誠也	PED102-A52	体育講義	体育指導Ⅰに引き続き、仲間との協同学修を通して、各種目の運動技能を高めるとともに、小学校における楽しい体育学習のあり方について実践的に学修する。・体づくり運動プログラム（コロナ予防に対応した体づくり；バランスボールを使って）・表現・体操運動プログラム（被災地との交流を踏まえた表現・体操運動；あんたがたどこさを使って）・ボール運動プログラム（ネット型 キャッチバレー、バレーボール、大会の運営）今回は、コロナ感染症、被災地支援などを通して困難な課題があっても学びを止めない体育について学修する。	2
教育学部 教育福祉学科	大平誠也	PED316-A03	小学校教育実習Ⅰ	この科目は、小学校教員になるにあたって実際の教育活動を直に体験・実践するものです。【概要】 教育実習は、将来教師になろうとする人が、一定の期間、学校教育の実際の場で、経験豊富な教師の指導を受けながら、児童と直接交流し、実際の教育活動を身をもって体験、実践するものです。 実習において、小学校の校務や教科指導等全般にわたって理解を深め、教師の生き方や指導する姿に具体的に触れる機会であり、教師としての必要な知識、指導技術、姿勢・態度等を身に付けるための重要な役割を持っています。 小学校教師養成のための教育実習は、特に重要な位置を占めており、そこで学んだ学習技術や教師としての姿勢・態度などは、これからの大学での学習にも大きな影響を与えるものです。	2
教育学部 教育福祉学科	大平誠也	PED317-A03	小学校教育実習Ⅱ	この科目は、小学校教員になるにあたって実際の教育活動を直に体験・実践するものです。【概要】 教育実習は、将来教師になろうとする人が、一定の期間、学校教育の実際の場で、経験豊富な教師の指導を受けながら、児童と直接交流し、実際の教育活動を身をもって体験、実践するものです。 実習において、小学校の校務や教科指導等全般にわたって理解を深め、教師の生き方や指導する姿に具体的に触れる機会であり、教師としての必要な知識、指導技術、姿勢・態度等を身に付けるための重要な役割を持っています。 小学校教師養成のための教育実習は、特に重要な位置を占めており、そこで学んだ学習技術や教師としての姿勢・態度などは、これからの大学での学習にも大きな影響を与えるものです。	2
教育学部 教育福祉学科	大平誠也	PED318-A01	教育実習事前事後指導	この科目は、小学校教師として教育現場での研究と指導力を身に付けることを目的とします【概略】教育実習は、教職資格を取得するための必須の専門科目であり、教育の実際場面での研究と指導力を高めることがねらいである。そのため、教育実習にあたっては、その意義や目的、教育指導上基本となる事項等について正しく、深く理解しておかねばならない。さらに、人間を育てていくという学校教育の場で知っておかなければならないルールや守らなければならない規律・規則など事前に学んでおくべきことが多くある。それらを総じて、実習事前事後指導は、教育実習で学ばなければならない事項の学習のみでなく、教師としてのあり方、姿勢も含め、きわめて重要な学習であるといえる。 教育実習は広い領域に渡って教員としての全てを学び取ろうとするものであるため、事前事後指導の学習が実習だけでなく、今後の進路に影響することもある重要な役割を担っているのが本科目の大きな特徴である。	1
教育学部 教育福祉学科	谷口一也、下里里枝	INT102-A02	教育保育インターンシップⅠ	・2年次からの「教育保育インターンシップⅡ」や、保育実習に備え、職場体験の基礎・基本を学ぶ。・大学生生活の課題や自分の適性について考える機会とする。・社会人としてのマナー、法令遵守、守秘義務などについての理解をする。・保育現場における安心・安全について学び、実際に体験する。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
教育学部 教育福祉学科	谷口一也、下里里枝	INT107-A02	インターンシップⅠ	・2年次からの「教育保育インターンシップⅡ」や、保育実習に備え、職場体験の基礎・基本を学ぶ。・大学生生活の課題や自分の適性について考える機会とする。・社会人としてのマナー、法令遵守、守秘義務などについての理解をする。・保育現場における安心・安全について学び、実際に体験する。	2
教育学部 教育福祉学科	中西一彦	EED217-A51	言語表現技術	言語表現の基礎基本として「聞く・話す、読む、書く」を位置づけることができる。幼児期においては、ことは獲得段階として「話す・聞く・演じる」ことへの興味・関心が高まることを学ぶ。幼児期に積極的かつ意欲的な態度を身につけるには、周囲にいる大人の関わり方が大きく影響することを学ぶ。幼児期言語の特徴を理解し、言語表現技術の具体的展開のための技術を習得することをめざす。	1
教育学部 教育福祉学科	中西一彦	EED217-A52	言語表現技術	言語表現の基礎基本として「聞く・話す、読む、書く」を位置づけることができる。幼児期においては、ことは獲得段階として「話す・聞く・演じる」ことへの興味・関心が高まることを学ぶ。幼児期に積極的かつ意欲的な態度を身につけるには、周囲にいる大人の関わり方が大きく影響することを学ぶ。幼児期言語の特徴を理解し、言語表現技術の具体的展開のための技術を習得することをめざす。	1
教育学部 教育福祉学科	中西一彦	PED103-A01	国語Ⅰ	新聞と読書を中心に「言葉を育てる」ことを学ぶ。教育現場において行われる「聞く・話す、読む、書く」という言語活動について、文献や事例をもとに学ぶ。読書タイムや書取テスト、スピーチの実践を通して、自らの基礎的な国語力を高めることをめざす。	2
教育学部 教育福祉学科	中西一彦	PED103-A02	国語Ⅰ	新聞と読書を中心に「言葉を育てる」ことを学ぶ。教育現場において行われる「聞く・話す、読む、書く」という言語活動について、文献や事例をもとに学ぶ。読書タイムや書取テスト、スピーチの実践を通して、自らの基礎的な国語力を高めることをめざす。	2
教育学部 教育福祉学科	中西一彦	PED201-A51	初等国語科教育法	講義とグループワークを中心とする授業を通して、国語科教育の実際を知り、現状における課題を浮き彫りにすることができる。これからの国語科教育の歩むべき方向を知ることができる。授業を作ることに必要な教師の国語力とはいかなるものかを明らかにすることができる。	2
教育学部 教育福祉学科	中西一彦	PED211-A51	国語Ⅱ	大村はまの実践から「教えるということ」の本質を探ることを第一義とする。次に、「国語力」の伸長をめざし、メディアリテラシーの観点から、「聞く・話す、読む、書く」の基礎的技術のレベル向上を図る。	2
教育学部 教育福祉学科	中西一彦、上原昭三、松尾和宣、吉田武大	PED222-A01	板書技術	教育現場において、黒板・電子黒板の活用は必要不可欠である。子供たちの学習指導を支援するのは、効果的な板書である。そこで、黒板の効果的な書き方、電子黒板の使い方を伝授することによって、教育実習に向かう実践力を身につけることをめざす。	2
教育学部 教育福祉学科	中尾繁樹	SED201-A51	障害者教育総論	障害児（者）の正しい理解と認識を深めるとともに、特殊教育から特別支援教育への移行を学習していく。平成19年度から始まった特別支援教育は、これまでの「場の教育」から「機会の教育」へと内容が変化している。その基本的な理念と内容について学ぶことで、特別支援教育の今日的課題を考察していきたい。それらの学習によって基本的な知識及び技能の習得を目指し、障害のある子ども一人ひとりへの具体的な支援の手立てを考えていく。障害児（者）の問題は、人間発達の問題であり、全ての教育の基本になるものである。教職を目指すもの全てに必要な内容であり人としての人間観を育むことで、将来の進路に向けた資質向上につながるようとする。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
教育学部 教育福祉学科	中尾繁樹	SED204-A01	肢体不自由教育総論	肢体不自由児（者）の正しい理解と認識を深めるとともに、肢体不自由教育の歴史や学習指導要領の変遷をたどりながら、主に肢体不自由教育の全般的な理解について学習する。肢体不自由を主とした特別支援学校及び特別支援学級での指導の実際を学習する中で、特別な教育内容、領域教科を合わせた指導（遊びの指導、生活単元学習、作業学習、日常生活の指導）の授業、自立活動、教科の授業等について理解する。さらに「個別の指導計画」及び「個別の教育支援計画」について、その基本的考え方や策定方法も理解する。それらの学習によって基本的な知識及び技能の習得を目指し、肢体不自由のある子ども一人ひとりへの具体的な支援の手立てを考えていく。ライフステージそった様々な事象や現象について触れながら肢体不自由児の教育課程、心理、生理及び指導法を理解し、将来の進路に向けた資質向上につながるようにする。	2
教育学部 教育福祉学科	中尾繁樹	SED206-A51	LD等教育総論	この科目では、学習障害（LD）、注意欠陥／多動性障害（ADHD）、高機能広汎性発達障害等を中心とした発達障害について学ぶ。特に、発達障害のある子どもの心と行動を理解するために、発達の観点と心理学的観点を基本に置き、心理・生理・病理を解説し、教育的支援の実践的基礎を学ぶ。また、具体的なアセスメントの方策や実践的な援助の仕方を学ぶことで、現場で役立つ理論と実践を身につけ、個別の指導計画の作成をする。発達障害の正しい理解と認識を深めるとともに、特別支援教育の基本的な理念と内容について学ぶ。これまでの「場の教育」から「機会の教育」へと内容が変化している中で、通常の学校や特別支援学校での支援の具体的な指導方策を学ぶ中で、特別支援教育の今日的課題を考察していきたい。	2
教育学部 教育福祉学科	中尾繁樹	SED305-A01	肢体不自由教育	肢体不自由児（者）の正しい理解と認識を深めるとともに、肢体不自由教育の実態、教育課程、指導内容・方法、自立活動、進路等について具体的な実践を学ぶこととする。肢体不自由を主とした特別支援学校及び特別支援学級での教育の中核活動である授業を中心に、「個別の指導計画」及び「個別の教育支援計画」、並びに評価と授業改善について学習する。さらに肢体不自由教育における特徴的な指導に於いて、身体の動き、感覚的アプローチ等の実践的理論と指導における活用を理解する。それらの学習によって基本的な知識及び技能の習得を目指し、肢体不自由のある子ども一人ひとりへの具体的な支援の手立てを考えていく。ライフステージそった様々な事象や現象について触れながら肢体不自由児の授業の進め方、指導法等を理解し、将来の進路に向けた資質向上につながるようにする。	2
教育学部 教育福祉学科	中尾繁樹	SED402-A01	重複障害教育総論	行動上の重複障害と発達上の重度重複障害への特別支援教育における対応体系の全体像の基本的知識を身につけ、重複障害等の特性（心理、生理、病理）についての基本的理解をする。さらに自立活動を中心とした重複障害等への指導の基本的理解をする。この科目では、自閉症等の重度行動障害、肢体不自由等の重度重複障害について学ぶ。特に、重複障害のある子どもの心と行動を理解するために、発達の観点と心理学的観点を基本に置き、心理・生理・病理を解説し、教育的支援の実践的基礎を学ぶ。また、具体的なアセスメントの方策や実践的な援助の仕方を学ぶことで、現場で役立つ理論と実践を身につけ個別の指導計画の作成をする。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
教育学部 教育福祉学科	中尾繁樹、岡修一、松尾和宣、百瀬和夫	PED403-A51	教職実践演習（小）	○学習指導について、模擬授業、ロールプレイ、授業参観、学習指導案研究等により授業力を高める。○学級経営において、現職教員の講話、実践事例研究、グループによる演習等により指導実践力を高める。○学校の服務、校務分掌などの実際について知り、社会性を身に付ける。○特別支援などの知見から、子ども理解・指導理解を深め、対人関係能力（対応力）を高める。	2
教育学部 教育福祉学科	道中 隆	SMN301-A10	専門演習Ⅲ	この演習では、卒業研究に向けた準備として研究テーマの探索、研究方法、論文作成などに自発的に取り組むことをねらいとする。受講生各自の興味、関心を意識化し整理した後に、情報収集や研究方法の演習を行い、最終的に一つの研究テーマを決定する。また、具体的なデータ収集と整理・分析を行い、考察に必要な各種情報の収集と読解を進める。	2
教育学部 教育福祉学科	道中 隆	SMN303-A61	専門演習Ⅳ	この演習では、卒業研究に向けた準備として研究テーマの探索、研究方法、論文作成などに自発的に取り組むことをねらいとします。春学期にたてた研究計画に基づき適宜見直しをしながら、具体的なデータ収集と整理・分析を行い、考察に必要な各種情報の収集と読解を進めます。	2
教育学部 教育福祉学科	道中 隆	SMN401-A11	卒業研究	専門演習Ⅲ、Ⅳで行った研究を基盤にそれぞれが研究テーマを深め、大学における研究の集大成として卒業論文を完成させることがこの卒業研究の目的です。研究テーマは、明確な研究目的に沿った具体的なものとし、研究目的に適合した研究方法により「研究計画書」を策定し、先行研究の十分な検討を行い研究を深めるものです。	4
教育学部 教育福祉学科	道中 隆	SWK101-A01	社会福祉概論Ⅰ	現代社会の世代間の価値観の多様化や家族のあり方の変化、核家族化の中で社会福祉の本質的な内容を講義形式で、①現代社会における福祉制度と福祉政策、②福祉の原理をめぐる理論と哲学、③福祉制度の発達過程、④福祉政策におけるニーズと資源を各回の主題、領域にわけて総論的に学ぶ。その上で、問題や困難な課題を抱えている人や、援助に関わる人が人として自分らしく生きることを主体的に考えていけるよう、社会福祉の制度改革や福祉サービス提供のあり方について理解する。	2
教育学部 教育福祉学科	道中 隆	SWK101-A02	社会福祉概論Ⅰ	現代社会の世代間の価値観の多様化や家族のあり方の変化、核家族化の中で社会福祉の本質的な内容を講義形式で、①現代社会における福祉制度と福祉政策、②福祉の原理をめぐる理論と哲学、③福祉制度の発達過程、④福祉政策におけるニーズと資源を各回の主題、領域にわけて総論的に学ぶ。その上で、問題や困難な課題を抱えている人や、援助に関わる人が人として自分らしく生きることを主体的に考えていけるよう、社会福祉の制度改革や福祉サービス提供のあり方について理解する。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
教育学部 教育福祉学科	道中 隆	SWK104-A01	社会保障論	先進諸国は社会保障制度を充実させ福祉国家の充実を目指してきた。わが国においては70年代に始まるオイルショックや財政赤字の増大によって、「大きな政府」から「小さな政府」への転換ベクトルの動きを加速させた。「福祉国家の危機」が言われてから久しい。国家が国民生活のすべてを担うには限界があり、その財政的負担に耐え切れなくなっている。現下において社会保障は大きな転換期を迎え、家族、雇用、人口減少といった激動の波を受けている。近代から現代へ社会保障制度がなぜ生まれ、どのような変遷を経て、現在どのような困難に直面し、政策課題を抱えているのか生活上の安全や多様性について専門領域から理論的に理解できるようにする。グローバル化した循環型市場経済の中の雇用の劣化とセーフティネットの綻び、超高齢社会にある日本の社会保障制度(年金保険、医療保険、介護保険、民間保険、公的施策、社会保障の実施体制、専門職)、各国の社会保障制度を鳥瞰しつつ、今後のわが国のセーフティネットのあり方やその再構築を視座とした社会保障の制度設計について理解する。	4
教育学部 教育福祉学科	道中 隆	SWK203-A01	公的扶助論	コロナ禍において経済、雇用情勢が悪化し生活困窮者層の様相は一変した。雇用のビックバンや保険原理を中心とする年金・医療・介護等の一次的セーフティネットのほころびが顕在化し安心社会に警鐘がならされている。グローバル化した循環型市場経済のもとで、規制緩和等が推し進められ、終身雇用制や年功序列の賃金体系は崩壊し、多様化した柔軟型雇用として非正規雇用や派遣労働などが一般化し、「働き方」「働かせ方」のあり方が問われている。働いても生活が困難なボーダーライン層やワーキングプアが最後のセーフティネットである生活保護に参入し保護受給者が増加している。救貧機能としての二次的セーフティネットを生活保護が担っている。その生活保護の基本的なしくみを理解し、自立支援のあり方、保護の実施体制などの課題について議論したい。適宜、具体的な社会事象をとりあげ、「貧困」や「ワーキングプア」など生活困窮世帯の自立支援について、社会政策的な観点から課題として捉え、貧困問題への認識を深める。	2
教育学部 教育福祉学科	道中 隆	SWK302-A51	福祉サービスの組織と経営	良質な福祉サービスを継続して提供するためには、サービスの質を含めて事業全体のマネジメントが必要不可欠である。しかし、現状は、多くの場合「事業運営」はあるが、「組織」や「組織管理」の視点が弱い。社会福祉の基礎構造改革以降、福祉サービスの提供主体が多元化し、競争原理と契約法に基づく組織経営が要請されてきた。「福祉は人なり」といわれる。キャリアパスを視座として、直接処遇職員として入社しても、中堅となれば「組織論」や「経営管理」の視点は不可欠となる。ここでは福祉サービス提供主体の組織と経営に主眼を置き、そのために必要な労働法制、権利擁護、関係領域の学修をする。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
教育学部 教育福祉学科	道中 隆	SWK303-A01	就労支援サービス	人は、働くことを通じて人や社会とつながる喜びを感じ、自分の能力を発揮することに充実感を感じる人が多い。しかし、効率や競争が厳しい労働市場においては、心身の機能に不調がある人や就労経験の少ない人は、働く機会が閉ざされたり、排除されてきた。この間、「福祉から就労へ(welfare to work)」という理念に基づいて政策転換されたが、就労による自立・生活の向上を支援する対象者は、障害者やひとり親の母親が中心であった。近年、働く希望をもちながらも就職できない「就労困難者」や「就労継続困難者」といわれる人が増え、就労と関連した生活困難に直面する人々が抱える課題は多様化している。生活保護から自立したにもかかわらずワーキングプアの状況が報告されるなど、「福祉からワーキングプアへ(welfare to working-poor)」と問題の所在を移しているに過ぎない実態もあることなど課題も多い。したがって、講義と演習を通して、就労を生活全体から捉えて、他の関係機関や専門職と連携しながら、利用者一人ひとりの自己実現をはかっていくことなど基礎的な相談援助力を身につける。	2
教育学部 教育福祉学科	道中 隆	SWS101-A51	社会福祉概論Ⅱ	社会福祉を学ぶものに求められるのは、人間と社会とをトータルにとらえる視野が必要である。この授業は、社会福祉の原理的な内容を講義形式で総論的に学ぶ。具体的には、①現代社会における福祉制度と福祉政策、②福祉の原理をめぐる理論と哲学、③福祉制度の発達過程、④福祉政策におけるニーズと資源を各回の主題、領域にわけて学ぶ。社会福祉の対象となる問題や課題、社会問題としての事象を取り上げて、社会的背景や政策的課題についてもディスカッションし、現実認識を深め制度的な枠組みから理解する。	2
教育学部 教育福祉学科	百瀬和夫	PED318-A03	教育実習事前事後指導	この科目は、学校園や施設等のセーフティ・マネージメントに関して理解し、防災・防犯に関しての方策を具体的に提案できる力を身に付けることを目的とします。【授業の概要】○通学途中や学校内で様々な被害や事故に遭遇する事件が頻発しているが、不審者の侵入や校内での事故を防ぐために学校としてどのような安全対策を講じているかを検証する。○問題事案が起こった時に、解決策はどのようにすればよいか、最近の事例を基に防犯対策などを検証する。○学校という集団生活の場において災害や事故発生時の学校と自宅の保護者との連携の取り方やその訓練方法など、地域の防災計画、そして、学校での事故等の対応について検証する。○教職員として、災害直後の具体的な動きを阪神淡路大震災、東北大震災等の事例を基に検討する。	1
教育学部 教育福祉学科	百瀬和夫	PED403-A52	教職実践演習(小)	○学習指導について、模擬授業、ロールプレイ、授業参観、学習指導案研究等により授業力を高める。○学級経営において、現職教員の講話、実践事例研究、グループによる演習等により指導実践力を高める。○学校の服務、校務分掌などの実際について知り、社会性を身に付ける。○特別支援などの知見から、子ども理解・指導理解を深め、対人関係能力(対応力)を高める。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
教育学部 教育福祉学科	百瀬和夫、松尾和宣	REG306-A51	防災教育	この科目は、学校園や施設等のセーフティ・マネージメントに関して理解し、防災・防犯に関するの方策を具体的に提案できる力を身に付けることを目的とします。【授業の概要】○通学途中や学校内で様々な被害や事故に遭遇する事件が頻発しているが、不審者の侵入や校内での事故を防ぐために学校としてどのような安全対策を講じているかを検証する。○問題事案が起こった時に、解決策はどのようにすればよいか、最近の事例を基に防犯対策などを検証する。○学校という集団生活の場において災害や事故発生時の学校と自宅の保護者との連携の取り方やその訓練方法など、地域の防災計画、そして、学校での事故等の対応について検証する。○教職員として、災害直後の具体的な動きを阪神淡路大震災、東北大震災等の事例を基に検討する。	2
教育学部 教育福祉学科	椋田善之	EED403-A52	教職実践演習（幼）	「教職実践演習（幼）」は、幼稚園教員免許、保育士資格の取得にとって必須の科目です。本科目では、教員・保育者として求められる、①使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項、②社会性や対人関係能力に関する事項、③こども理解やクラス運営等に関する事項、④保育内容等の指導力に関する事項について、総合的・横断的に学ぶと共に、実践について最終的な確認を行うこととなります。将来的に教育・保育に携わる際に有用な学修となります。	2
教育学部 教育福祉学科	椋田善之、下里里枝	EED218-A01	保育実習Ⅰ事前事後指導①	1 保育実習の意義・目的を理解する。2 実習の内容を理解し、自らの実習の課題を明確にする。3 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。4 実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解する。5 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標を明確にする。	1
教育学部 教育福祉学科	椋田善之、下里里枝	EED218-A02	保育実習Ⅰ事前事後指導①	1 保育実習の意義・目的を理解する。2 実習の内容を理解し、自らの実習の課題を明確にする。3 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。4 実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解する。5 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標を明確にする。	1
教育学部 教育福祉学科 合計					148

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
国際コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科	伊藤創	JPE101-Y01	日本語の構造Ⅰ	本講義では、普段ほとんど意識した事のないであろう日本語のシステムを、様々な観点から捉え直すことによって、日本語(ひいては言語そのもの)に対する知識を深め、また柔軟で論理的な思考を養うことを目的とする。特に、日本語が話せない外国人の視点から見た日本語とはどのようなものなのか、つまり「外国語としての日本語」の特徴を掴んでいく。	2
国際コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科	伊藤創	JPE201-Y01	日本語教育事情	本講義では以下の項目を学ぶ。■日本語がどのように教えられているのか、あるいは教えられてきたのか、日本語教育の現在の状況と歴史について学ぶ。■現在の日本にいる留学生や外国人労働者がどのような状況にあるのか、その実情と彼らが(ひいては日本が)抱える課題について学ぶ。■上記と関連して、そもそも、どのようにして日本語が今のようになったのか、その成り立ちや日本語位置づけなどについても学ぶ。	2
国際コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科	越山泰子	INT103-Y82	インターンシップⅠ	このインターンシップでは、学内の留学生を対象とした日本語授業においてアシスタントとして活動する。履修者は授業外で担当教員と打ち合わせをしたり、教材を作成したりする、また、授業内外で留学生の日本語学習支援を行う。	1
国際コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科	越山泰子	JPE202-Y51	日本語コミュニケーション	この授業では、日本語を外国語として効果的に指導するために、日本語を取り巻く社会的言語活動やコミュニケーションの方法について学習します。講義を通して様々な言語研究を参照し、言語使用とコミュニケーションについての基礎知識を用いながらグループワークを通して日本語の特徴について客観的に考え、身近な「日本語らしい」言語現象について説明していきます。	2
国際コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科	越山泰子	JPE303-Y01	日本語教授法	この授業では、外国語として日本語を教えるための基礎知識について学びます。日本語の特徴を客観的に理解しながら、日本語を母語としない人たちにことばを効果的に教えるために必要な日本語の知識、教案の組み立て方、授業の流れ、教材分析を通して、その方法を学びます。	2
国際コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科	越山泰子	JPE304-Y51	日本語教育の実践と評価	この授業では、外国語としての日本語教育における実践と評価の方法について学習します。日本語の様々な特徴、評価法における実例を参照しながら、日本語教育の実践と評価に関する基礎知識を養います。	2
国際コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科	越山泰子	SVL202-A01	教育サービスラーニングⅡ	このクラスでは、日本語を外国語として教える知識や教え方について学び、地域で日本語を学ぶ外国人の日本語学習支援を行う。授業や活動を通して、異文化への理解や地域社会への貢献についての学びを深める。	2
国際コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科	越山泰子	SVL203-Y01	サービスラーニングⅡ	このクラスでは、日本語を外国語として教える知識や教え方について学び、地域で日本語を学ぶ外国人の日本語学習支援を行う。授業や活動を通して、異文化への理解や地域社会への貢献についての学びを深める。	2
国際コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科	越山泰子、片山真理	INT103-Y72	インターンシップⅠ	このインターンシップでは、学内の留学生を対象とした日本語授業においてアシスタントとして活動する。履修者は授業外で担当教員と打ち合わせをしたり、教材を作成したりする、また、授業内外で留学生の日本語学習支援を行う。	1
国際コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科	越山泰子、片山真理	INT104-Y72	インターンシップⅡ	このインターンシップでは、学内の留学生を対象とした日本語授業においてアシスタントとして活動する。履修者は授業外で担当教員と打ち合わせをしたり、教材を作成したりする、また、授業内外で留学生の日本語学習支援を行う。	2
国際コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科	越山泰子、片山真理	INT104-Y82	インターンシップⅡ	このインターンシップでは、学内の留学生を対象とした日本語授業においてアシスタントとして活動する。履修者は授業外で担当教員と打ち合わせをしたり、教材を作成したりする、また、授業内外で留学生の日本語学習支援を行う。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
国際コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科	梶正義	SED208-Y71	特別支援教育基礎	この講義では、特別支援教育の対象となる各種の障害の主な特性（定義・発達特性や認知特性、及びそれに伴う学習上または生活上の困難、そして、必要とする教育的ニーズなど）と共に、インクルーシブ教育の推進について解説し、学校の組織や教員等が必要とする知識やスキルを理解する。また、最近の教育的課題となっている通常の学級に在籍する発達障害（LD=学習障害、ADHD=注意欠如多動性障害、高機能自閉症など）や障害はないが特別な支援や配慮を要する児童生徒（来日・帰国した子ども・LGBTの子ども・経済的貧困状態にある子どもなど）についても望ましい特別支援教育の在り方を概説する。	1
国際コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科	南畑淳史	CMP104-Y51	ICT活用A	この授業ではオープンデータなどを使って情報収集し、課題を発見、分析および考察をすることでICTを使って問題解決をする能力を養う。第1-5回で分析および可視化のためにエクセルを学ぶ。第6-15回ではグループ毎に分かれ、オープンデータを使用し、興味のある問題の課題の発見を行う。その後、分析や考察を行い、スライドに原稿をまとめ発表を行う。	2
国際コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科	片山真理	EDE203-Y51	英語科教育法III	This course is for those who are seeking for teaching job after graduation. This course examines successful foreign language education; how foreign languages are taught and learned in the world. Various teaching methods which have been used around the world.本科目は、将来教職に就く人を対象とする。日本国内外での外国語教育（特に英語教育）の状況や指導法について学び、指導計画・授業計画の立て方などについて学ぶ。	2
国際コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科 合計					25

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
国際コミュニケーション学部 観光学科	一尾敏正	MNG104-Y52	ホスピタリティマネジメント	この科目はホスピタリティ産業におけるマネジメント力を身につけることを目的とします。具体的には、学術的な側面としてHospitalityとServiceの違いを明確にします。どちらもその行為を受けた人は良い気分になるでしょう。この2つの言葉の違いを、その語源、宗教、歴史から学びます。そして、日本語としての「おもてなし」のルーツを考察します。次に、ホスピタリティ産業についてホスピタリティ精神の視点で考察します。ホスピタリティ産業のなかでどの様に企業戦略のなかで活かされているのか。最も重要なのはコアコンピタンスとして企業の佐差別化要因にするにはどうすればよいのでしょうか。その答えを、国内外で評価される企業の事例を考察することで受講者自身が理解を深めていきます。学修を通して受講者が自ら課題の発見や解決の糸口を見付け出すことが講義の目的です。授業は講義、ディスカッション、発表で構成されます。	2
国際コミュニケーション学部 観光学科	吉田誠	GLB102-Y52	異文化理解	グローバル化が進化した現代社会においては、自分とは異なる文化などの背景を持つ多様な人々とのコミュニケーションが求められます。本科目では、コミュニケーションと異文化理解に関する基本的な知識とグローバルコミュニケーションに求められる語学以外の実践的スキル、そしてその基礎となる他者との対話に必要な開かれた心、多角的思考の修得をめざします。本授業は、外部講師（ビジネスパーソン）を含めた複数教員によるオムニバス形式で行います。また、講義とともに、ディスカッション、ビジネスパーソンとの意見交換などのアクティブラーニングによる学習も行います。	2
国際コミュニケーション学部 観光学科	小山聖治	MRK102-Y51	マーケティング論	この授業では、「マーケティング」についての基礎的な理論を把握したうえで、観光産業における具体的な事例を交えながら、観光ビジネスを理解することを目的としています。新たなビジネスモデルの登場で旧来の大手旅行代理店の優位性が崩れつつあるほか、地域発展を目指した「観光による地方創生」の効果が期待されることなど、時代の変化による様々な要因を背景に消費者の旅行需要も変化しつつあります。これら多種多様な顧客ニーズを的確に捉え、顧客満足を最大化し、観光産業を発展させるためには「マーケティング」の発想が欠かせません。講義ではマーケティングの様々な機能を学び、ディスカッションを行います。その上で学んだことを活用してグループまたは個人発表を行います。	2
国際コミュニケーション学部 観光学科	西村典芳	FYE103-Y06	学習技術	この授業では、大学で授業を受けるにあたって必要となる基礎的な能力を養います。基礎的な能力としては「聴く」「読む」「書く」「調べる」「整理する」「まとめる」「表現する」「伝える」「考える」の9つを設定し、受講の際に必要な能力から順に習得していきます。最終的には、コンピュータを活用してレポートを作成できるようになることが目標です。授業では、テキスト『知へのステップ』の章構成にしたがって、1回の授業につき1章のペースで進行します。また、ワークシートを用い、その設問をこなしながら実践的に行うものとします。	1

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
国際コミュニケーション 学部 観光学科	西村典芳	TOU102-Y51	観光産業概論	本科目の学習目標はディプロマ・ポリシーの「1. 自律的で主体的な態度」と「2. 社会に能動的に貢献する姿勢」「3. 多様な文化やその背景を理解し受け容れる能力」「6. 専門知識・技能の活用力」の学修に関連しています。① 観光産業論と言うと旅行業務特化の観が強いが、今回の授業では特に観光ビジネスの意味に注力し、観光の仕組みや観光産業全般への理解を深める。② 観光産業に携わるために必要な知識と資格等について知ってもらいたい。③ 観光産業の社会的・経済的役割を把握し、観光の楽しさとやりがいを体得してもらいたい。【履修注意】① 毎回、講義後に、小レポート（感想・質問・希望等）を提出してもらう。② 授業中、質問を投げかけ、意見を聴取するので、積極的な姿勢で授業に臨んでもらいたい。	2
国際コミュニケーション 学部 観光学科 合計					9

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
心理学部 心理学科	横川滋章、神垣一規	CLI205-m01	臨床心理学	【神垣担当分】この講義では、まず臨床心理学の全体構造を把握し、臨床心理学の歴史について知る。そしてカウンセリング、アセスメントの基礎について学ぶ。さらに「心の病」や自傷等について考える機会をもつ。これらのことを通して、臨床心理学全般についての基礎的な事柄について学ぶことを目的とする。【横川担当分】田中先生の前半を受けて、こころの健康と異常について学び、今日の臨床心理的援助に大きな影響を与えた3つの理論・技法として、力動的心理療法と分類されるS.フロイトから始まる精神分析、C.G.ユングの分析心理学、そしてパーソンセンタード（来談者中心療法）として知られるC.R.ロジャーズの考えを紹介し、臨床心理学への基礎的理解を進めることを目的とする。	4
心理学部 心理学科	横川滋章、神垣一規	CLI208-m01	臨床心理学概論	【神垣担当分】この講義では、まず臨床心理学の全体構造を把握し、臨床心理学の歴史について知る。そしてカウンセリング、アセスメントの基礎について学ぶ。さらに「心の病」や自傷等の不適応行動について考えを深める。これらのことを通して、臨床心理学全般についての基礎的な事柄について学ぶことを目的とする。【横川担当分】前半を受けて、こころの健康と異常について学び、今日の臨床心理的援助に大きな影響を与えた3つの理論・技法として、力動的心理療法と分類されるS.フロイトから始まる精神分析、C.G.ユングの分析心理学、そしてパーソンセンタード（来談者中心療法）として知られるC.R.ロジャーズの考えを紹介し、臨床心理学への基礎的理解を進めることを目的とする。	4
心理学部 心理学科	横川滋章、田中亜裕子、山本喜晴	CLI209-Y51	心理演習	公認心理師としての知識及び技能の基本的な水準の修得を目的とする。心理に関する支援を要する者等に関するコミュニケーション、心理検査、心理面接、地域支援等の知識及び技能の習得、心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成、心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチ、多職種連携及び地域連携、公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解について、具体的な場面を想定した役割演技（ロールプレイ）や事例検討等を行い、これらに関する基本的な知識及び技術の修得を目標とする。	4
心理学部 心理学科	横川滋章、田中亜裕子、山本喜晴	CLI209-Y52	心理演習	公認心理師としての知識及び技能の基本的な水準の修得を目的とする。心理に関する支援を要する者等に関するコミュニケーション、心理検査、心理面接、地域支援等の知識及び技能の習得、心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成、心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチ、多職種連携及び地域連携、公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解について、具体的な場面を想定した役割演技（ロールプレイ）や事例検討等を行い、これらに関する基本的な知識及び技術の修得を目標とする。	4
心理学部 心理学科	横川滋章、田中亜裕子、山本喜晴	CLI209-Y53	心理演習	公認心理師としての知識及び技能の基本的な水準の修得を目的とする。心理に関する支援を要する者等に関するコミュニケーション、心理検査、心理面接、地域支援等の知識及び技能の習得、心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成、心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチ、多職種連携及び地域連携、公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解について、具体的な場面を想定した役割演技（ロールプレイ）や事例検討等を行い、これらに関する基本的な知識及び技術の修得を目標とする。	4

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
心理学部 心理学科	梶正義、栢木隆太郎	SED315-M51	教育実習(特別支援学校)	・教育実習は、教員免許取得に必須であり、教師としての指導力を高めることを目的としている。 ・実習事前指導では、教育実習の意義・目的、教育指導上の基本事項および特別支援学校教育の概略について講義を行う。また、児童生徒の観察と行動記録の取り方を理解する。 ・事前指導の後、実習校において実習を行う。 ・実習後には、次のような事後指導を行う。各自で実習報告を行い、受講者全員で討議を行う。なお、実習中での授業場面の録画記録がある場合は、その分析も行う。そして、本授業の総括として、特別支援学校における様々な教育課題とその現状について確認する。	3
心理学部 心理学科	栢木隆太郎	SED208-M01	特別支援教育基礎	この講義では、特別支援教育の対象となる各種の障害の主な特性（定義・発達特性や認知特性、及びそれに伴う学習上または生活上の困難、そして、必要とする教育的ニーズなど）と共に、インクルーシブ教育の推進について解説する。そして、その内容から学校の組織や教員等が必要とする知識やスキルについて理解することを目的としている。また、最近の教育的課題となっている通常の学級に在籍する発達障害（LD=学習障害、ADHD=注意欠如多動性障害、高機能自閉症など）や障害はないが特別な支援や配慮を要する児童生徒（来日・帰国した子ども・性同一性障害に係る子ども・経済的貧困状態にある子どもなど）についても事例を紹介しながら望ましい特別支援教育の在り方を概説する。	1
心理学部 心理学科	栢木隆太郎	SED208-y01	特別支援教育基礎	この講義では、特別支援教育の対象となる各種の障害の主な特性（定義・発達特性や認知特性、及びそれに伴う学習上または生活上の困難、そして、必要とする教育的ニーズなど）と共に、インクルーシブ教育の推進について解説する。そして、その内容から学校の組織や教員等が必要とする知識やスキルについて理解することを目的としている。また、最近の教育的課題となっている通常の学級に在籍する発達障害（LD=学習障害、ADHD=注意欠如多動性障害、高機能自閉症など）や障害はないが特別な支援や配慮を要する児童生徒（来日・帰国した子ども・性同一性障害に係る子ども・経済的貧困状態にある子どもなど）についても事例を紹介しながら望ましい特別支援教育の在り方を概説する。	1
心理学部 心理学科	栢木隆太郎	SED307-M51	知的障害者の言語障害指導	◎本科目は、特別支援学校教員免許取得に関する開講科目である。知的障害児（者）の特性の一つに言語発達の遅れがある。しかしながら、個々の示す言語発達レベルは様々であり、それぞれのレベルに適した指導が求められる。本授業では、知的障害児（者）の言語能力や言語指導の基本的知識を身につけ、言語やコミュニケーションに関するさまざまな指導法を理解することを目的とする。具体的には、子どもの言語獲得のプロセスを理解し、言語発達の障害の状態やその原因について考える。そして、発達の視点から子どもの言語およびコミュニケーションレベルを捉えた（アセスメント）指導の在り方について、ダウン症児と自閉症児の事例を通して理解する。	2
心理学部 心理学科	栢木隆太郎	SED307-y51	知的障害者の言語障害指導	◎本科目は、特別支援学校教員免許取得に関する開講科目である。知的障害児（者）の特性の一つに言語発達の遅れがある。しかしながら、個々の示す言語発達レベルは様々であり、それぞれのレベルに適した指導が求められる。本授業では、知的障害児（者）の言語能力や言語指導の基本的知識を身につけ、言語やコミュニケーションに関するさまざまな指導法を理解することを目的とする。具体的には、子どもの言語獲得のプロセスを理解し、言語発達の障害の状態やその原因について考える。そして、発達の視点から子どもの言語およびコミュニケーションレベルを捉えた（アセスメント）指導の在り方について、ダウン症児と自閉症児の事例を通して理解する。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
心理学部 心理学科	栢木隆太郎	SED308-M51	知的障害児における情報機器等の活用と指導	◎本科目は、特別支援学校教員免許取得に関する開講科目である。高度情報化通信社会の到来により、特別支援教育においても情報機器を活用した様々な学習活動が行われている。そのため、指導者にはコンピュータ機器を活用するスキルが求められている。この科目では、知的障害児教育におけるコンピュータやインターネットの活用、情報機器の取り扱いやモラルとリスクなどについて調べ、その現状と課題を把握し、望ましい指導の在り方を考える。そして、子どもの指導に活用できる自作教材ソフトの作成（Microsoft Office Power Point 使用）を行う。	2
心理学部 心理学科	栢木隆太郎	SED310-M01	知的障害者の心理	◎本科目は、特別支援学校教員免許取得に関する開講科目である。特別支援教育においては、その教育内容の推進と充実が強く求められている。そのためには、知的障害者の心理を理解することが最も基本といえる。この科目は、知的障害者や発達障害者に関わる心理学的基礎知識を理解することが主な目的である。具体的には、幾つかの事例からその発達特性や認知特性および行動特徴を理解し、知的障害者や発達障害者の示すさまざまな行動を心理学的な視点から捉え、その教育的支援の在り方を学ぶ。	2
心理学部 心理学科	栢木隆太郎	SED310-y01	知的障害者の心理	◎本科目は、特別支援学校教員免許取得に関する開講科目である。特別支援教育においては、その教育内容の推進と充実が強く求められている。そのためには、知的障害者の心理を理解することが最も基本といえる。この科目は、知的障害者や発達障害者に関わる心理学的基礎知識を理解することが主な目的である。具体的には、幾つかの事例からその発達特性や認知特性および行動特徴を理解し、知的障害者や発達障害者の示すさまざまな行動を心理学的な視点から捉え、その教育的支援の在り方を学ぶ。	2
心理学部 心理学科	栢木隆太郎	SED312-M01	知的障害教育Ⅰ	◎本科目は、特別支援学校教員免許取得に関する開講科目である。知的障害のある子どもの示すさまざまな学習上の困難や行動上の問題などを応用行動分析の視点から捉え、さまざまな技法を適用した望ましい教育的支援の在り方を理解する。具体的には、なぜ子どもがそのように行動するのかを環境との交互作用から捉え、どのように観察し、どのようにアセスメントし、どのように指導していくのかを学ぶ。なお、この授業の内容は、秋学期に開講される「知的障害教育Ⅱ」に引き継がれる。ここでは、子どもの学習指導プログラム、あるいは、個別の指導計画の作成などへと発展させる。	2
心理学部 心理学科	栢木隆太郎	SED313-M51	知的障害教育Ⅱ	◎本科目は、特別支援学校教員免許取得に関する開講科目である。特別支援教育においては「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」の作成が必須の条件となっている。このことから、本科目では、以下の内容を中心に学修する。①「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の作成例の紹介 ②米国におけるIEP（個別の教育計画）の紹介と我が国との比較 ③指導プログラム作成の基本的な考え方と作成例および実践例の紹介 ④「」作成（グループ又は個人） ⑤作成した指導プログラムの発表と意見交換 これらの学修によって知的障害教育における基本的な指導技法に関する知識と技能を身につけ、子ども一人一人への具体的な教育的支援の方策を考える。	2
心理学部 心理学科	山内愛	SPP201-M51	スポーツ心理学	日常の身体運動はもとより、運動やスポーツは様々な文脈の中で取り込まれています。そこでの活動目的は、教育、競技、レクリエーション、健康・医療といったように多岐に渡り、それぞれが抱える課題や問題は異なります。そこで、本講義では、スポーツ心理学の果たす役割について外観した上で、健康スポーツ、競技スポーツ、メンタルトレーニングなどについて学習します。その上で、各人の運動・スポーツ活動に汎化可能な視点を提供しつつ、スポーツ競技場面や健康スポーツに役立つスキルの習得を目指します。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
心理学部 心理学科	山内愛	SPP204-M01	メンタルトレーニング	スポーツにおけるメンタルトレーニングとは、アスリートをはじめとするスポーツ活動に携わる者が、競技力向上並びに実力発揮の為に必要な心理的スキルを習得することを目的とした、スポーツ心理学の理念に基づく体系的で教育的な活動です。この科目では、自身の競技場面や指導場面に活かせるよう、メンタルトレーニングについて、講義と体験的学習を通して理論と技法を学び、身につけることを目的とします。	2
心理学部 心理学科	山内愛	SPP206-M51	スポーツ心理学	日常の身体運動はもとより、運動やスポーツは様々な文脈の中で取り組まれています。そこでの活動目的は、教育、競技、レクリエーション、健康・医療といったように多岐に渡り、それぞれが抱える課題や問題は異なります。そこで、本講義では、スポーツ心理学の果たす役割について外観した上で、健康スポーツ、競技スポーツ、メンタルトレーニングなどについて学習します。その上で、各人の運動・スポーツ活動に汎化可能な視点を提供しつつ、スポーツ競技場面や健康スポーツに役立つスキルの習得を目指します。	4
心理学部 心理学科	山本昌宏	CRI101-Y01	犯罪学概論	最広義の犯罪学（刑事学）の学びとして、警察が行う各種取り組み内容を理解することを目的とします。具体的には、総務、警務、刑事、生活安全、地域、交通及び警備の各警察部門が行う活動について学びます。	2
心理学部 心理学科	山本昌宏	CRI304-M51	犯罪関連法論	① 犯罪と刑罰に関する共通ルール（刑法総論）と刑事手続き（刑事訴訟法）を学ぶ② 刑法典を中心として、どのような行為が犯罪となり、どのような刑罰を科せられるかを学ぶ③ 暴力団対策法及び暴力団排除条例から、暴力団対処要領を学ぶ	4
心理学部 心理学科	山本昌宏	CRI304-Y51	犯罪関連法論	① 犯罪と刑罰に関する共通ルール（刑法総論）と刑事手続き（刑事訴訟法）を学ぶ② 刑法典を中心として、どのような行為が犯罪となり、どのような刑罰を科せられるかを学ぶ③ 暴力団対策法及び暴力団排除条例から、暴力団対処要領を学ぶ	4
心理学部 心理学科	山本昌宏	SMN301-M03	専門演習Ⅲ	【目的】？ 卒業研究に向けて、テーマ設定のために必要な基礎知識と技能を身につける ？ 就職活動の具体的な準備を進める【概要】？ 研究テーマの選び方と資料の探し方を会得する ？ 研究テーマに沿った先行論文の要約を作成する ？ 自己PR文を作成する ？ 面接練習を行うとともに、想定問答を作成する	2
心理学部 心理学科	山本昌宏	SMN303-M53	専門演習Ⅳ	【目的】？ 卒業研究に向けて、テーマ設定のために必要な基礎知識と技能を身につける ？ 就職活動を具体的に実施する【概要】？ 研究テーマを設定する ？ 研究計画書を作成する ？ 就職活動への実施スキルを身につける ？ 面接練習を行うとともに想定問答を作成する	2
心理学部 心理学科	山本昌宏、中山誠	CRI203-m01	犯罪・災害報道論	この科目で身につける知識・技法① 犯罪・災害の報道が理解できる。② マスメディアに関する知識が獲得できる。③ マスメディア情報に対する客観的な対応が身に付く。	2
心理学部 心理学科	山本昌宏、中山誠	CRI203-Y03	犯罪・災害報道論	この科目で身につける知識・技法① 犯罪・災害の報道が理解できる。② マスメディアに関する知識が獲得できる。③ マスメディア情報に対する客観的な対応が身に付く。	2
心理学部 心理学科	神垣一規、横川滋章	CLI208-Y01	臨床心理学概論	【神垣担当分】この講義では、まず臨床心理学の全体構造を把握し、臨床心理学の歴史について知る。そしてカウンセリング、アセスメントの基礎について学ぶ。さらに「心の病」や自傷等について考える機会をもつ。これらのことを通して、臨床心理学全般についての基礎的な事柄について学ぶことを目的とする。【横川担当分】神垣先生の前半を受けて、こころの健康と異常について学び、今日の臨床心理的援助に大きな影響を与えた3つの理論・技法として、力動的心理療法と分類されるS.フロイトから始まる精神分析、C.G.ユングの分析心理学、そしてパーソンセンタード（来談者中心療法）として知られるC.R.ロジャーズの考えを紹介し、臨床心理学への基礎的理解を進めることを目的とする。	4

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
心理学部 心理学科	田中亜裕子	PSY106-m51	発達心理学	【科目の概要】この科目では、生涯発達心理学の立場（人間は生涯を通して成長し続けるという立場）から、胎児期、新生児期、乳幼児期、児童期、青年期、成人期、老年期の過程において、各発達期の特徴と援助のあり方を理解することを目的とする。とくに乳幼児期における知能、気質、感情の心理学的理解を通して、子どもの発達支援に必要な知識の習得をねらいとする。	2
心理学部 心理学科	田中亜裕子	PSY106-Y51	発達心理学	【科目の概要】この科目では、生涯発達心理学の立場（人間は生涯を通して成長し続けるという立場）から、胎児期、新生児期、乳幼児期、児童期、青年期、成人期、老年期の過程において、各発達期の特徴と援助のあり方を理解することを目的とする。とくに乳幼児期における知能、気質、感情の心理学的理解を通して、子どもの発達支援に必要な知識の習得をねらいとする。	2
心理学部 心理学科	田中亜裕子	PSY108-m01	教育心理学	この科目は、教師として活動する際に必要な教育心理学の知識を身に着けることを目的としています。具体的には、教育心理学の意義および課題について考察した上で、知識の獲得過程、学習の動機づけ、学習の転移、個性・個人差と授業、学習指導について学ぶ。そして、教育心理学的なものの見方・考え方を養った上で、発達を踏まえた学習支援について基本的な考え方を理解する。	2
心理学部 心理学科	田中亜裕子	PSY213-m01	教育・学校心理学	この科目は、教師として活動する際に必要な教育心理学の知識を身に着けることを目的としています。具体的には、教育心理学の意義および課題について考察した上で、知識の獲得過程、学習の動機づけ、学習の転移、個性・個人差と授業、学習指導について学ぶ。そして、教育心理学的なものの見方・考え方を養った上で、発達を踏まえた学習支援について基本的な考え方を理解する。	2
心理学部 心理学科	田中亜裕子	PSY213-Y01	教育・学校心理学	この科目は、教師として活動する際に必要な教育心理学の知識を身に着けることを目的としています。具体的には、教育心理学の意義および課題について考察した上で、知識の獲得過程、学習の動機づけ、学習の転移、個性・個人差と授業、学習指導について学ぶ。そして、教育心理学的なものの見方・考え方を養った上で、発達を踏まえた学習支援について基本的な考え方を理解する。	2
心理学部 心理学科	田中亜裕子	SP2207-Y51	発達心理学	【科目の概要】この科目では、生涯発達心理学の立場（人間は生涯を通して成長し続けるという立場）から、胎児期、新生児期、乳幼児期、児童期、青年期、成人期、老年期の過程において、各発達期の特徴と援助のあり方を理解することを目的とする。とくに乳幼児期における知能、気質、感情の心理学的理解を通して、子どもの発達支援に必要な知識の習得をねらいとする。	2
心理学部 心理学科	高橋浩樹	RSM202-m51	危機管理論	目的：危機管理に関する歴史、現状、理論を学び、将来企業人等として活動する際のリスクマネジメントを習得します。さらに日常生活に近接している消費者犯罪を捉え、消費者としての安全の確保策を学び、安全安心な学生生活、社会生活を送ることが出来る知識（セーフティーマネジメント力）の習得を目的としています。概要：この授業は三木キャンパスでは遠隔授業として実施します。	2
心理学部 心理学科	高橋浩樹	RSM202-Y51	危機管理論	目的：危機管理に関する歴史、現状、理論を学び、将来企業人等として活動する際のリスクマネジメントを習得します。さらに日常生活に近接している消費者犯罪を捉え、消費者としての安全の確保策を学び、安全安心な学生生活、社会生活を送ることが出来る知識（セーフティーマネジメント力）の習得を目的としています。概要：この授業は三木キャンパスでは遠隔授業として実施します。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
心理学部 心理学科	高橋浩樹	SMN201-Y02	専門演習Ⅰ	目的：社会的耳目を集めた事件や事故、ネット空間における問題点等を題材として、情報の収集と分析、グループ討議、プレゼンテーションを通して、物事、自己の主張を他者に正しく伝えるスキルを身に付けることを目的とします。概要：情報検索、発表案の作成、プレゼンテーションのため各回ノートパソコンを持参してください。初回にグループ分けを実施しますので、必ず出席してください。	2
心理学部 心理学科	高橋浩樹	SMN202-Y52	専門演習Ⅱ	目的：社会的耳目を集めた事件や事故、ネット空間における問題点等を題材として、情報の収集と分析、グループ討議、プレゼンテーションを通して、物事、自己の主張を他者に正しく伝えるスキルを身に付けることを目的とします。概要：情報検索、発表案の作成、プレゼンテーションのため各回ノートパソコンを持参してください。初回にグループ分けを実施しますので、必ず出席してください。	2
心理学部 心理学科 合計					89

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
経営学部 経営学科	岡村克彦	CRE201-A04	仕事とキャリア形成Ⅰ	この授業では個人ワークやグループワークを用いて、職業や仕事に関する知識を広げていくとともに、自分の性格や価値観を客観的に把握して将来のキャリア像を考え、具体的な計画を立てていきます。この授業は2部構成になっています。第1部では、みなさんの視野をひろげたり、視点を変えたり、様々な角度から社会や会社、仕事のことを見ていきます。第2部では、自分の特性・価値観などに気づき、その特性・価値観を生かせる職業は何か、その仕事をするためには今後どのような知識や技能を身につけなければならないのかを考え、短期的・中期的な計画を作成します。尚、この授業はSDGs 8のゴール、「包括的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生涯的な雇用と働き甲斐のある人間らしい（ディーセント・ワーク）を促進する。」に関連しています。	2
経営学部 経営学科	岡村克彦	FYE101-A14	初年次セミナー	この科目は、本学の初年次教育を代表するものである。科目担当者はアドバイザーであり、学生メンター（上級生）がサポートをしながら授業を運営する。初年次セミナーの大きな役割は、高校から大学へのスムーズな移行であり、学習面、対人関係面においていち早く大学に適応してもらうことである。具体的には、次の3つの目的が挙げられる。1. リーディング・ライティングの基礎について学ぶ。具体的には同時並行で履修している「学習技術」で学んだことを生かして、「しんがりの思想」第1章~第5章までを読み解き、要約することによってリーディング・ライティングの練習を行う。2. これからの学修に必要なクリティカルシンキングの基礎を学ぶ。具体的には、テーマについてグループで議論を重ね、その成果をプレゼンテーション（発表）する。3. キャリアプランを立てるためのスキルを身につける。具体的には就活に必要な自己PRの材料を収集、蓄積するスキルを学び、自己PR文の作成練習を行う。	1
経営学部 経営学科	岡村克彦	FYE103-A10	学習技術	この授業では、大学で授業を受けるにあたって必要となる基礎的な能力を養います。基礎的な能力としては「聴く」「読む」「書く」「調べる」「整理する」「まとめる」「表現する」「伝える」「考える」の9つを設定し、受講の際に必要な能力から順に習得していきます。最終的には、コンピュータを活用してレポートを作成できるようになることが目標です。授業では、テキスト『知へのステップ』の章構成にしたがって、1回の授業につき1章のペースで進行します。また、ワークシートを用い、その設問をこなしながら実践的に行うものとします。	1

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
経営学部 経営学科	岡村克彦	SMN204-A03	プロジェクトマネジメント演習Ⅱ	<p>■概要1.プロジェクトマネジメントの実践会社や組織では人と関わりながら仕事を行うが、特にチームでの仕事が多くなる。また、業務上のルーティンワークとは別に個別にプロジェクトを割り振られ、期限内で目標以上の成果を出すことを求められるプロジェクトに取り組むこともあり、これをプロジェクトマネジメントと呼ぶ。本授業では、このプロジェクトマネジメントに必要な基本的スキルを身につけるため、個人・グループでのミッション（ワーク）に取り組んでいく。その具体的なプロジェクトとは、「業界研究の発展」、「インターンシップ」、「カンパニープロジェクト」であり、2回生は1年をかけて取り組んでいく。その準備作業を行うの本授業の内容となる。○業界研究の発展1回生冬学期に実施した業界研究は「業界を知る」ことを目的に実施されてきた。その事前、現地、事後での学習を踏まえ、新たに情報収集を行って訪問した企業や商品を元に事業計画・商品提案をプロジェクトとして取り組む。○インターンシップの準備夏学期には専攻選択をした業界の企業や一般企業、各団体でのインターンシップに全員が参加する。専門科目での事前学習とは別に、経営学科インターンシップとして事前学習を行う。単にビジネスマナーを学ぶだけではなく、現地活動を円滑とするための業界研究、企業研究等の事前学習を行うと共に各学生は個人目標を設定し、その目的遂行のための活動指針等を立て、効率的且つ効果的なインターンシップにするための活動をプロジェクトとして取り組む。○カンパニープロジェクトの準備秋学期の学生が模擬企業を設立し、ハートフェスタで出店して経営結果を競うカンパニープロジェクトに取り組む。そのための準備を春学期から実施する。この模擬会社はバーチャルカンパニーであるものの、実際に社長、人事部、経理部、営業部、資材部、広報部、店舗運営部等の経営陣を決め、資本金を集め、営業活動を行うそして決算書を作り、株主総会開催までを実施する。そのための会社設立、株主総会までの経営計画を策定することにプロジェクトとして取り組む。この授業は演習科目であるため単に教室で聞く姿勢のみで不十分であり、積極的な活動がプロジェクト遂行には不可欠である。学生はその点をよく理解してチームワークを発揮して欲しい。あと、パソコンは毎回利用するので、必ず持参する必要がある。スマホではファイルのレイアウトが崩れるケースやOfficeの機能が異なるため、スマホのみ持参での参加は認めない。</p>	2
経営学部 経営学科	上山修一	REG203-M01	地域経営概論	<p>全国の地域は、少子高齢化による人口減少、首都圏への一極集中などにより、地域の安全・安心はもとより、存続そのものが危機にさらされています。この問題を解決するために地域住民が真の豊かで暮らしていけるよう、従来の考え方や習慣、体制にとらわれないイノベーションの発想をもとに、市民、企業、行政などの関係者が主体的に協働して実践していくあり方が重要となっています。本科目では、地域の問題と課題を理解しながら、具体的な地域経営の視点から地域づくりに対する基本的な考え方はもとより、地域資源の現状評価、テーマの発見、計画へのプロセス理解できるスキルの獲得を目指す。</p>	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
経営学部 経営学科	川脇康生	INT203-M72	インターンシップ I	学内での学習成果としての専門知識やスキルを、特定の業種・業界のビジネスの現場で実践し、その有効性を確認する。また、現実社会における様々な経済現象を、今後の大学での学習にフィードバックする。このように大学と社会の往還を通して、企業の仕組みや作業の流れ、組織内の人間関係などを実際に体験することで、教室で勉強した知識についての理解を深めるとともに、就業意識と学習意欲を高める。授業は「事前学習」、「実習」、「事後のリフレクション」という3つの内容からなる。・事前学習・・・受入企業及び業務の内容を理解し、実習の現場で必要とされるビジネスマナー、その他必要なスキルを習得する。また、実習により達成すべき課題(実習計画)を作成する。・実習・・・各企業の受入担当者の指導に基づき実施される。・事後学習・・・実習を行った各業務がどのような役割を分担するかを分析し、それぞれの業務に関する成功要因と失敗要因をまとめる。さらに問題解決のための情報を整理する	2
経営学部 経営学科	川脇康生	REG202-M51	公共サービス論	本授業は、公共サービスについての理論と実践を学ぶことを目的としています。まず公共の定義を行い、公共を担うさまざまなプレーヤー（国・地方自治体、非営利組織、営利組織、社会的企業など）について、それぞれの社会的役割を詳しく解説します。特に私たちが認識を新たにしなければならないことは、国・地方自治体だけでなく、民間組織や私たち一人ひとりも公共経営の一翼を担っているということです。当事者意識をもって私たちが公共経営に携わらなければならないことは、世界的潮流とっていいでしょう。それに加えて、そうならざるを得ない日本特有の事情もあります。それは継続的な景気の悪化により日本が長らく苦しんできた財政赤字の存在です。社会問題を解決するには多くの財政支出を必要とするからです。それだけではありません。国・地方自治体と民間組織が一丸となって、社会問題の解決に挑まなければならないほど、日本の社会問題は多岐にわたり複雑化しています。このような状況下において、私たちは公共をどうやって経営したらいいのでしょうか。私たちが公共経営をより有効的かつ効率的に運営するための手法について学びます。	2
経営学部 経営学科	川脇康生	SMN204-M02	プロジェクトマネジメント演習 II	この授業では、実際のプロジェクトマネジメントに取り組む。社会に出ると会社や組織で人と関わりながらチームであることが多く、与えられた成果を求めて、決められた期限に 答えを出していくことが求められます。このようなプロジェクトをマネジメントするために必要なスキルを身につける。①2年次以降の卒業研究にもつながる専門科目の履修に際して必要となる、文献検索、記事検索の手法を身につけ、COVID-19が社会に与えた影響について、自分の関心領域で情報を集めて、課題を発見する。②三木市避難所運営サポーターに必要な以下の資質を身につけ、三木市長の委嘱を受ける準備を行う・防災士資格の取得（別途地域防災減災講座を受講）・三木市役所における避難所についての講義・日本赤十字社の関西ブロック救護合同訓練に参加し、災害現場の負傷者役を務め、実際の災害現場の状況を模擬体験し、被災現場で自分たちにできること、すべきことについて考えをまとめる。③カンパニープロジェクト（学園祭プロジェクト）学園祭の出店等の企画、準備を通じて、実践的なビジネス企画の基本を体験し、組み立てる④インターンシップ等準備インターンシップ先の各団体の詳細情報を調べる就業体験、社会活動などの学外の活動に対する基本的な知識、マナーをしっかりと身につける。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
経営学部 経営学科	川脇康生	SMN205-M52	プロジェクトマネジメント演習Ⅲ	①夏学期に取り組んだインターンシップ等(インターンシップ、グローバルスタディ、サービスラーニング)の振り返りを行い発表を行います。11月(予定)のインターンシップ報告会の準備になります。?経営学科の学びを確実なものにするために、A:本学と三木市が締結した「避難所運営サポーター」の協定の要件を満たす、講義、演習を行います。要件を満たした学生は、三木市長から「三木市避難所運営サポーター」の委嘱を受け取ります。B:地元緑が丘地区のニュータウン開発を約40年前に行った大和ハウス工業株式会社の、高齢化の進むかつてのニュータウンの魅力づくり、再活性化の取り組み:「住み続ける街へ」プロジェクトについて学び、実際に住民の話などを聞いたうえで、自分たちの意見を集約して、大和ハウスにプレゼン提案します。?到達確認試験に向けて、これまで学んできた知識を活用して、ケーススタディによる分析と提案を行います。	4
経営学部 経営学科	村田昌彦	INT108-M81	業界研究	本実習は、企業訪問実習を通じて、業界研究を行う。①各コースの訪問先・研修先企業等の業務内容とありかたを、自分なりにまとめる②実社会の体験、業界の仕組み、仕事内容を頭と体で理解する。③自分の適性にあった職業か判断できるようにする。業界研究実習は2年次から具体化する専門分野の一部を実体験し、その分野が自分に向いているかについて、体験をすることにより考える機会とする。	2
経営学部 経営学科	村田昌彦	INT203-M71	インターンシップⅠ	学内での学習成果としての専門知識やスキルを、特定の業種・業界のビジネスの現場で実践し、その有効性を確認する。また、現実社会における様々な経済現象を、今後の大学での学習にフィードバックする。このように大学と社会の往還を通して、企業の仕組みや作業の流れ、組織内の人間関係などを実際に体験することで、教室で勉強した知識についての理解を深めるとともに、就業意識と学習意欲を高める。授業は「事前学習」、「実習」、「事後のリフレクション」という3つの内容からなる。・事前学習・・・受入企業及び業務の内容を理解し、実習の現場で必要とされるビジネスマナー、その他必要なスキルを習得する。また、実習により達成すべき課題(実習計画)を作成する。・実習・・・各企業の受入担当者の指導に基づき実施される。・事後学習・・・実習を行った各業務がどのような役割を分担するかを分析し、それぞれの業務に関する成功要因と失敗要因をまとめる。さらに問題解決のための情報を整理する	2
経営学部 経営学科	村田昌彦	SMN102-M51	プロジェクトマネジメント演習Ⅰ	・プロジェクトマネジメント入門社会にでると会社や組織で人と関わりながら仕事をしますが、特にチームで仕事をすることが多くなります。また、ルーティンワークとは別に、有期で(期限が決まられていて)、ミッション(特別な目的)を与えられたプロジェクトに取り組むこともあります。この授業では、プロジェクトマネジメントに必要な基本的スキルを身につけるため、グループワークをプロジェクトマネジメントとして取り組みます。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
経営学部 経営学科	村田昌彦	SMN204-M01	プロジェクトマネジメント演習Ⅱ	この授業では、実際のプロジェクトマネジメントに取り組む。社会に出ると会社や組織で人と関わりながらチームですることが多く、与えられた成果を求めて、決められた期限内に 答えを出していくことが求められます。このようなプロジェクトをマネジメントするために必要なスキルを身につける。①2年時以降の卒業研究にもつながる専門科目の履修に際して必要となる、文献検索、記事検索の手法を身に付け、COVID-19が社会に与えた影響について、自分の関心領域で情報を集めて、課題を発見する。②三木市避難所運営サポーターに必要な以下の資質を身につけ、三木市長の委嘱を受ける準備を行う・防災士資格の取得（別途地域防災減災論を受講）・三木市役所における避難所についての講義・日本赤十字社の関西ブロック救護合同訓練に参加し、災害現場の負傷者役を務め、実際の災害現場の状況を模擬体験し、被災現場で自分たちができること、すべきことについて考えをまとめる。③カンパニープロジェクト（学園祭プロジェクト）学園祭の出店等の企画、準備を通じて、実践的なビジネス企画の基本を体験し、組み立てる④インターンシップ等準備インターンシップ先の各団体の詳細情報を調べる就業体験、社会活動などの学外の活動に対する基本的な知識、マナーをしっかりと身につける。	2
経営学部 経営学科	村田昌彦	SMN205-M51	プロジェクトマネジメント演習Ⅲ	①夏学期に取り組んだインターンシップ等(インターンシップ、グローバルスタディ、サービスラーニング)の振り返りを行い発表を行います。11月(予定)のインターンシップ報告会の準備になります。 ②経営学科の学びを確実なものにするために、A: 本学と三木市が締結した「避難所運営サポーター」の協定の要件を満たす、講義、演習を行います。要件を満たした学生は、三木市長から「三木市避難所運営サポーター」の委嘱を受けます。IB: 地元緑が丘地区のニュータウン開発を約40年前に行った大和ハウス工業株式会社の、高齢化の進むかつてのニュータウンの魅力づくり、再活性化の取り組み：「住み続ける街へ」プロジェクトについて学び、実際に住民の話などを聞いた上で、自分たちの意見を集約して、大和ハウスにプレゼン提案します。④到達確認試験に向けて、これまで学んできた知識を活用して、ケーススタディによる分析と試験準備を行います。	4
経営学部 経営学科	村田昌彦	SVL101-M02	サービスラーニングA	本学と地元三木市とは成熟社会における、時代の変化に沿った連携を強化すべく、2005年11月に連携協定を締結した。「防災のまち」を標榜する三木市における市民の防災活動では、地元の青山地区を始め、各自治会を中心とした組織により防災訓練が実施されている。しかし、訓練への参加者数は減少しており、市民の防災意識が高まりつつあるとはいええない状況にある。このプログラムでは、本学に入学して初めて防災を学ぼうとする学生を対象に、防災についての基礎的な知識や三木市の災害リスクの現状について学び、地元青山地区の防災訓練の準備段階から自治会と交流を始め、市民参加しやすく役に立つ防災訓練のメニューや運営方法について提案を行い、11月の青山地区の防災訓練で、実際に一つの訓練ブースを担当して、その運営を担う。地域の防災訓練の企画運営への参画を通じて、防災意識の向上及び訓練技能を習得するとともに、地域防災力向上に貢献することを目標とする。	1
経営学部 経営学科	田口健	TOU205-A01	ホテルマネジメント	観光業界における主要産業である宿泊業。そのメインの業態であるフルサービスのホテルの経営について学習する。進路としてホテルを選んだ場合に、幹部候補として活躍することができるよう、接客やサービスといった「運営（オペレーション）」ではなく、「経営（マネジメント）」にフォーカスする。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
経営学部 経営学科	田口健	TOU208-A51	観光実務特論	傍題「ホテル産業論」として、観光産業におけるいわゆる「ホテル」について、概論、歴史、組織形態、サービス手法、防災防災、今後の課題と方向性、について幅広く学ぶ。	2
経営学部 経営学科	堀上 明	MNG101-A01	経営学概論	■目的 本科目では、経営学の各専門領域を本格的に学ぶ前段階として、経営学の全体像を学習します。■概要 経営学は、組織のマネジメントを扱う経営学分野、組織間の取引関係を扱う商学分野、経営を会計数字という視点から捉えようとする会計学分野に分けることができます。本科目では、経営学分野を学習します。商学分野は「マーケティング」という科目で学習しますので割愛します。会計学分野についても触れることができません。「商業簿記」や「財務会計論」等の個別の科目で学習してください。	4
経営学部 経営学科	堀上 明	MNG201-A51	経営戦略論	■目的 経営学の代表的な研究領域のひとつである、経営戦略論について学びます。■概要 経営戦略論の歴史は60年ほどで、そもそも100年ほどしか歴史のない経営学の中ではさらに歴史が浅い分野です。しかし、現代の企業経営において非常に重要な位置を占めています。変化の激しい時代の中で企業が継続的に発展するためには戦略が必要不可欠となっているからです。経営戦略における様々な手法を身近な事例を用いて学習し、理解を深めます。	2
経営学部 経営学科	堀上 明	MNG211-A51	サービス企画論	■目的 サービス企画の基礎について学びます。■概要 企業が顧客に提供するアウトプットには、形のある「モノ」と、形のない「サービス」とがあります。またサービスにも様々な種類のサービスがあります。サービスの事例をとりあげて企業がサービスを提供するために必要となることについて理解を深めます。	2
経営学部 経営学科	堀上 明	MNG302-A01	コンプライアンス	■目的 企業不正の事例をもとに、コンプライアンスの重要性について学びます。■概要 コンプライアンスとは、一般に「法令遵守」のことですが、法律さえ守っていれば何をやってもよい、ということにはなりません。違法でなくても社会から批判を浴びることもあります。コンプライアンスで問題を起こすと、企業はそれまで培ってきた信頼を一瞬のうちに失うこととなり、結果として企業の存続自体ができなくなることさえあります。	2
経営学部 経営学科	堀上 明	MNG303-A51	顧客満足論	■目的 顧客満足の基礎について学びます。■概要 自社の製品やサービスの顧客満足度を高めることは企業にとって非常に大きな関心事です。しかし顧客満足度が高いからといって、必ずしも自社の利益につながるとは限らないところが問題を複雑にしています。顧客満足度を高めるための、考慮すべきいくつかの視点を学習し、具体例をとりあげながら顧客満足に関する理解を深めます。	2
経営学部 経営学科	堀上 明	SMN304-A52	マネジメント専門演習	■目的 卒業研究のための準備段階として、研究テーマの設定、研究方法論を理解し、研究計画書を作成する。■概要(1)研究テーマを検討し、方法論を学習する。(2)研究テーマに関する先行研究を調査する。(3)研究計画書を作成する。	2
経営学部 経営学科	堀上 明	SMN307-A03	プロジェクトマネジメント演習Ⅳ	■目的 卒業研究のための準備段階として、卒業論文の要件を理解し、ミニ研究を通じて卒業論文執筆のためのプロセスを体験する。キャリアプランを立てる。■概要(1)卒業論文の実例を読み、卒業論文の章立てと、記述すべき内容を理解する。(2)ミニ研究を実施し、成果を発表する。(3)キャリアに対する意識を高め、キャリアプランを立てる。	4
経営学部 経営学科	堀上 明	SMN401-A18	卒業研究	■目的 4年間の学習の総仕上げとして卒業研究を実施し、その成果物として卒業論文の執筆をおこなう。■概要以下の要領で各自で進め、ゼミで発表する。卒業研究は学生が自分でおこなうものなので、教員は支援に徹する。(1)研究テーマを決める。経営学に関するものであれば特に限定はしない。(2)研究計画を立案し、スケジュールを立てる。(3)先行研究レビューを実施する。(4)データを収集、分析し、結果に対する考察をする。(5)論文執筆と発表をおこなう。	4

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
経営学部 経営学科	堀上 明	SMN401-A51	卒業研究	<p>■目的 4年間の学習の総仕上げとして卒業研究を実施し、その成果物として卒業論文の執筆をおこなう。■概要以下の要領で各自で進め、ゼミで発表する。卒業研究は学生が自分でおこなうものなので、教員は支援に徹する。(1)研究テーマを決める。経営学に関するものであれば特に限定はしない。(2)研究計画を立案し、スケジュールを立てる。(3)先行研究レビューを実施する。(4)データを収集、分析し、結果に対する考察をする。(5)論文執筆と発表をおこなう。</p>	4
経営学部 経営学科	本田あけみ	BRI203-A01	ビューティビジネス論	<p>授業の目的 9兆円と推定されるビューティビジネスの市場規模（ビューティサロンビジネス、コスメティックビジネス、ブライダルビジネス）における美容業界について理解するとともに、その1/3を占める、ヘア・メイク・ネイル・エステ等のビューティビジネスについてサロン経営の視点から解明する。授業の概要 ビューティビジネスの視点からビューティの各分野における専門的なビジネス内容及び技術者評価指標としての各種免許制度・検定制度、および人材育成について理解する。また、日本以外のビューティビジネス事情を知ることで自分と異なる他の価値観を学ぶ。</p>	2
経営学部 経営学科	本田あけみ	BRI204-A01	ビューティ技術論	<p>授業の目的 ヘア、メイクアップ、ネイル、エステティック、ブライダルそれぞれの技術の理解を深め、ビューティ技術の概要を把握することでツーリズム、ブライダル業界でのビューティの役割を認識することを目的とする。さらに、各技術を知ることでビューティビジネスについての客観的な判断ができる。 授業の概要 この授業では、ビューティビジネスの視点からビューティの各専門的な技術を紹介・実際に演習することで、トータルビューティ技術の基礎的な理解を深める。</p>	2
経営学部 経営学科	本田あけみ	BRI304-A51	ビューティ・コーディネーター論	<p>講義概要この授業では、9兆円と推定されるビューティビジネスの市場規模（サロンビジネス、コスメティックビジネス、ブライダルビジネス）において、将来ビューティ業界を目指す学生のためのビジネス教育として「ビューティ・コーディネーター」の基礎を修得する。</p>	2
経営学部 経営学科	本田あけみ	BRI305-A01	コスメティック論	<p>この講義はビューティビジネスの中核にある化粧品ビジネスの本質を探究するものです。化粧品事業の主な特長は「ビューティビジネスの主役である女性へのマーケティング」を究め「女性の生き方・美しさ」を常に提案してきたことです。その経営やマーケティングへの理解を深めるために、化粧品の歴史や商品概況を知り、化粧品ビジネス以外にも適用できる能力の養成を目指します。</p>	2
経営学部 経営学科	本田あけみ	CRE201-A03	仕事とキャリア形成Ⅰ	<p>この授業では個人ワークやグループワークを用いて、職業や仕事に関する知識を広げていくとともに、自分の性格や価値観を客観的に把握して将来のキャリア像を考え、具体的な計画を立てていきます。この授業は2部構成になっています。第1部では、みなさんの視野をひろげたり、視点を変えたり、様々な角度から社会や会社、仕事のことを見ていきます。第2部では、自分の特性・価値観などに気づき、その特性・価値観を生かせる職業は何か、その仕事をするためには今後どのような知識や技能を身につけなければならないのかを考え、短期的・中期的な計画を作成します。尚、この授業はSDGs 8のゴール、「包括的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生涯的な雇用と働き甲斐のある人間らしい（ディーセント・ワーク）を促進する。」に関連しています。</p>	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
経営学部 経営学科	本田あけみ	CRE202-A52	仕事とキャリア形成Ⅱ	<p>■概要本講義では、実際に社会人として企業や団体等で業務を遂行する上で、当然必要とされるであろう基礎的な能力を振り返る。1 自己分析と自己PR「仕事とキャリア形成Ⅰ」を振り返り、就職活動において求められる自己PRのプレゼンテーションを行うことができる。2.履歴書とエントリーシート作成することができる。就職活動において必要な履歴書とエントリーシートを作成する。3. 基礎学力の確認就職活動においては、時にSPI等の基礎学力検査によって、社会人として最低限の思考力、一般教養等が問われる。この種の学力検査については、出題傾向を事前に研究し、試験の形式に慣れることで対処可能な部分も多い。非言語スコアをアップさせる。尚、この授業はSDGs 8のゴール、「包括的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生涯的な雇用と働き甲斐のある人間らしい（ディーセントワーク）を促進する」に関連しています。</p>	2
経営学部 経営学科	李容淑	TOU203-A51	観光産業特論	<p>世界では「観光」は21世紀の最大の産業であると言われている。観光産業は裾野が広く、多くの業種・業界に渡って経済波及の効果を持つ産業である。特に現代社会における観光産業は、無公害産業、世界最大の雇用産業として脚光を浴び、観光が国際経済に与える影響力が大きくなっている。世界各国は観光産業を国家戦略産業として育成し、競争優位性を先取りするために熾烈な競争を繰り広げている。世界中が経済不況で喘いでいる中でも観光産業は、持続的な成長を見せて、グローバル時代の無限の成長産業として注目されている。その観光産業において日本は訪日観光客を誘致するために、常に新しい政策を発表している。2003年VISIT JAPAN・キャンペーンを始め、訪日外国人観光客数が2016年には2404万人を超え、2019年には3,188万人を突破し、2021年オリンピック・パラリンピックには4,000万人を目指している。ところが、最近世界に拡散するCOVID-19の影響で観光産業が大打撃を受けている中、この危機を乗り越えて、ポストコロナに対応する新戦略への大転換の必要である。その時代に合わせた専門知識を持つ人材が必要であろう。この講義では日本政府が主導する日本の未来を支える重要国家産業として専門育成戦略に従う『インバウンド主任者実務認定試験』を目指して徹底的な授業を実施します。</p>	2
経営学部 経営学科	李容淑	TOU207-A01	観光産業論	<p>インバウンドツーリズムは、成長著しいアジアをはじめとする世界の需要を取り込むことによって、人口減少・少子高齢化が進展する日本において、交流人口の拡大によって地域の活力を維持し、社会を発展させることに大きく貢献する。また、インバウンドツーリズム産業の核となる旅行業、宿泊業、輸送業、航空・空港業、お土産販売業、フードビジネス業等について、マクロ視点から、それぞれの業界の特徴と問題点の考察した上で、個々の企業をミクロ的な問題ととりあげ、その企業経営のあり方や、将来展望を模索するものとする。インバウンド観光産業は毎年成長し、2019年には訪日外国人旅行客が3,188万人を突破し、消費額は4兆8千億円にも到達して、毎年最高記録を立てている。特に2021年、東京オリンピックを越え関西地域には、2025年の世界万博の開催も期待している。但し、新型ウィルスコロナ禍が長く続く中、2021年からワクチン接種が始まり、安定時期を向かっている。コロナ終息後、新たにインバウンドブームが再開することは間違いない。このような視点から専門家が必要とする絶好の機会が目の前にある。それ従って本授業では観光専門家を排出させるために「インバウンド実務主任者認定試験」の合格に向かって徹底的に教育することとインバウンド観光の専門知識を学ぶことを目的とする。</p>	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
経営学部 経営学科	李容淑	TOU208-A01	観光実務論	インバウンドツーリズムとは何か、日本経済におけるインバウンドツーリズムの重要性を理解し、インバウンドツーリズム産業全体を経営学視点において把握をする。インバウンドツーリズムは、成長著しいアジアをはじめとする世界の需要を取り込むことによって、人口減少・少子高齢化が進展する日本において、交流人口の拡大によって地域の活力を維持し、社会を発展させることに大きく貢献する。また、インバウンドツーリズム産業の核となる旅行業、宿泊業、輸送業、航空・空港業、お土産販売業、フードビジネス業等について、マクロ視点から、それぞれの業界の特徴と問題点の考察した上で、個々の企業をミクロ的な問題をとりあげ、その企業経営のあり方や、将来展望を模索するものとする。インバウンド観光産業は毎年成長し、2019年には訪日外国人旅行者が3,188万人を突破し、消費額は4兆8千億円にも到達して、毎年最高記録を立てている。特に2020年、東京オリンピックを越え関西地域には、2025年の世界万博の開催と2024年IR大阪地域に誘致する計画を控えている。このような視点から専門家を必要とする絶好の機会が目の前にある。それ従って本授業では観光専門家を排出させるために「インバウンド実務主任者認定試験」の合格に向かって徹底的に教育することとインバウンド観光の専門知識を学ぶことを目的とする。	2
経営学部 経営学科	李容淑	TOU309-A51	インバウンド商品企画演習	世界では「観光」は21世紀の最大の産業であると言われている。観光産業は裾野が広く、多くの業種・業界に渡って経済波及の効果を持つ産業である。特に現代社会における観光産業は、無公害産業、世界最大の雇用産業として脚光を浴び、観光が国際経済に与える影響力が大きくなっている。このように観光産業が注目を浴びる中で関西地域では2025年は大阪万博が開催される予定であり、2024年度には大阪地域にIR大型リゾート団地が造成される予定です。ところが、最近世界に拡散するCOVID-19の影響で観光産業が大打撃を受けている中、この危機を乗り越えて、ポストコロナを対応する新戦略への大転換の必要である。その時代に合わせた関西へ集中的に観光インフラが増加することに合わせ専門的な高級人材が求められる。本授業では実務的な専門人材を輩出するため、現場中心の授業を行うことを目的にしている。	2
経営学部 経営学科	李容淑	TOU311-A01	アジア文化論	文化は人々が一定の時代と場所で集団で生きていく中で発生した生活様式や考え方である。すなわち、衣・食・住、言語、宗教、知識、芸術、制度など民族や社会の全体的な生活の様子を指す非常に包括的な概念である。文化は、世界の領域に拡張されて多様化と融合の過程に進んでいる。世界の文化と経済圏の区域を、米国圏、ヨーロッパ圏、アジア圏に分けて見ると、第二次世界大戦と産業革命の過程を経て、アジアの文化環境も急速な変化を経ている。近代のアジア地域の環境の変化は、アジア諸国の政治構造、経済とさらに文化の発展を遂げたことによる変化が注目されている。最近では、中国を含む中華圏のアジア文化が大きな影響力を持っている。したがって、近隣国家とは競争や対立関係ではなく、更に緊密なパートナーの役割を強化することができるよう、互いに良好な関係を形成することが重要である。特に、IT情報産業が急速に発展して日本、中国、韓国、台湾では華流、韓流、日流と呼ばれる新しい文化が共存、生成されており、アジアの文化の力を示している。したがって現在、世界ではアジア人は少数民族ではなく、生産と消費の主流となる世界人として環境が形成されている。この授業を通じて、変化する最近のアジアを理解し、日本の未来の方向性や新ビジネスの可能性を予測する力を鍛えることが目的である。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
経営学部 経営学科	林万平	INT108-M82	業界研究	本実習は、企業訪問実習を通じて、自らの将来の職種について主体的な価値観を築くための業界研究を行う。①各コースの訪問先・研修先企業等の業務内容とありかたを、自分なりにまとめる②実社会の体験、業界の仕組み、仕事内容を頭と体で理解する。③自分の適性にあった職業か判断できるようにする。業界研究実習は2年次から具体化する専門分野の一部を実体験し、その分野が自分に向いているかについて、体験をすることにより考える機会とする。	2
経営学部 経営学科	林万平	SMN102-M52	プロジェクトマネジメント演習Ⅰ	・プロジェクトマネジメント入門経営学部では2回生進級時から、各専攻に合わせた学びを深めていく学修体系を採用している。このことは、個々の授業の各論を学生本人の中で体系化する上でも、また学びの深化を図る上でも有用である。そこで、本講義においては、2回生進級時の専攻選択に向けた準備を行うために、個々にキャリアプロジェクトを実施する。	2
経営学部 経営学科 合計					87

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
保健医療学部 看護学科	伊藤尚子	SMN401-M19	卒業研究	看護の課題を研究的に取り組み、科学的思考・態度の育成を目指すとともに、看護研究に必要な基礎的能力を身につけることをねらいとする。学生が各自の関心に基づき選択した実践看護学選択分野、国際看護分野、助産看護学選択分野、あるいは公衆衛生看護学選択分野において履修する科目である。なお実践看護学選択分野は8実践看護学選択（基礎、急性、慢性、精神、小児、母性、老年、在宅）で構成され、学生は1領域を選択する。本科目では、研究を知ること、及び看護に関わる学習過程において芽生えた疑問について研究手法を用いて解決することを目的とする。	4
保健医療学部 看護学科	遠藤俊子、岩下真由美、今福恵子、伊藤尚子、蛭子真澄、岡光京子、小河原みゆき、川畑摩紀枝、黒田葉子、楠本真生、櫻井信人、齋藤益子、高見沢恵美子、谷口由佳、中島登代子、中世古恵美、中野康子、中島通子、西村美登里、沼本教子、原本久美子、本田真也、松田宣子、松原まなみ、溝畑剣城、森一恵、横山利枝、鷲尾弘枝	NAD403-M01	看護研究方法	【概要】看護研究の目的と必要性を理解し、研究に関する基礎的な知識・方法を習得する。看護研究の意義、文献検索方法、研究計画書の作成方法、調査方法について学修する。	2
保健医療学部 看護学科	岩下真由美、今福恵子、伊藤尚子、蛭子真澄、遠藤俊子、小河原みゆき、齋藤益子、高見沢恵美子、中島登美子、本田真也、松原まなみ	FYE101-M08	初年次セミナー	1.これからの学習に必要なクリティカルシンキングの基礎を学びます ・グループで議論を重ねることで、自分と違う価値観に気づき、理解していきます ・議論を繰り返すことで、学習活動を振り返る機会にもなります ・段階的に学修課題に取り組むことで複雑で、抽象的な概念の理解に挑みます ・議論通じて、発現する力、傾聴する力、議論を発展させる力、意見をまとめていく力を高めて いきます ・グループで協力して学習課題の達成を目指すため、互いに協力しながら学ぶ姿勢を実につけて いきます2.キャリアプランを立てるスキルを身につけます ・看護専門職としての自覚や目標に向かって努力していくことの必要性を意識していきます ・看護専門職として必要な社会人基礎力（コミュニケーション力、マナー、リテラシー等）を学びます ・先輩たちのキャリアを材料に、大学4年間をどのように過ごすかを考え、自分の大学生活をデザインしていきます	1
保健医療学部 看護学科	原本久美子	SMN401-M26	卒業研究	看護の課題を研究的に取り組み、科学的思考・態度の育成を目指すと共に、看護研究に必要な基礎的能力を身につけることをねらいとする。 学生が各自の関心に基づき選択した実践看護学選択分野、助産看護学選択分野、あるいは公衆衛生看護学選択分野において履修する科目である。なお実践看護学選択分野は8実践看護学選択（基礎、急性、慢性、精神、小児、母性、老年、在宅）で構成され、学生は1領域を選択する。 本科目では、研究を知ること、および看護に関わる学習過程において芽生えた疑問について研究手法を用いて解決を図ることをねらいとする。疑問から研究テーマを導き、一連の研究プロセスを学ぶ。	4
保健医療学部 看護学科	広沢俊宗	PSY109-M01	心理学基礎	本講義では心理学の基礎と看護実践への活用のためのストレスマネジメントを学ぶ。人間の心理や行動の一般法則を知ることにより、看護をする自分について理解を深め、看護を受ける側について理解を深める。	1

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
保健医療学部 看護学科	溝畑剣城	SMN401-M28	卒業研究	看護の課題を研究的に取り組み、科学的思考・態度の育成を目指すと共に、看護研究に必要な基礎的能力を身につけることを目的とする。具体的には、看護に関わる学習過程の中で芽生えた疑問から研究テーマを導き、研究手法を用いて解決を図る、一連の研究プロセスを学ぶ。 学生が各自の関心に基づき選択した実践看護学選択分野、助産看護学選択分野、あるいは公衆衛生看護学選択分野において履修する科目である。なお、実践看護学分野は9実践看護学（基礎、急性、慢性、精神、小児、母性、老年、在宅、国際）で構成され、学生は1領域を選択する。	4
保健医療学部 看護学科	高見沢恵美子	SMN401-M11	卒業研究	看護の課題を研究的に取り組み、科学的思考・態度の育成を目指すと共に、看護研究に必要な基礎的能力を身につけることをねらいとする。 学生が各自の関心に基づき選択した実践看護学選択分野、助産看護学選択分野、あるいは公衆衛生看護学選択分野において履修する科目である。なお実践看護学選択分野は8実践看護学選択（基礎、急性、慢性・がん、精神、小児、母性、老年、在宅）で構成され、学生は1領域を選択する。 本科目では、研究を知ること、および看護に関わる学習過程において芽生えた疑問について研究手法を用いて解決を図ることをねらいとする。疑問から研究テーマを導き、一連の研究プロセスを学ぶ。	4
保健医療学部 看護学科	高見沢恵美子、岩下真由美、岡光京子、森一恵	NAH205-M51	急性・慢性看護技術演習	【概要】健康状態の急激な変化により生命の危機状態にある、あるいは慢性疾患や障害とともに生活している成人患者・家族の最適な健康状態の回復・維持に働きかけるための看護援助に関する知識・技術を習得することを目指す。周手術期に関する技術、呼吸・循環機能、代謝機能を維持促進するための看護技術およびフィジカルアセスメント技術について学修する。	1
保健医療学部 看護学科	高見沢恵美子、森一恵	NAH301-M01	急性看護学実習	【概要】急性期にある患者・家族が危機状況を乗り越え、治療や症状によってもたらされる心身への侵襲から速やかに回復し、セルフケア能力を発揮できるよう、急性期病棟で臨床患者への看護実践を通して急性看護学に関する援助を学修する。対象者の病態と手術による侵襲を理解し、合併症を予防し、術後変化した形態・機能の回復過程にあった療養生活に患者が主体的に取り組める援助の在り方を、看護過程を用いて学修する。	3
保健医療学部 看護学科	松原まなみ	SMN401-M21	卒業研究	看護の課題を研究的に取り組み、科学的思考・態度の育成を目指すと共に、看護研究に必要な基礎的能力を身につけることをねらいとする。 学生が各自の関心に基づき選択した実践看護学選択分野、助産看護学選択分野、あるいは公衆衛生看護学選択分野において履修する科目である。なお実践看護学選択分野は8実践看護学選択（基礎、急性、慢性・がん、精神、小児、母性、老年、在宅）で構成され、学生は1領域を選択する。 本科目では、研究を知ること、および看護に関わる学習過程において芽生えた疑問について研究手法を用いて解決を図ることをねらいとする。疑問から研究テーマを導き、一連の研究プロセスを学ぶ。	4
保健医療学部 看護学科	沼本教子、谷口由佳、原本久美子	NCH216-M51	老年看護援助論	老年期における心身の変化や特有の疾患・症状について理解し、高齢者とその家族に対する基本的な看護援助の知識・技術の習得をねらいとする高齢者の日常生活、および加齢に伴う症状や徴候のアセスメントの方法、加齢と疾病に伴う生活機能の変化と、喪失した生活機能の再構築と適応に向けての看護援助の方法について学習するとともに、脳梗塞の高齢者の紙上事例を用いて看護過程を展開する【対応する学科の教育目標】人間についての幅広い専門知識を用いて対象者を多方面に捉え、論理的思考に基づいて、看護問題・課題を考えることができる	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
保健医療学部 看護学科	沼本教子、谷口由佳、原本久美子	NCH311-M01	老年看護学実習	高齢者施設および病棟での臨地実習を通して老年期にある対象の加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化の特徴と、人生の統合期である発達課題を理解し、対象に応じた看護実践能力を養うことを目的とする。高齢者施設では、認知症をもつ高齢者への環境ケアとコミュニケーションのあり方を学ぶ。病院実習では、老年期という発達段階にある受け持ち患者を総合的に理解し、病態と対象者が有する資源とを結び付け、生活機能の再構築の観点からの看護過程を学ぶ。さらに、実習を通して高齢者を取り巻く保健・医療・福祉分野の多職種との連携の実際と看護の役割の理解、及び高齢者の自尊心や価値観を尊重する態度の修得と自己の老年観を養うことを目指す。学内演習では臨地実習に必要な看護技術の演習、記録用紙を用いた受け持ち患者の情報整理、アセスメント～関連図～看護計画の立案・整理と、臨地実習の学びの振り返りを行う。	3
保健医療学部 看護学科	森一恵	SMN401-M22	卒業研究	・看護の課題を研究的に取り組み、科学的思考・態度の育成を目指すと共に、看護研究に必要な基礎的能力を身につけることをねらいとする。	1
保健医療学部 看護学科	森一恵、岡光京子、高見沢恵美子	NAH201-M01	成人健康看護学概論	この科目では、成人期にある人の健康の維持・増進や疾病からの回復を促進するための健康レベルに応じた看護実践に関わる基本概念や基礎知識を修得することをねらいとする。看護専門職者、とくに看護師、保健師活動において対象とする成人期にある人々の身体・心理・社会的特徴、健康問題の特徴について学修を深め、対象への看護に有用な概念および理論について学ぶことを目的とする。	2
保健医療学部 看護学科	森一恵、高見沢恵美子	NAD405-M04	統合看護実習	【本授業の概要】 実践看護学選択分野、助産看護学選択分野、公衆衛生看護学選択分野のうち、学生個々が関心のある1分野（実践看護学選択分野では1領域）を選択し、看護実践現場における学習を通して理論と実践の統合、ならびに看護観を育成することをねらいとする。また、看護専門職者としての自己のキャリア開発に向けて個人の課題を明確にすることをねらいとする。各看護学選択分野の教育内容に適した病院、施設において、既習得の看護学の知識・技術・態度に基づき患者・利用者、集団と関わり、臨地における医療チームの一員として、場に応じた看護援助を実施する。また保健医療に関する看護活動を通して、多職種との協働における看護専門職者の役割・機能と保健医療福祉の関係やシステムについて学ぶ。	4
保健医療学部 看護学科	西村美登里、櫻井信人、溝畑剣城	NAD405-M07	統合看護実習	2021年度統合看護実習要項を参照	4
保健医療学部 看護学科	川畑摩紀枝	SMN401-M16	卒業研究	看護の課題を研究的に取り組み、科学的思考・態度の育成を目指すとともに、看護研究に必要な基礎的能力を身につけることをねらいとする。学生が各自の関心に基づき選択した実践看護学選択分野、助産看護学選択分野、あるいは公衆衛生看護学選択分野において履修する科目である。なお実践看護学選択分野は8実践看護学選択（基礎、急性、慢性、精神、小児、母性、老年、在宅）で構成され、学生は1領域を選択する。本科目では、研究を知ること、および看護に関わる学習過程において芽生えた疑問について研究手法を用いて解決を図ることをねらいとする。疑問から研究テーマを導き、一連の研究プロセスを学ぶ。	4
保健医療学部 看護学科	川畑摩紀枝、中世古恵美、久井志保、松田宣子	NCH402-M01	公衆衛生看護活動展開演習	本科目は主として行政保健師として働く上で必要な知識と技術を獲得することを目的とします。具体的には、保健活動におき基盤となる法律、政策、制度をまず理解し、それをもとにした保健師活動の基本的知識を学びます。また、後半は、保健師活動上必要な基本的技術の中から主として健康診査、家庭訪問、健康教育に絞って演習を実施し、実習時に個々の学生が実際に適用できるなることを目指します。加えて、産業保健活動及び養護教諭の活動の基礎を学び産業保健実習及び学校保健実習での学びに必要な知識を獲得することを目指します。	3

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
保健医療学部 看護学科	川畑摩紀枝、中世古恵美、松田宣子	NCH219-M01	公衆衛生看護学概論	個人・家族の疾病予防や健康回復に対する支援だけでなく、それら個人・家族の住む地域あるいはコミュニティ全体の健康の向上を目指すのが公衆衛生である。このため、公衆衛生看護に必要な知識や用いる技術は臨床看護とは同じではない。そこで、本科目では公衆衛生看護の目指すことや支援の特徴について概説し、自分の身近な問題を振り返りながら、公衆衛生看護の視点から社会現象や身の回りの課題を捉える能力の獲得を目指す。	2
保健医療学部 看護学科	川畑摩紀枝、中世古恵美、松田宣子	NCH403-M01	公衆衛生看護管理論	本科目では保健師活動の基礎となる地域診断（コミュニティ・ヘルス・アセスメント）の理論と技術について学びます。地区診断とは保健所及び市町村などの行政の場で働く保健師に必須の専門技術として位置付けられています。保健師として地域の健康課題を明らかにし、そのニーズにあった保健事業及び保健政策を企画する能力です。本科目ではこの地域診断の技術を獲得するために、講義と演習（個人ワーク・グループワーク）を通し、モデル地区（市町レベル）及び実際に実習を行う地区（市町レベル）について主として二次データをもとに演習を行い、地域集団の健康課題を明確にするための情報の収集方法と分析方法を学びます。そしてこれらの結果をもとに市町村の保健事業を実際に企画していきます。尚、本科目の演習の結果は公衆衛生看護学実習の際の基礎資料となります。実習ではこれらの二次データの情報に一次データ（観察及びインタビューから得られる情報）を加えることで、地域診断を完成させていきます。	2
保健医療学部 看護学科	川畑摩紀枝、中世古恵美、松田宣子	NCH404-M01	公衆衛生看護学実習	公衆衛生看護学実習は主たる活動の場である1）保健所・市町村、2）産業保健、3）学校保健の3箇所で行います。この実習に統合看護実習（公衆衛生看護学分野）を合わせて、保健師として活動する上で必要な実践的知識と技術の獲得を目指します。	4
保健医療学部 看護学科	谷口由佳	SMN401-M36	卒業研究	看護の課題を研究的に取り組み、科学的思考・態度の育成を目指すと共に、看護研究に必要な基礎的能力を身につけることを目的とする。具体的には、看護に関わる学習過程の中で芽生えた疑問から研究テーマを導き、研究手法を用いて解決を図る、一連の研究プロセスを学ぶ。学生が各自の関心に基づき選択した実践看護学選択分野、助産看護学選択分野、あるいは公衆衛生看護学選択分野において履修する科目である。なお、実践看護学分野は9実践看護学（基礎、急性、慢性、精神、小児、母性、老年、在宅、国際）で構成され、学生は1領域を選択する。	4
保健医療学部 看護学科	谷口由佳、沼本教子、原本久美子	NAD405-M09	統合看護実習	実践看護学選択分野、助産看護学選択分野、公衆衛生看護学選択分野のうち、学生個々が関心のある1分野（実践看護学選択分野では1領域）を選択し、看護実践現場における学習を通して理論と実践の統合、ならびに看護観を育成することをねらいとする。また、看護専門職者としての自己のキャリア開発に向けて個人の課題を明確にすることをねらいとする。各看護学選択分野の教育内容に適した病院、施設において、既習得の看護学の知識・技術・態度に基づき患者・利用者、集団と関わり、臨地における医療チームの一員として、場に応じた看護援助を実施する。また保健医療に関する看護活動を通して、多職種との協働における看護専門職者の役割・機能と保健医療福祉の関係やシステムについて学ぶ。	4

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
保健医療学部 看護学科	中島登美子	SMN401-M15	卒業研究	看護の課題を研究的に取り組み、科学的思考・態度の育成を目指すと共に、看護研究に必要な基礎的能力を身につけることをねらいとする。 学生が各自の関心に基づき選択した実践看護学選択分野、助産看護学選択分野、あるいは公衆衛生看護学選択分野において履修する科目である。なお実践看護学選択分野は8実践看護学選択（基礎、急性、慢性、精神、小児、母性、老年、在宅）で構成され、学生は1領域を選択する。 本科目では、研究を知ること、および看護に関わる学習過程において芽生えた疑問について研究手法を用いて解決を図ることをねらいとする。疑問から研究テーマを導き、一連の研究プロセスを学ぶ。	4
保健医療学部 看護学科	中島登美子、本田真也、横山利枝	NAD405-M02	統合看護実習	【統合看護実習全体の目的】 実践看護学選択分野、助産看護学選択分野、公衆衛生看護学選択分野のうち、学生個々が関心のある1分野（実践看護学選択分野では1領域）を選択し、看護実践現場における学習を通して理論と実践の統合、ならびに看護観を育成することをねらいとする。また、看護専門職者としての自己のキャリア開発に向けて個人の課題を明確にすることをねらいとする。【統合看護実習の概要】 各看護学選択分野の教育内容に適した病院、施設において、既修得の看護学の知識・技術・態度に基づき患者・利用者・集団と関わり、臨地における医療チームの一員として、場に応じた看護援助を実施する。また保健医療に関する看護活動を通して、多職種との協働における看護専門職者の役割・機能と保健医療福祉の関係やシステムについて学ぶ。【小児看護分野での目的】 疾病や障害をもって生活をしている子どもと家族への看護援助を行うことを通じて、これまでに学習した看護学の知識・技術・態度を統合し、看護観を育成するとともに、看護専門職者としての自己のキャリア開発に向けて個人の課題を明確にする。	4
保健医療学部 看護学科	中島登美子、本田真也、横山利枝	NHF201-M01	小児健康看護学概論	小児看護の対象となる子どもと家族、それを取り巻く環境、子どもの成長発達と健康について考えることを通じて、小児看護を実践していくための基本となる知識と技術を学ぶ。	2
保健医療学部 看護学科	中島登美子、本田真也、横山利枝	NHF301-M01	小児看護学実習	発達過程にある子どもと家族の健康生活を踏まえ、病気や障害が子どもと家族に及ぼす影響を理解し、必要な看護を実践できる基礎的能力を修得できる。	2
保健医療学部 看護学科	中野康子、今福恵子、堀口和子	NCH217-M01	在宅看護学概論	この科目は、在宅看護について基礎的知識を身につけることを目的とします。具体的には、在宅看護の歴史や在宅看護が必要とされる社会的な背景を踏まえ、在宅看護の概要と対象、活動の場、活動方法の特徴、および在宅看護の役割と課題を学びます。	2
保健医療学部 看護学科	楠本真生、蛭子真澄、黒田葉子	NAD405-M03	統合看護実習	実践看護学選択分野、助産看護学選択分野、公衆衛生看護学選択分野のうち、学生個々が関心のある1分野（実践看護学選択分野では1領域）を選択し、看護実践現場における学習を通して理論と実践の統合、ならびに看護観を育成することをねらいとする。また、看護専門職者としての自己のキャリア開発に向けて個人の課題を明確にすることをねらいとする。 各看護学選択分野の教育内容に適した病院、施設において、既習得の看護学の知識・技術・態度に基づき患者・利用者、集団と関わり、臨地における医療チームの一員として、場に応じた看護援助を実施する。また保健医療に関する看護活動を通して、多職種との協働における看護専門職者の役割・機能と保健医療福祉の関係やシステムについて学ぶ。	4

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
保健医療学部 看護学科	蛭子真澄	SMN401-M14	卒業研究	看護の課題を研究的に取り組み、科学的思考・態度の育成を目指すと共に、看護研究に必要な基礎的能力を身につけることをねらいとする。学生が各自の関心に基づき選択した実践看護学選択分野、助産看護学選択分野、あるいは公衆衛生看護学選択分野において履修する科目である。なお実践看護学選択分野は8実践看護学選択（基礎、急性、慢性、精神、小児、母性、老年、在宅）で構成され、学生は1領域を選択する。本科目では、研究を知ること、および看護に関わる学習過程において芽生えた疑問について研究手法を用いて解決を図ることをねらいとする。疑問から研究テーマを導き、一連の研究プロセスを学ぶ。	4
保健医療学部 看護学科	蛭子真澄、黒田葉子、楠本真生	NFN101-M01	基礎看護学概論	看護学のメタパラダイムである、人、健康、環境、看護に関する理解を深め、看護観の基盤を構築することをねらいとする。看護の概念、看護の歴史、主要な看護モデル・理論、生命の尊厳と人権の尊重、看護専門職者に求められる役割・機能、倫理的感受性と看護倫理について学習する。また、看護学教育の歴史的・制度的背景をふまえ、看護の質を高め、看護専門職者としてのキャリア発達を促す看護教育の在り方についても学ぶ。	2
保健医療学部 看護学科	蛭子真澄、黒田葉子、楠本真生	NFN102-M51	基礎看護学方法論	看護の基盤となる看護技術の基本的な考え方、および看護技術の実践において基盤をなす方法論について理解し、基本的な看護技術に関する知識・技術を習得することをねらいとする。具体的には、看護の対象となる人々と援助的人間関係の構築、療養環境を整えるための援助、ヘルスアセスメントにかかわる基本技法について学習する。	2
保健医療学部 看護学科	蛭子真澄、黒田葉子、楠本真生	NFN103-M51	基礎看護技術Ⅰ（生活援助）	あらゆる看護援助の基盤となる安全・安楽な療養生活を支援するための看護技術の習得を目指す。講義、視聴覚教材の視聴、患者役・看護師役のロールプレイを通し、食生活や排泄を整えるための援助、清潔や衣服を整えるための援助、活動・休息の援助等に係る看護技術を学習する。	1
保健医療学部 看護学科	蛭子真澄、黒田葉子、楠本真生	NFN104-M51	基礎看護技術Ⅱ（治療援助）	療養を支えるための診療補助行為に関わる基本的な看護技術の習得を目指す。講義、視聴覚教材の視聴、患者役・看護師役のロールプレイを通し、感染予防に関わる援助技術や薬物療法に関わる援助技術、呼吸・循環を整える技術等について学習する。	1
保健医療学部 看護学科	蛭子真澄、黒田葉子、楠本真生	NFN105-M71	基礎看護学実習Ⅰ（早期体験実習）	早期体験学習として位置づけ、看護専門職者となるための学習の動機づけを図ることをねらいとする。医療施設において、病棟や外来などの看護実践の場に赴き、療養環境を把握するとともに、対象者の療養・診療の援助、自立の援助などの看護活動を見学・学習し、対象の健康ニーズと対応する看護専門職者の役割・機能について理解を深め、学習の方向性と在り方を探求し、今後の自己の学習目的を定める。	1
保健医療学部 看護学科	蛭子真澄、黒田葉子、楠本真生	NFN201-M01	基礎看護技術Ⅲ（看護過程）	健康上の問題や障害をもつ人々の生活上のニーズや諸問題を明らかにし、その解決に向けた確かな援助を提供するためのツールとしての看護過程（問題解決思考）の習得を目指す。具体的には、紙上事例をとりあげ、看護実践上の科学的根拠として用いられる代表的な看護理論を用いて看護過程を展開するトレーニングを実践する。	1
保健医療学部 看護学科	蛭子真澄、黒田葉子、楠本真生	NFN202-M81	基礎看護学実習Ⅱ（看護援助過程）	健康障害により日常生活援助を必要とする患者に対して、既習の知識・技術・態度を適用・応用し、患者を総合的に理解して、個別的な看護活動を実施するための基礎的能力を習得する。1名の患者を受け持ち、患者と援助的人間関係を築き、安全・安楽に基づき看護を展開するプロセスについて学ぶ。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
保健医療学部 看護学科	本田真也、中島登美子、横山利枝	NHF202-M51	小児看護援助論	【授業の目的】 健康問題・障害を持つ子どもと家族について、さまざまな病期、発達段階にある子どもと家族に対する看護の方法を身につける。【授業の概要】 健康問題・障害を持つ子どもと家族への看護展開の方法を個人またはグループで実際に事例の展開を行うことを通して学ぶ。また、子どもの日常生活援助や治療援助についての技術演習を実施し、小児看護を実践するための技術について学ぶ。	2
保健医療学部 看護学科	鷲尾弘枝	SMN401-M35	卒業研究	看護の課題を研究的に取り組み、科学的思考・態度の育成を目指すとともに、看護研究に必要な基礎的能力を身につけることをねらいとする。学生が各自の関心に基づき選択した実践看護学選択分野、国際看護分野、助産看護学選択分野、あるいは公衆衛生看護学選択分野において履修する科目である。なお実践看護学選択分野は8実践看護学選択（基礎、急性、慢性、精神、小児、母性、老年、在宅）で構成され、学生は1領域を選択する。本科目では、研究を知ること、および看護に関わる学習過程において芽生えた疑問について研究手法を用いて解決を図ることをねらいとする。疑問から研究テーマを導き、一連の研究プロセスを学ぶ。	4
保健医療学部 看護学科	鷲尾弘枝、遠藤俊子、松原まなみ	NAD405-M06	統合看護実習	【統合看護実習全体の目的】 実践看護学選択分野、助産看護学選択分野、公衆衛生看護学選択分野のうち、学生個々が関心のある1分野（実践看護学選択分野では1領域）を選択し、看護実践現場における学習を通して理論と実践の統合、ならびに看護観を育成することをねらいとする。また、看護専門職者としての自己のキャリア開発に向けて個人の課題を明確にすることをねらいとする。【統合看護実習の概要】 各看護学選択分野の教育内容に適した病院、施設において、既修得の看護学の知識・技術・態度に基づき患者・利用者・集団と関わり、臨地における医療チームの一員として、場に応じた看護援助を実施する。また保健医療に関する看護活動を通して、多職種との協働における看護専門職者の役割・機能と保健医療福祉の関係やシステムについて学ぶ。【小児看護分野での目的】 疾病や障害をもって生活をしている子どもと家族への看護援助を行うことを通じて、これまでに学習した看護学の知識・技術・態度を統合し、看護観を育成するとともに、看護専門職者としての自己のキャリア開発に向けて個人の課題を明確にする。	4
保健医療学部 看護学科	櫻井信人、西村美登里、溝畑剣城	NAH206-M01	精神健康看護学概論	精神保健福祉、精神の健康概念、精神看護の基盤となる諸理論を理解し、精神看護を実践するための基礎的知識の習得をめざす。精神看護の基盤となすコミュニケーション、援助関係の構築、治療的アプローチ、治療的環境、精神保健福祉の対象・領域・活動内容と他職種連携について学ぶ。	2
保健医療学部 看護学科	櫻井信人、西村美登里、溝畑剣城	NAH303-M01	精神看護学実習	精神科病院で実習を行なう予定である。実習では、学生は原則として1人の患者を受け持ち、これまでの講義で培った知識と技術を展開する。実習での受け持ち患者とのかかわりを振り返ることを通じて、看護上の問題点や目標を抽出し、具体策を整理する。さらに、実習で体験したことをカンファレンスでの他の学生やスタッフとの意見交換を通して、広く探究する。これらの実習の場で学習したことを通じて議論し、実習目標に照らして各自が学習内容を統合する。【精神看護学実習の目的】 1) 精神の健康に障害のある人とその家族を対象に、その人のこれまでの人生や生活を理解した上で必要な援助を実践する。2) 精神の健康に障害のある人がその人らしく自立して生活するために必要なサポートシステムを理解する。3) 関係性を構築していく中で、自分のコミュニケーションパターンを振り返り、強みを生かしながら看護を実践する。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
保健医療学部 看護学科 合計					116

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
現代社会学部	岡本久	CB1201-Y01	コンピュータリテラシーⅢ(ネットワークプレゼンテーション)	この科目では、コンピュータリテラシー（読み書きの能力）の、より高度な能力を身につけることを目的としています。特に、インターネットを介した情報のやり取りや、品質の高いプレゼンテーションに欠かすことのできないWebページ作成（HTML言語などの理解）および、画像・映像・音声などのマルチメディアコンテンツ制作に関する基礎力を習得します。今日、スマートフォンなどで撮った写真や映像を発信するのは、専用のツールやアプリを使えば簡単に行うことができます。しかし一歩進んだクオリティの高い情報・コンテンツを発信するためには、インターネットの基本となるHTMLドキュメントや、マルチメディアコンテンツについて編集する知識と技術が必要不可欠です。それらの基礎力を身につけることで、様々なツールやアプリを効果的に利用し、よりクオリティの高い情報・コンテンツを発信することができるようになります。	2
現代社会学部	岡本久	CB1201-Y02	ネットワークプレゼンテーション	この科目では、コンピュータリテラシー（読み書きの能力）の、より高度な能力を身につけることを目的としています。特に、インターネットを介した情報のやり取りや、品質の高いプレゼンテーションに欠かすことのできないWebページ作成（HTML言語などの理解）および、画像・映像・音声などのマルチメディアコンテンツ制作に関する基礎力を習得します。今日、スマートフォンなどで撮った写真や映像を発信するのは、専用のツールやアプリを使えば簡単に行うことができます。しかし一歩進んだクオリティの高い情報・コンテンツを発信するためには、インターネットの基本となるHTMLドキュメントや、マルチメディアコンテンツについて編集する知識と技術が必要不可欠です。それらの基礎力を身につけることで、様々なツールやアプリを効果的に利用し、よりクオリティの高い情報・コンテンツを発信することができるようになります。	1
現代社会学部	新稲法子	CB0203-Y01	日本語コミュニケーション実践	仕事や改まった場面で、常識ある大人としてコミュニケーションできるようになることを目指して、show and tell・ビブリオバトル・ディベートなどの技能を学び、話し言葉を中心に、わかりやすく誤解されない伝え方を課題を通して身につけます。	2
現代社会学部	新稲法子	CB0203-Y02	日本語コミュニケーション	仕事や改まった場面で、常識ある大人としてコミュニケーションできるようになることを目指して、show and tell・ビブリオバトル・ディベートなどの技能を学び、話し言葉を中心に、わかりやすく誤解されない伝え方を課題を通して身につけます。	1
現代社会学部	新稲法子	CB0203-Y51	日本語コミュニケーション実践	仕事や改まった場面で、常識ある大人としてコミュニケーションできるようになることを目指して、show and tell・ビブリオバトル・ディベートなどの技能を学び、話し言葉を中心に、わかりやすく誤解されない伝え方を課題を通して身につけます。	2
現代社会学部	新稲法子	CB0203-Y52	日本語コミュニケーション	仕事や改まった場面で、常識ある大人としてコミュニケーションできるようになることを目指して、show and tell・ビブリオバトル・ディベートなどの技能を学び、話し言葉を中心に、わかりやすく誤解されない伝え方を課題を通して身につけます。	1
現代社会学部	西村典芳	CB0166-Y51	スポーツ	本コースでは、自らの心身の状況を考慮しつつ、自己に適した運動・スポーツを行うことを重視する。本授業では、身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。	1

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
現代社会学部	藤井孝子	CB0165-Y51	手話演習	<p>【目的】＊聴覚障害者の第一言語である手話を学び、コミュニケーション力を身に付ける。</p> <p>＊手話を通して、聴覚障害者の生活、文化、歴史を学び、理解を深める。</p> <p>＊ノーマライゼーションの理念を習得し、多様な価値観を認める力を高める。【概要】＊ろう講師の魅力的な手話を真似ることで、非音声的表現（アイコンタクト・身振り・姿勢・間の取り方）を身に付けることができる。</p>	2
現代社会学部	藤井孝子	CB0165-Y52	手話	<p>【目的】＊聴覚障害者の第一言語である手話を学び、コミュニケーション力を身に付ける。</p> <p>＊手話を通して、聴覚障害者の生活、文化、歴史を学び、理解を深める。</p> <p>＊ノーマライゼーションの理念を習得し、多様な価値観を認める力を高める。【概要】＊ろう講師の魅力的な手話を真似ることで、非音声的表現（アイコンタクト・身振り・姿勢・間の取り方）を身に付けることができる。</p>	1
現代社会学部	櫻井一成	CB0163-Y01	健康科学	<p>【目的と概要】学生生活・社会生活上最も大切なことは、心と体の体調管理（自己管理）である。本講は、体の仕組みと働きについて学びながら、疾患に対する基本的な医学的知識を習得し、健康・保健に対する自己意識の向上を主目的としている。今後、超高齢化の流れが速まり、医療に対する社会的ニーズはさらに深まる。特に医療・介護等の分野（介護福祉士、社会福祉士などの国家資格取得、診療補助などのパラスタッフなど）に興味のある学生は、本学習を礎としさらなる研鑽を積んで頂きたい。</p> <p>【授業計画と方法】常に「考えさせる」ことを重視し、PBL型の授業を取り入れつつ進める。下記の授業計画に従って講義および実習（第5講）を進める。教科書を使用し、プレゼン・資料は、学生・教職員専用サイト、SSL-VPN内のSドライブより配信（原則ノートパソコンを持参して頂きたい）し、板書を交えて解説する。また折に触れ、DVDを使用し理解を深める。</p>	2
現代社会学部	櫻井一成	CB0163-Y02	健康科学（1）	<p>【目的と概要】学生生活・社会生活上最も大切なことは、心と体の体調管理（自己管理）である。本講は、体の仕組みと働きについて学びながら、疾患に対する基本的な医学的知識を習得し、健康・保健に対する自己意識の向上を主目的としている。今後、超高齢化の流れが速まり、医療に対する社会的ニーズはさらに深まる。特に医療・介護等の分野（介護福祉士、社会福祉士などの国家資格取得、診療補助などのパラスタッフなど）に興味のある学生は、本学習を礎としさらなる研鑽を積んで頂きたい。</p> <p>【授業計画と方法】常に「考えさせる」ことを重視し、PBL型の授業を取り入れつつ進める。下記の授業計画に従って講義および実習（第5講）を進める。教科書を使用し、プレゼン・資料は、学生・教職員専用サイト、SSL-VPN内のSドライブより配信（原則ノートパソコンを持参して頂きたい）し、板書を交えて解説する。また折に触れ、DVDを使用し理解を深める。</p>	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
現代社会学部	櫻井一成	CB0164-Y51	トラベルメディスン	<p>【目的と概要】トラベルメディスンとは「旅行医学」のことである。旅行時は普段とは異なった環境下であり、身体的負担や精神的不安を増幅させる。またシルバー世代や有病者においては旅行中の発病が危惧され要注意であるが、適切なアドバイスにより発病リスクの軽減も可能である。旅行者の健康被害を最小限にするためには、旅行に伴うリスク、予防法、そしてその対処法を適切に理解しておく必要がある。本講では、旅行時における健康上のリスクについて知り、どうしたらそのリスクを最小限に止めることができるのかを習得する。旅行者に対する健康上の諸問題を疾患ベースで取り上げ、その原因、病態、予防対策などを修得する。また「環境変化」や「感染症」に関する学習は、観光文化産業従事者のみならず、全ての職種や高齢者、障害者、また介護等の分野においても役立つ。本講で得られた知識を実際面で活用できる人材として育てほしい。【授業計画と方法】常に「考えさせる」ことを重視し、PBL型の授業を取り入れつつ進める。下記の授業計画に従ってパワーポイントを使用し、プレゼン・資料は、学生・教職員専用サイト、SSL・VPN内のSドライブより配信する（原則ノートパソコンを持参して頂きたい）。また適宜、視聴覚メディア（DVD）を活用しながら講義形式で進める。また、「トラベルメディスン・テキストブック（日本渡航医学会編：非売品）の骨子に沿って解説する。</p>	2
現代社会学部	櫻井一成	CB0164-Y52	健康科学（2）	<p>【目的と概要】トラベルメディスンとは「旅行医学」のことである。旅行時は普段とは異なった環境下であり、身体的負担や精神的不安を増幅させる。またシルバー世代や有病者においては旅行中の発病が危惧され要注意であるが、適切なアドバイスにより発病リスクの軽減も可能である。旅行者の健康被害を最小限にするためには、旅行に伴うリスク、予防法、そしてその対処法を適切に理解しておく必要がある。本講では、旅行時における健康上のリスクについて知り、どうしたらそのリスクを最小限に止めることができるのかを習得する。旅行者に対する健康上の諸問題を疾患ベースで取り上げ、その原因、病態、予防対策などを修得する。また「環境変化」や「感染症」に関する学習は、観光文化産業従事者のみならず、全ての職種や高齢者、障害者、また介護等の分野においても役立つ。本講で得られた知識を実際面で活用できる人材として育てほしい。【授業計画と方法】常に「考えさせる」ことを重視し、PBL型の授業を取り入れつつ進める。下記の授業計画に従ってパワーポイントにより説明する。プレゼン・資料は、学生・教職員専用サイト、SSL・VPN内のSドライブより配信する（原則ノートパソコンを持参して頂きたい）。また適宜、視聴覚メディア（DVD）を活用しながら講義形式で進める。また、「トラベルメディスン・テキストブック（日本渡航医学会編：非売品）の骨子に沿って解説する。</p>	2
現代社会学部 合計					21

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
現代社会学部 総合社会学科	亀井芳郎	SE2210-Y01	産業政策論	この科目は、起業や経営者として活動する際に必要な産業政策の知識を身に付けることを目的とします。具体的には、起業、または経営者が直面する課題（創業、戦略立案、計画策定、会社設立、資金調達、経営課題対策等々）に対して、どのような中小企業政策があるか、それらを活用するノウハウの獲得を目指します。	2
現代社会学部 総合社会学科	山隈直人	CC1105-Y01	建築・インテリア入門	建築・インテリアを学ぶ上での必要となる幅広い分野のうち、特に建築の歴史・計画・技術・都市・景観・環境などの分野についての基礎知識を学ぶ。 建築の歴史・計画・技術・都市・景観・環境などの分野について概説を行うとともに、神戸の建築・まちのフィールドワークを通して建築・インテリアの基礎知識について実感を持って学ぶ。	2
現代社会学部 総合社会学科	山隈直人	CS2201-Y06	課題研究	より良い建築・インテリアを設計するためには、既存建物の調査・研究をすることが重要です。建築・インテリアに関する課題の発見・調査・研究方法について資料調査やフィールドワークなどを通して学びます。	4
現代社会学部 総合社会学科	山隈直人	CS2301-Y05	専門演習	建築・インテリアに関する知見を深め、現代社会の生活基盤である建築・インテリアの課題の発見と、より良い建築を設計するための基礎となる調査・研究方法を学ぶ。	4
現代社会学部 総合社会学科	山隈直人	CS2401-Y01	卒業研究	身近な建築・インテリアに対して、各自で自分のテーマを設定し、調査・考察して卒業論文・卒業設計にまとめます。身近なモノからインテリア、住宅、建築、街の空間、あるいは身近な自然の活用までが対象となります。	4
現代社会学部 総合社会学科	山隈直人	SA2203-Y01	建築一般構造（1）	この授業では主に木構造についての基礎知識を学ぶ。 建築の安全性の基礎となる建築構造の分類、特徴、構法などについての基礎知識を学ぶ	2
現代社会学部 総合社会学科	山隈直人	SA2207-Y01	設計製図基礎（1）	建築設計図を作成するための製図の基礎的な技術を習得する。	2
現代社会学部 総合社会学科	山隈直人	SA2305-Y01	設計製図演習（1）	公共施設の設計を行い、設計図及び模型を製作してプレゼンテーション図面として表現し発表し、これからの公共環境のあり方を考える。公共施設の平面、断面、立面を計画する技術を習得する。 また、自分のアイデアを形にし、提案を図面や模型で表現してプレゼンテーションする力を身に付ける。 それを通してより良い住まいはどうかを考える。「設計製図基礎」で習得した技術を用いて建築の設計製図課題を行う。	2
現代社会学部 総合社会学科	小山聖治	SE2206-Y01	マーケティング論	この授業では、「マーケティング」についての基礎的な理論を把握したうえで、観光産業における具体的な事例を交えながら、観光ビジネスを理解することを目的としています。 新たなビジネスモデルの登場で旧来の大手旅行代理店の優位性が崩れつつあるほか、地域発展を目指した「観光による地方創生」の効果が期待されることなど、時代の変化による様々な要因を背景に消費者の旅行需要も変化しつつあります。これら多種多様な顧客ニーズを的確に捉え、顧客満足を最大化し、観光産業を発展させるためには「マーケティング」の発想が欠かせません。 講義ではマーケティングの様々な機能を学び、ディスカッションを行います。その上で学んだことを活用してグループまたは個人発表を行います。	2
現代社会学部 総合社会学科	小田利広	SE2202-Y01	ミクロ経済学	ミクロ経済学の学習を通じて健やかで調和のとれた人格と豊かな知性を形成する。	2
現代社会学部 総合社会学科	小田利広	SE2202-Y51	マクロ経済学	マクロ経済学の視点から社会の変化を理解し、仕事と暮らしに役立てる。	2
現代社会学部 総合社会学科	小田利広	SE2214-Y51	現代経済理論	マクロ経済学の視点から社会の変化を理解し、仕事と暮らしに役立てる。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
現代社会学部 総合社会学科	須崎暁世	SP1102-Y51	臨床心理学概論	本講義では、学問としての臨床心理学について、その歴史と理論、および実践の基礎的知識について、体系的に学びます。	2
現代社会学部 総合社会学科	須崎暁世	SP1201-Y01	心理学基礎実験	心理学の初歩的な実験を実施することを通して、心理学実験の基礎的知識を学びます。仮説を立て、実験で確かめる仮説検証型の研究手法および、レポートの作成方法の基礎を身に付けることを目指します。	1
現代社会学部 総合社会学科	須崎暁世	SP2202-Y51	心理測定法	本講義では、目に見えない心理現象を数値化し、その数量データを統計的に分析することで心理現象に関する知を生み出す方法論について学びます。また、そのうちの一つである質問紙法を取り上げ、質問紙の作成、調査の実施、t検定によるデータ分析を体験し、データサイエンスの力を身につけます。	2
現代社会学部 総合社会学科	須崎暁世	SP2203-Y51	心理学実験実習（1）	心理学では、「こころ」をどのように研究するかということが重要な問題であり、そのために様々な研究方法が考案されてきました。本実習では、代表的な研究方法である実験法、観察法、質問紙法、面接法、心理検査法について実際に体験し、レポートを作成することにより学びを深めます。とりわけ、面接法、心理検査法といったやや応用的な課題が中心となります。	1
現代社会学部 総合社会学科	須崎暁世	SP2206-Y01	教育心理学	この科目は、教育に関わる心理学的知見について学ぶことを目的とします。具体的には、乳幼児から青年期までの心身の発達や、人間の認知や記憶といった学習過程の基礎、効果的な教授法などを学びます。また、具体的な教育場面についても扱い、児童・生徒の理解につながる心理学的視点の基礎を身につけることを目指します。	2
現代社会学部 総合社会学科	須崎暁世	SP2208-Y01	カウンセリング	本講義では、臨床心理学の実践であるカウンセリングについて、基礎的知識を学び、その基礎的・具体的な技法を習得することを目指します。	2
現代社会学部 総合社会学科	須崎暁世	SP2209-Y51	教育相談	本講義では、教師による学校教育相談の基礎的な知識と対応を習得することを目指します。カウンセリングの視点を取り入れながら、児童・生徒本人への対応のみならず、保護者への対応、校内支援体制の整備、他機関との連携方法などを実践的に学びます。	2
現代社会学部 総合社会学科	須崎暁世	SP2210-Y01	人格心理学	人格（パーソナリティ）とは、性格と言われることもありますが、個人の言動の背景にあって個人に特徴的な、一貫して持続的なまとまりです。本講義では、主要な人格理論、人格の発達プロセス、社会・文化との関わりを中心に学びます。また、人格の病理についても取り上げ、学習を深めます。	2
現代社会学部 総合社会学科	須崎暁世	SP2302-Y01	青年心理学	青年期は、子どもから大人への移行期であり、心身の両面において重要な変容を遂げる時期です。本講義では、エリクソンの心理社会的発達理論を基礎に青年期の心理的・発達の特徴を学びます。また、青年期に多い心理的問題や精神病理についても事例も含めて取り上げ、学びを深めます。	2
現代社会学部 総合社会学科	杉田裕路子	SS2306-Y01	メディア制作演習	現役の編集者・ライターでもある講師指導のもと、本や雑誌の基本的な構成と制作過程、流通の仕組みを学び、受講者全員で一冊の雑誌を作り上げます。各自が書き上げた原稿をチェックし、読みやすい文章の書き方を個別に指導します。グループで企画提案～実践まで行うので、様々なビジネスシーンで応用できる企画提案の基本を体験できます。また、将来マスコミ業界に関わる際に有用な学修となります。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
現代社会学部 総合社会学科	青山有希	SA2209-Y01	C A D (1)	この科目は、基本的な建築図面を理解し、コンピュータ（CADソフト）を用いて建築製図を行うための基本的な技術を習得すること、及びその技術を用いて、簡単な設計を行い、コンセプトを具現化できる力を身に付けることを目的とします。具体的には、前半ではJw_cadを用いて、テキストに沿って、木造住宅の建築図面を作成しながら基本的な操作を身につけます。後半では、Jw_cadとSketchUpを用いて、基本的な寸法感覚を養いながら、3D作図の基本的な操作を身に付け、コンセプトを作成して簡単な家具を設計し、プレゼンテーションを行います。コンセプト作成、CADを用いた具現化、プレゼンテーションという流れを身につけます。	2
現代社会学部 総合社会学科	青山有希	SA2210-Y81	C A D (2)	この科目は、プレゼンテーション用建築図面の作成、建築図面から3Dモデリングと建築パースの作成、コンセプトの検討、コンセプトに応じたデザインの作成を行い、それらをまとめて、建築プレゼンテーション図面を作成する基本技術を習得することことを目的とします。具体的には、前半では、Jw_cadの図面をプレゼンテーション用に装飾し、3DモデリングソフトのSketchUpの基本操作を学習した後、Jw_cadの図面をSketchUpでモデリングして建築のパースを作成します。後半では、コンセプトを検討し、コンセプトに応じたデザインを3D図形に適用し、それらをプレゼンテーション図面としてまとめ、プレゼンテーションを行います。	2
現代社会学部 総合社会学科	大西昭彦	SS2105-Y51	マスコミ論	暗箱のなかの小さな針穴から、私たちは世界をのぞき、ときに声をだしています。この針穴が「メディア」であり、それを通じた情報のやりとりが「マス・コミュニケーション（マスコミ）」です。授業では、現代および歴史に例をとりながら、さまざまなマス・メディアが果たしてきた役割を検証。自分たちがいまどこにいるのか、どこに向かっているのかを知る能力をやしません。	2
現代社会学部 総合社会学科	大西昭彦	SS2218-Y01	ジャーナリズム論（1）新聞研究	ジャーナリズムについての授業です。「新聞研究」という科目名ですが、新聞というメディアだけにとらわれず、報道やニュースにかかわる知識・理解を深めるためのカリキュラムを組んでいます。社会という「都市」を生きるには、情報という「地図」が必要です。この情報の重要な部分がニュースです。授業では、さまざまなニュースに例をとりながら、社会の動きや報道の仕組みを理解。社会という地図のなかに自分をマッピングできる能力をやしません。	2
現代社会学部 総合社会学科	中村嘉雄	SE2305-Y01	地域産業論	この科目は、将来企業等に就職して社会に出たとき役立つ授業です。まず現代社会において、地域経済や産業にどのような問題が起きているのか見ていきます。次にそれらの問題点は何か、どのような政策がとられてきたのかを概観します。そして産業集積の過去・現状・未来について論じます。特に、兵庫県内の地場産業に焦点を当てて、地域経済・地域中小企業の活性化に向けた取り組み事例を紹介し、地域産業のあり方について考察します。さらに衰退する地域創生のあり方についても詳しく説明します。その後、グループに分かれて「地域資源を活用した地域活性化」、「商店街の活性化」、「地域中小企業の取り組み」などの課題を選び、現状分析や地域活性化に向けた実習及び提案を行ってもらいます。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
現代社会学部 総合社会学科	田中栄治	CS2401-Y07	卒業研究	身近な建築・インテリアに対して、学生が各自で自分の研究テーマを設定し、調査・分析・考察を行って卒業論文・卒業設計にまとめます。身近なモノからインテリア、住宅、建築、街の空間、あるいは身近な自然の活用までが対象となります。授業は演習形式で行います。春学期は、身近な建築・インテリアに対して、各自で自分のテーマと問いを設定し、既存研究レビューや資料収集・考察を通して、具体的な調査計画を立てて調査を実施、もしくは具体的な設計コンセプトを立ててエスキースを実施します。秋学期は、調査もしくはエスキースによって得られたデータや提案を客観的に分析・考察し、各自が卒業論文あるいは卒業設計としてまとめます。	4
現代社会学部 総合社会学科	田中栄治	SA2101-Y01	建築文化史（1）	建築を学ぶ時に、過去の建築の歴史を知ることが最も基本的なことのひとつです。本講では、近世以前の日本および西洋の建築の歴史について、日本の建築は神社や寺院などの用途ごとの変遷を、西洋の建築は時代ごとの様式の歴史を概観します。それにより、近代から現代における日本の建築の歴史的背景を理解するための基礎知識を学びます。授業はスライドと視聴覚メディア（DVD等）を活用しながら講義形式で進め、授業内容をより具体的に理解するためにアクティブ・ラーニングとしてフィールドワークを行います。フィールドワークは学外において建築の見学・講義を行います。そこでわかったことを各自小レポートにまとめてください。また、DVD等の映像を通して建築家の設計した建築や建築設計の実例に関する知識を深めます。	2
現代社会学部 総合社会学科	田中栄治	SA2108-Y51	建築文化史（2）	建築を学ぶ時に、過去の建築の歴史を知ることが最も基本的なことのひとつです。本講では、現代の日本の建築の歴史的背景を理解するために必要な近現代建築史についての基礎知識を学びます。授業は集中講義とし、スライドと視聴覚メディア（DVD等）を活用しながら講義形式で進め、授業内容をより具体的に理解するためにアクティブ・ラーニングとしてフィールドワークを行います。フィールドワークは学外において建築の見学・講義を行います。そこでわかったことを各自小レポートにまとめてください。また、DVD等の映像を通して建築家の設計した建築や建築設計の実例に関する知識を深めます。	2
現代社会学部 総合社会学科	田中栄治	SA2109-Y81	建築材料	様々な建築材料を適切に選択し使用するための基礎知識を学びます。主に構造躯体に用いられる木材、鋼材、コンクリートを中心として学習するほか、建築各部の建築材料の種類と性質についても学びます。授業はスライドと視聴覚メディア（DVD等）を活用しながら講義形式で進め、授業内容をより具体的に理解するためにアクティブ・ラーニングとしてフィールドワークを行います。フィールドワークは工場や資料館などにて建築材料実物の見学および講義を行う予定で、そこでわかったことを各自小レポートにまとめてください。	2
現代社会学部 総合社会学科	田中栄治	SA2110-Y71	インテリアコーディネート論（1）	インテリアコーディネートに必要な知識のうち、インテリアの歴史とインテリアエレメントについての基礎知識を習得します。授業は集中講義とし、スライドと視聴覚メディア（DVD等）を活用しながら講義形式で進め、授業内容をより具体的に理解するためにアクティブ・ラーニングとしてフィールドワークを行います。フィールドワークは博物館やインテリアショップなどにて住宅の内装や家具の見学および講義を行い、そこでわかったことを各自小レポートにまとめてください。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
現代社会学部 総合社会学科	田中栄治	SA2202-Y01	住居学	人間の最も基本的な生活環境である住まいについて、古代から現代までの日本の住まいの歴史と、戦後の日本の住まいの問題に関する基礎知識を学びます。授業はスライドと視聴覚メディア（DVD等）を活用しながら講義形式で進め、授業内容をより具体的に理解するためにアクティブ・ラーニングとしてのフィールドワークを行います。フィールドワークは学外においてショールームや行政の取り組みの見学・講義を行います。そこでわかったことを各自レポートにまとめてください。また、DVD等の映像を通して建築家の設計した住宅に関する知識を深めます。	2
現代社会学部 総合社会学科	田中栄治	SA2204-Y51	建築一般構造（2）	建築の安全性の基礎となる建築構造の分類、特徴、構法などについての基礎知識を学びます。この授業では、おもに鉄骨構造・鉄筋コンクリート構造についての基礎知識を学びます。スライドと視聴覚メディア（DVD等）を活用しながら講義形式ですすめ、授業内容をより具体的に理解するためにアクティブ・ラーニングとしてフィールドワークを行います。フィールドワークは神戸にある鉄骨構造建築や鉄筋コンクリート構造建築の見学および講義を行い、そこでわかったことを各自小レポートにまとめてください。	2
現代社会学部 総合社会学科	田中栄治	SA2303-Y51	建築・インテリア法規	建築の専門家として必要な法規について、その体系と各種基準を学びます。授業は講義形式ですすめ、授業内容をより具体的に理解するためにアクティブ・ラーニングとしてフィールドワークを行います。建築基準法とその関係法規の基本的知識の習得のため、下の内容の講義を行います。具体的には法文の読み方や各種規制項目の関連性などを学びます。また、法の基準だけではなく法の目的を理解し、ひいては建築技術者としての社会的責任を理解し、技術者倫理を育成することを目指します。	2
現代社会学部 総合社会学科	田中栄治	SA2304-Y01	都市環境論	現代社会における地域環境の抱える課題を把握し、より良い地域環境を形成して持続発展するために、特に地域環境デザインの視点から、都市緑化・環境建築・都市景観などについての基礎を学びます。授業は集中講義とし、スライドと視聴覚メディア（DVD等）を活用しながら講義形式で進め、授業内容をより具体的に理解するためにアクティブ・ラーニングとしてフィールドワークを行います。フィールドワークは都市緑化や環境建築、都市景観などのまちづくり事例の見学と講義を行い、そこでわかったことを各自小レポートにまとめてください。	2
現代社会学部 総合社会学科	田中栄治	SA2309-Y51	建築生産	建築の企画から設計・建設・維持・解体までの建築生産プロセスの基礎知識を学び、また建築施工における品質・コスト・工程・安全衛生等の管理について学びます。また、ファシリティマネジメントの基礎知識を学びます。授業はスライドと視聴覚メディア（DVD等）を活用しながら講義形式で進め、授業内容をより具体的に理解するためにアクティブ・ラーニングとしてフィールドワークを行います。フィールドワークは建設現場などの見学および講義を行い、そこでわかったことを各自小レポートにまとめてください。	2
現代社会学部 総合社会学科	田中栄治	SA2310-Y01	地域環境論	現代社会における地域環境の抱える課題を把握し、より良い地域環境を形成して持続発展するために、特に地域環境デザインの視点から、都市緑化・環境建築・都市景観などについての基礎を学びます。授業は集中講義とし、スライドと視聴覚メディア（DVD等）を活用しながら講義形式で進め、授業内容をより具体的に理解するためにアクティブ・ラーニングとしてフィールドワークを行います。フィールドワークは都市緑化や環境建築、都市景観などのまちづくり事例の見学と講義を行い、そこでわかったことを各自小レポートにまとめてください。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
現代社会学部 総合社会学科	伏木真理子	SE2101-Y01	生活と経済	<p>・私たちはお金で商品やサービスを買って生活しているが当たり前と思っているこの仕組みはどのようにしてできて来たのだろうか。そもそもお金とは何だろう。様々なものにマニュアル（取扱説明書）がついているが、振り返ればお金にはマニュアルがついていない。この授業ではこれらの素朴な疑問からスタートし、現代社会における種々の問題について基礎的な経済学の理論にも触れながら概説する。またその使い方によっては人を幸福にも不幸にもするお金の、言わばマニュアルに当たる、お金の管理・運用等についても習得する。</p> <p>・授業は、基本的には配付資料と視聴覚教材を用いて講義形式で進めるが、講師の発問に対しての応答、意見表明等を求める場合もある。株式学習ゲーム [アクティブ・ラーニング (グループワーク)] も活用するが、チーム単位で会社や経済社会に関する情報を収集し、意見交換 (ディスカッション) を通して分析し、投資する会社を選定していく。また、その結果に関する発表 (プレゼンテーション) も行ってもらう。</p>	2
現代社会学部 総合社会学科 合計					84

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
現代社会学部 観光学科	一尾敏正	CC2216-Y51	特殊講義IX	この科目はホスピタリティ産業におけるマネジメント力を身につけることを目的とします。具体的には、学術的な側面としてHospitalityとServiceの違いを明確にします。どちらもその行為を受けた人は良い気分になるでしょう。この2つの言葉の違いを、その語源、宗教、歴史から学びます。そして、日本語としての「おもてなし」のルーツを考察します。次に、ホスピタリティ産業についてホスピタリティ精神の視点で考察します。ホスピタリティ産業のなかでどの様に企業戦略のなかで活かされているのか。最も重要なのはコアコンピタンスとして企業の佐差別化要因にするにはどうすればよいのでしょうか。その答えを、国内外で評価される企業の事例を考察することで受講者自身が理解を深めていきます。学修を通して受講者が自ら課題の発見や解決の糸口を見付け出すことが講義の目的です。授業は講義、ディスカッション、発表で構成されます。	2
現代社会学部 観光学科	一尾敏正	CS2101-Y10	卒業研究	この科目は学びのまとめとして卒業論文の作成を目的としています。これまでの学びから興味を持ったテーマに基づき調査、分析、仮説、提言にまとめます。授業は研究テーマの設定、研究計画の策定、参考文献、先行研究の調査、分析を指導します。1年間じっくり研究テーマに取り組み卒業論文をまとめます。	4
現代社会学部 観光学科	一尾敏正	CS2302-Y03	専門研究 I	この授業では、企業や地域団体と連携しながら、実社会に根差した問題群をテーマとして取り上げ、それらの問題を解決するため「Team」あるいは「Learning Community」を形成し、これまで学んだ知識や技術を統合的に活用しながら共同で探究活動を行います。その探究活動の過程において、ものごとの見方や考え方、資料・データの収集と分析の方法、議論の進め方、柔軟な発想力、深く考える力、他者への理解や共感、不足する知識や技術への気づきと自己能動的学習による知識や技術の修得、プレゼンテーション力など様々な学びにより、資質を磨きあげることが目的とします。授業の概要①ホテルの市場環境と競争原理の理解②観光あるいは地域における宿泊業の役割③組織におけるパフォーマンスの発揮④グローバル企業とホテル事業の理解演習は講義、ディスカッション、フィールドワーク、発表などで構成されます。	2
現代社会学部 観光学科	一尾敏正	CS2303-Y03	専門研究 II	この授業では、企業や地域団体と連携しながら、実社会に根差した問題群をテーマとして取り上げ、それらの問題を解決するため「Team」あるいは「Learning Community」を形成し、これまで学んだ知識や技術を統合的に活用しながら共同で探究活動を行います。その探究活動の過程において、ものごとの見方や考え方、資料・データの収集と分析の方法、議論の進め方、柔軟な発想力、深く考える力、他者への理解や共感、不足する知識や技術への気づきと自己能動的学習による知識や技術の修得、プレゼンテーション力など様々な学びにより、資質を磨きあげることが目的とします。授業の概要①ホテルの市場環境と競争原理の理解②観光あるいは地域における宿泊業の役割③組織におけるパフォーマンスの発揮④グローバル企業とホテル事業の理解演習は講義、ディスカッション、フィールドワーク、発表などで構成されます。	2
現代社会学部 観光学科	一尾敏正	CS2402-Y10	卒業論文	この科目は学びのまとめとして卒業論文の作成を目的としています。これまでの学びから興味を持ったテーマに基づき調査、分析、仮説、提言にまとめます。授業は研究テーマの設定、研究計画の策定、参考文献、先行研究の調査、分析を指導します。1年間じっくり研究テーマに取り組み卒業論文をまとめます。	4

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
現代社会学部 観光学科	一尾敏正	TB2101-Y01	ホテルビジネス	この科目はホテル業のオペレーション業務の基本能力を身につけることを目的とします。具体的にはグローバルな視点でホテル事業を考察し、立地、事業形態、オペレーション、ポジショニングなど具象的な事例を実務経験を基に授業を進めます。授業は講義、ディスカッション、発表で構成されます。	2
現代社会学部 観光学科	一尾敏正	TB2104-Y01	ホテル事業論	この科目はホテル業のオペレーション業務の基本能力を身につけることを目的とします。具体的にはグローバルな視点でホテル事業を考察し、立地、事業形態、オペレーション、ポジショニングなど具象的な事例を実務経験を基に授業を進めます。授業は講義、ディスカッション、発表で構成されます。	2
現代社会学部 観光学科	一尾敏正	TB2115-Y51	ホスピタリティ論	この科目はホスピタリティ産業におけるマネジメント力を身につけることを目的とします。具体的には、学術的な側面としてHospitalityとServiceの違いを明確にします。どちらもその行為を受けた人は良い気分になるでしょう。この2つの言葉の違いを、その語源、宗教、歴史から学びます。そして、日本語としての「おもてなし」のルーツを考察します。次に、ホスピタリティ産業についてホスピタリティ精神の視点で考察します。ホスピタリティ産業のなかでどの様に企業戦略のなかで活かされているのか。最も重要なのはコアコンピタンスとして企業の差別化要因にするにはどうすればよいのでしょうか。その答えを、国内外で評価される企業の事例を考察することで受講者自身が理解を深めていきます。学修を通して受講者が自ら課題の発見や解決の糸口を見付け出すことが講義の目的です。授業は講義、ディスカッション、発表で構成されます。	2
現代社会学部 観光学科	一尾敏正	TB2302-Y01	テーマパーク・リゾートビジネス	この科目は観光をグローバルな視点で考察する能力を身につけることを目的とします。具体的にはテーマパークのとリゾートの2つのテーマで構成されます。一つ目にテーマパークが何故人々を魅了するのかを事例を研究することで理解します。2つ目に世界のリゾート、日本のリゾートを探究します。	2
現代社会学部 観光学科	一尾敏正	TB2303-Y01	リゾートビジネス論	この科目は観光をグローバルな視点で考察する能力を身につけることを目的とします。具体的にはテーマパークのとリゾートの2つのテーマで構成されます。一つ目にテーマパークが何故人々を魅了するのかを事例を研究することで理解します。2つ目に世界のリゾート、日本のリゾートを探究します。	2
現代社会学部 観光学科	一尾敏正	TB2306-Y51	ホテルマーケティング論	この科目はマーケティングをホテル事業を中心に学び、ホテルマーケティング能力を身につけることを目的とします。具体的にはホテル事業のマーケティングに関連する内容です。ホテルは製品を顧客に運ぶことができません。また、顧客の近くで販売もできません。そのようなビジネス環境の中で製品をどのような販売するか、価値を高めるの方法は何かなど学びます。授業は講義、ディスカッション、発表などで構成されます。	2
現代社会学部 観光学科	一尾敏正	TG2202-Y01	ユニバーサルツーリズム論	この科目は持続可能な社会を目指すなかでツーリズムの役割を理解し活用する能力を身につけることを目的とします。具体的にはバリアフリーとユニバーサルデザインの違いを理解し、ツーリズムを通じて持続可能な社会を作るためには何が必要かを学びます。さらに、ホスピタリティ精神の醸成を踏まえたユニバーサルツーリズムを理解することが概要です。授業は講義、ディスカッション、発表で構成されます。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
現代社会学部 観光学科	吉田誠	CC1108-Y51	グローバルコミュニケーション	グローバル化が進化した現代社会においては、自分とは異なる文化などの背景を持つ多様な人々とのコミュニケーションが求められます。本科目では、コミュニケーションと異文化理解に関する基本的な知識とグローバルコミュニケーションに求められる語学以外の実践的スキル、そしてその基礎となる他者との対話に必要な開かれた心、多角的思考の修得をめざします。本授業は、外部講師（ビジネスパーソン）を含めた複数教員によるオムニバス形式で行います。また、講義とともに、ディスカッション、ビジネスパーソンとの意見交換などのアクティブラーニングによる学習も行います。	2
現代社会学部 観光学科	吉田誠	CC1129-Y51	グローバルコミュニケーション入門	グローバル化が進化した現代社会においては、自分とは異なる文化などの背景を持つ多様な人々とのコミュニケーションが求められます。本科目では、コミュニケーションと異文化理解に関する基本的な知識とグローバルコミュニケーションに求められる語学以外の実践的スキル、そしてその基礎となる他者との対話に必要な開かれた心、多角的思考の修得をめざします。本授業は、外部講師（ビジネスパーソン）を含めた複数教員によるオムニバス形式で行います。また、講義とともに、ディスカッション、ビジネスパーソンとの意見交換などのアクティブラーニングによる学習も行います。	2
現代社会学部 観光学科	吉田誠	CS2101-Y11	卒業研究	本科目は、これまでの学修の集大成として、卒業論文を完成させることが目的です。また、これまで学修、修得した知識とスキルを統合的に活用し、調査研究活動を行い、調査研究活動の成果を、論文としてまとめるという過程を重視した指導を行います。特に、研究及び執筆過程において深く思考するという体験をすることに重点を置きます。	4
現代社会学部 観光学科	吉田誠	CS2401-Y11	卒業研究	本科目は、これまでの学修の集大成として、卒業論文を完成させることが目的です。また、これまで学修、修得した知識とスキルを統合的に活用し、調査研究活動を行い、調査研究活動の成果を、論文としてまとめるという過程を重視した指導を行います。特に、研究及び執筆過程において深く思考するという体験をすることに重点を置きます。	4
現代社会学部 観光学科	吉田誠	CS2402-Y11	卒業論文	本科目は、これまでの学修の集大成として、卒業論文を完成させることが目的です。また、これまで学修、修得した知識とスキルを統合的に活用し、調査研究活動を行い、調査研究活動の成果を、論文としてまとめるという過程を重視した指導を行います。特に、研究及び執筆過程において深く思考するという体験をすることに重点を置きます。	4
現代社会学部 観光学科	吉田誠	TB2202-Y01	観光ビジネスモデル論	本科目では、ビジネスモデル・キャンバスという手法をベースに、顧客の欲求を満足させる、あるいは、顧客の抱える問題を解決するために、価値を創造し、その価値を顧客に伝え、提供し、顧客の評価を知る仕組み、方法であるビジネスモデルをデザイン（構築）するために必要な、考え方やスキルを修得することを目的としています。絶えず変化する社会構造、市場環境の中でビジネスモデルも刻々と変化しています。そうした変化にも対応し、社会的なニーズに対応しながら革新的なビジネスモデルを創造できる力の獲得をめざします。	2
現代社会学部 観光学科	吉田誠	TC2302-Y01	農村地域活用法	本科目の目的は、来日外国人客の増加が顕著な日本の農村地域の観光資源の活用方法についてマーケティングの視点から学修します。農村地域の現状と課題、その背景要因について深く理解し、農村地域に地域資源の実践的な活用方法について、学外体験学修を通じて修得します。また、その過程において、調査活動、計画立案、企画提案に関する知識と技術を修得し、課題発見・解決する力、企画提案する力の成長につなげます。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
現代社会学部 観光学科	小山聖治	CC1201-Y01	観光マーケティング基礎	この授業では、「マーケティング」についての基礎的な理論を把握したうえで、観光産業における具体的な事例を交えながら、観光ビジネスを理解することを目的としています。新たなビジネスモデルの登場で旧来の大手旅行代理店の優位性が崩れつつあるほか、地域発展を目指した「観光による地方創生」の効果も期待されることなど、時代の変化による様々な要因を背景に消費者の旅行需要も変化しつつあります。これら多種多様な顧客ニーズを的確に捉え、顧客満足を最大化し、観光産業を発展させるためには「マーケティング」の発想が欠かせません。講義ではマーケティングの様々な機能を学び、ディスカッションを行います。その上で学んだことを活用してグループまたは個人発表を行います。	2
現代社会学部 観光学科	小山聖治	CS2101-Y12	卒業研究	本科目は、大学での学びと経験の総仕上げである卒業論文を執筆することを目的としています。ゼミ形式で進める授業のなかで、論文作成の手順や手続きを学び、自らの関心に基づいて専門分野を探究して課題を設定し、先行研究の精査と多様なデータの分析による客観的な論証を通じて、各自が説得力のある結論を導き出すことを目指します。卒業論文の作成は大学での学びの総括であるとともに、知の創造を体験することでもあります。この科目では研究のプロセスを自主的に学習することで新しい知を生み出すことを論文というカタチで実現させます。ゼミ生は、興味に応じて自由に論文のテーマを決め、関連文献に目を通し、データを収集し、毎週のゼミでの発表・討論を重ねながら、論文にまとめていきます。	4
現代社会学部 観光学科	小山聖治	CS2302-Y05	専門研究Ⅰ	このゼミではテーマを「ニューノーマル時代における観光復興に向けた新たな価値提案～地域資源＋経営資源の発見・活用・開発～」としています。学生は自発的に解決すべき問題を見つけ、学生中心に討議し解決と創造を考えていきます。学外実習では、観光関連企業などとの連携体験を通じて、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力向上につなげます。この授業では、企業や地域団体と連携しながら、実社会に根差した問題群をテーマとして取り上げ、それらの問題を解決するため「Team」あるいは「Learning Community」を形成し、これまで学んだ知識や技術を統合的に活用しながら共同で探究活動を行います。その探究活動の過程において、ものごとの見方や考え方、資料・データの収集と分析の方法、議論の進め方、柔軟な発想力、深く考える力、他者への理解や共感、不足する知識や技術への気づきと自己能動的学習による知識や技術の修得、プレゼンテーション力など様々な学びにより、資質を磨きあげることを目的とします。	2
現代社会学部 観光学科	小山聖治	CS2303-Y05	専門研究Ⅱ	このゼミではテーマを「ニューノーマル時代における観光復興に向けた新たな価値提案～地域資源＋経営資源の発見・活用・開発～」としています。学生は自発的に解決すべき問題を見つけ、学生中心に討議し解決と創造を考えていきます。学外実習では、観光関連企業などとの連携体験を通じて、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力向上につなげます。この授業では、企業や地域団体と連携しながら、実社会に根差した問題群をテーマとして取り上げ、それらの問題を解決するため「Team」あるいは「Learning Community」を形成し、これまで学んだ知識や技術を統合的に活用しながら共同で探究活動を行います。その探究活動の過程において、ものごとの見方や考え方、資料・データの収集と分析の方法、議論の進め方、柔軟な発想力、深く考える力、他者への理解や共感、不足する知識や技術への気づきと自己能動的学習による知識や技術の修得、プレゼンテーション力など様々な学びにより、資質を磨きあげることを目的とします。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
現代社会学部 観光学科	小山聖治	CS2401-Y12	卒業研究	本科目は、大学での学びと経験の総仕上げである卒業論文を執筆することを目的としています。ゼミ形式で進める授業のなかで、論文作成の手順や手続きを学び、自らの関心に基づいて専門分野を探索して課題を設定し、先行研究の精査と多様なデータの分析による客観的な論証を通じて、各自が説得力のある結論を導き出すことを目指します。卒業論文の作成は大学での学びの総括であるとともに、知の創造を体験することでもあります。この科目では研究のプロセスを自主的に学習することで新しい知を生み出すことを論文というカタチで実現させます。ゼミ生は、興味に応じて自由に論文のテーマを決め、関連文献に目を通し、データを収集し、毎週のゼミでの発表・討論を重ねながら、論文にまとめていきます。	4
現代社会学部 観光学科	小山聖治	TB2103-Y01	旅行ビジネス	旅行ビジネスを学ぶとき、まず知っておかなければならないことは、「価値の創造」という点です。ビジネスである以上、利益という経済的価値を生み出す必要がありますが、インターネットの登場で人々の関心事項が多様化、高度化しそれに伴い人の価値観も変化しており、それらに対応した価値の提供がビジネスの成功を左右します。この授業ではビジネスとしての旅行業の理解を深めることを目的とします。範囲が多岐にわたる為、毎回授業の前半に復習をかねたディスカッションを行います。	2
現代社会学部 観光学科	小山聖治	TB2203-Y51	観光交通産業論	飛行機、鉄道、バスに代表される交通機関は主として観光を構成する媒体として位置づけられるものの、観光コンテンツは観光客の移動によって演出されます。また、見る場所や位置によってその観光要素は変化し、同じ景色でもバスと電車の車窓からでは結果的に違う景観を見せる「場を提供する」という役割も持っています。この視座から見れば交通手段は観光風景の多様性を醸し出す手段と言えます。さらに、交通期間は単なる移動手段としての役割のみならず、乗り物自体が観光資源としての役割を演じるケースも多くみられます。このように観光における交通機関には、単に移動手段としての媒体のほか、観光地の魅力向上の仕掛けとしての役割を持つ観光には欠かせない要素です。この授業では交通と観光が相互に及ぼしあう影響や効果を十分に理解し、社会課題解決と交通機関が果たす経済的価値を学ぶことを目的とします。授業内では毎回復習を兼ねたディスカッションを行います。	2
現代社会学部 観光学科	小山聖治	TB2209-Y51	観光交通論	飛行機、鉄道、バスに代表される交通機関は主として観光を構成する媒体として位置づけられるものの、観光コンテンツは観光客の移動によって演出されます。また、見る場所や位置によってその観光要素は変化し、同じ景色でもバスと電車の車窓からでは結果的に違う景観を見せる「場を提供する」という役割も持っています。この視座から見れば交通手段は観光風景の多様性を醸し出す手段と言えます。さらに、交通期間は単なる移動手段としての役割のみならず、乗り物自体が観光資源としての役割を演じるケースも多くみられます。このように観光における交通機関には、単に移動手段としての媒体のほか、観光地の魅力向上の仕掛けとしての役割を持つ観光には欠かせない要素です。この授業では交通と観光が相互に及ぼしあう影響や効果を十分に理解し、社会課題解決と交通機関が果たす経済的価値を学ぶことを目的とします。授業内では毎回復習を兼ねたディスカッションを行います。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
現代社会学部 観光学科	小山聖治	TB2211-Y01	観光マーケティング論	この授業では、「マーケティング」についての基礎的な理論を把握したうえで、観光産業における具体的な事例を交えながら、観光ビジネスを理解することを目的としています。新たなビジネスモデルの登場で旧来の大手旅行代理店の優位性が崩れつつあるほか、地域発展を目指した「観光による地方創生」の効果が期待されることなど、時代の変化による様々な要因を背景に消費者の旅行需要も変化しつつあります。これら多種多様な顧客ニーズを的確に捉え、顧客満足を最大化し、観光産業を発展させるためには「マーケティング」の発想が欠かせません。講義ではマーケティングの様々な機能を学び、ディスカッションを行います。その上で学んだことを活用してグループまたは個人発表を行います。	2
現代社会学部 観光学科	小山聖治	TB2305-Y51	観光プロモーション論	観光プロモーションとは観光マーケティング活動における販売促進活動全般のことで、具体的には広告・広報（PR）、セールスプロモーションなどを指します。観光地や、観光商品・サービスの存在を多くの人に認知してもらい、認知させたい人に旅行の実施、商品・サービスの購買のための動機付けをすることがその役割です。消費者の考え方の変遷を取り上げながら観光産業におけるプロモーション事例を学びます。後半は学生作成によるケーススタディとディスカッションを中心に講義を進めます。その上で学んだことを活用してグループまたは個人発表を行います。	2
現代社会学部 観光学科	小山聖治	TC2102-Y01	観光地理学	観光地の現状、課題について、国内・海外の主要な観光地域を事例として学びます。歴史、産業、文化、自然環境などが関わることで観光地域、地域の創意工夫による開発が観光地の発展につながることを理解します。授業では観光に関係する地理的なコンテンツを広く浅く学び、グループワークでアイデアの発表も取り入れます。	2
現代社会学部 観光学科	小山聖治	TC2105-Y01	コンテンツツーリズム論	コンテンツの創造、保護及び活用の促進に関する法律によれば、「コンテンツ」とは人間の創造的活動により生み出されるもののうち、教養又は娯楽の範囲に属するものをいうとされています。一般的に言えば、映画、音楽、演劇、文芸、写真、漫画、アニメーション、コンピュータゲームなどです。一方、コンテンツとは「中身」という意味があり、広義では様々なコンテンツを対象にしたアイデアが生まれます。定住人口の減少を交流人口で補う目的で自治体を始めとした、様々なアクターがコンテンツツーリズムの活用積極的に取り組んでいます。本講義ではコンテンツを講義に扱いながら学びます。後半は学生作成によるケーススタディとディスカッションを中心に講義を進めます。その上で学んだことを活用してグループまたは個人で発表を行います。	2
現代社会学部 観光学科	小山聖治	TG2102-Y01	観光地理	観光地の現状、課題について、国内・海外の主要な観光地域を事例として学びます。歴史、産業、文化、自然環境などが関わることで観光地域、地域の創意工夫による開発が観光地の発展につながることを理解します。授業では観光に関係する地理的なコンテンツを広く浅く学び、グループワークでアイデアの発表も取り入れます。	2
現代社会学部 観光学科	小山聖治	TG2221-Y71	国際観光論	国際観光論では、送り出し国・受入国が存在するため両方の視点から各国・地域の国際観光市場の動きを学びます。各国の政治・経済・文化を含む国際観光事情だけでなく、インバウンド・アウトバウンド双方から観光がもたらす様々なプラス・マイナスの効果を学びます。授業では国際観光の歴史的背景を概観したうえで、将来に向けた持続可能な国際観光を考え、ディスカッションや発表を取り入れます。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
現代社会学部 観光学科	松村博之	CC2209-Y01	特殊講義Ⅱ	「国内旅行業務取扱管理者」の資格取得を目的とする。≪国家試験は毎年9月実施≫国内旅行業務におけるJR、国内航空、貸切バス、旅館、ホテルに関する学習を行う。観光関連産業におけるキャリア構築を行うには、基本的なスキルとして習得することが必要である。毎回、練習問題を実施し「確認テスト」(3回)を行う。	2
現代社会学部 観光学科	松村博之	CC2210-Y01	特殊講義Ⅲ	「国内旅行業務取扱管理者」の資格取得を目的とする。≪国家試験は毎年9月実施≫旅行業約款は、旅行者と旅行者間の取り決めであり、標準旅行業約款を中心に旅行業界に関する約款を学修する。約款の目的、企画旅行契約、手配旅行契約などの旅行業約款、JRなどの運送約款、宿泊約款などを系統だてて学習し、業界の仕事を理解する。	2
現代社会学部 観光学科	松村博之	CC2211-Y51	特殊講義Ⅳ	「国内旅行業務取扱管理者」の資格取得を目的とする。≪国家試験は毎年9月実施≫旅行業に関する法制度の基礎を理解し、旅行業務に関わる取引の公正の維持、旅行の安全確保、旅行者の利便増進につながるものとして制定されたものであり、それらを遂行するための各ルールがどのようなものであるのかを学修する。	2
現代社会学部 観光学科	松村博之	TB2111-Y01	国内旅行業務(2)	「国内旅行業務取扱管理者」の資格取得を目的とする。≪国家試験は毎年9月実施≫国内旅行業務におけるJR、国内航空、貸切バス、旅館、ホテルに関する学習を行う。観光関連産業におけるキャリア構築を行うには、基本的なスキルとして習得することが必要である。毎回、練習課題を実施し「確認テスト」(3回)を行う。	2
現代社会学部 観光学科	松村博之	TB2112-Y01	旅行業約款	「国内旅行業務取扱管理者試験」の資格取得を目的とする。≪国家試験は毎年9月実施≫旅行業約款は、旅行者と旅行者間の取り決めであり、標準旅行業約款を中心に旅行業界に関する約款を学修する。約款の目的、企画旅行契約、手配旅行契約などの旅行業約款、JRなどの運送約款、宿泊約款などを系統だてて学習し、業界の仕事を理解する。	2
現代社会学部 観光学科	松村博之	TB2113-Y51	旅行業法	「国内旅行業務取扱管理者」の資格取得を目的とする。≪国家試験は毎年9月実施≫旅行業に関する法制度の基礎を理解し、旅行業務に関わる取引の公正の維持、旅行の安全確保、旅行者の利便増進につながるものとして制定されたものであり、それらを遂行するための各ルールがどのようなものであるのかを学修する。	2
現代社会学部 観光学科	西村典芳	CB01b2-Y01	キャリアガイダンスⅠ	この授業では個人ワークやグループワークを用いて、職業や仕事に関する知識を広げていくとともに、自分の性格や価値観を客観的に把握して将来のキャリア像を考え、具体的な計画を立てていきます。みなさんの視野をひろげたり、視点を変えたり、様々な角度から社会や会社、仕事のことを見ていきます。第2部では、自分の特性・価値観などに気づき、その特性・価値観を生かせる職業は何か、その仕事をするためには今後どのような知識や技能を身につけなければならないのかを考え、短期的・中期的な計画を作成します。	2
現代社会学部 観光学科	西村典芳	CB01b3-Y51	キャリアガイダンスⅡ	■「仕事とキャリア形成Ⅰ」で学んだことがらをいかし、ワークショップ形式により様々なケースについて職業理解研究を行う。■21世紀に入り、我が国の社会構造も大きく変化し少子高齢社会へと向かっている。その中で学校教育から職業生活への移行について考え、職業についての理解を深める。■社会人基礎力について、様々な社会人経験者の話を聞き、実践的に学ぶ。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
現代社会学部 観光学科	西村典芳	CC1107-Y51	観光産業入門	本科目の学習目標はディプロマ・ポリシーの「1. 自律的で主体的な態度」と「2. 社会に能動的に貢献する姿勢」「3. 多様な文化やその背景を理解し受け容れる能力」「6. 専門知識・技能の活用力」の学修に関連しています。① 観光産業論と言うと旅行業務特化の観が強いが、今回の授業では特に観光ビジネスの意味に注力し、観光の仕組みや観光産業全般への理解を深める。② 観光産業に携わるために必要な知識と資格等について知ってもらいたい。③ 観光産業の社会的・経済的役割を把握し、観光の楽しさとやりがいを体得してもらいたい。【履修注意】① 毎回、講義後に、小レポート（感想・質問・希望等）を提出してもらう。② 授業中、質問を投げかけ、意見を聴取するので、積極的な姿勢で授業に臨んでもらいたい。	2
現代社会学部 観光学科	西村典芳	CC1128-Y51	観光ビジネス入門	本科目の学習目標はディプロマ・ポリシーの「1. 自律的で主体的な態度」と「2. 社会に能動的に貢献する姿勢」「3. 多様な文化やその背景を理解し受け容れる能力」「6. 専門知識・技能の活用力」の学修に関連しています。① 観光産業論と言うと旅行業務特化の観が強いが、今回の授業では特に観光ビジネスの意味に注力し、観光の仕組みや観光産業全般への理解を深める。② 観光産業に携わるために必要な知識と資格等について知ってもらいたい。③ 観光産業の社会的・経済的役割を把握し、観光の楽しさとやりがいを体得してもらいたい。【履修注意】① 毎回、講義後に、小レポート（感想・質問・希望等）を提出してもらう。② 授業中、質問を投げかけ、意見を聴取するので、積極的な姿勢で授業に臨んでもらいたい。	2
現代社会学部 観光学科	西村典芳	CC2209-Y03	特殊講義Ⅱ	この授業では個人ワークやグループワークを用いて、職業や仕事に関する知識を広げていくとともに、自分の性格や価値観を客観的に把握して将来のキャリア像を考え、具体的な計画を立てていきます。みなさんの視野をひろげたり、視点を変えたり、様々な角度から社会や会社、仕事のことを見ていきます。第2部では、自分の特性・価値観などに気づき、その特性・価値観を生かせる職業は何か、その仕事をするためには今後どのような知識や技能を身につけなければならないのかを考え、短期的・中期的な計画を作成します。	2
現代社会学部 観光学科	西村典芳	CC2215-Y51	特殊講義Ⅶ	■「仕事とキャリア形成Ⅰ」で学んだことがらをいかし、ワークショップ形式により様々なケースについて職業理解研究を行う。■21世紀に入り、我が国の社会構造も大きく変化し少子高齢社会へと向かっている。その中で学校教育から職業生活への移行について考え、職業についての理解を深める。■社会人基礎力について、様々な社会人経験者の話を聞き、実践的に学ぶ。	2
現代社会学部 観光学科	西村典芳	CS1201-Y04	課題研究Ⅰ	この科目では、地域や企業との連携によるプロジェクトへの参画、地域住民やビジネスパーソンとの交流などの学外体験学習を通じて、基礎演習で学修した自発的・能動的な行動力、コミュニケーション力、課題の発見・解決力、情報収集・分析力をさらに実践的な力として高めることを目指します。また、基本的なビジネスマナーの修得も併せて目指します。	2
現代社会学部 観光学科	西村典芳	CS1202-Y04	課題研究Ⅱ	この科目では、地域や企業との連携によるプロジェクトへの参画、地域住民やビジネスパーソンとの交流などの学外体験学習を通じて、基礎演習で学修した自発的・能動的な行動力、コミュニケーション力、課題の発見・解決力、情報収集・分析力をさらに実践的な力として高めることを目指します。また、基本的なビジネスマナーの修得も併せて目指します。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
現代社会学部 観光学科	西村典芳	TB2109-Y51	ヘルスツーリズム論	我が国において医療費の高騰が社会問題化する中、予防策としての健康サービスの重要性がクローズアップされている。経済産業省では、「健康サービス創造研究会報告書」において、健康サービスのあり方について具体的なモデルを提示しており、その一例として地域資源を活用した健康プログラムとしてウエルネスツーリズムを取り上げている。ウエルネスツーリズムは、観光サービスと健康サービスの両側面を有するが、本講座では特に温泉療法、運動療法、森林セラピーなどの自然療法に着目し、我が国におけるウエルネスツーリズムに求められる要素及び今後の施策の方向性について学ぶ。この講座は、3年時以降の専門分野の研究の基礎となるテーマについて学ぶ。	2
現代社会学部 観光学科	西村典芳	TB2208-Y01	外食産業論	地域の「食」や「食文化」を「観光資源」としてとらえた観光振興が注目されている。本講義では、「地域の食」を「観光」と結びつけたフードツーリズムについて学ぶ。料理やワインが生まれた背景となる歴史や地理を学び、飲食への楽しみを広げる。また、飲食を提供するレストランや近年人気の高まるワインについての基本的な知識も身に付ける。	2
現代社会学部 観光学科	西村典芳	TR2205-Y01	フードツーリズム論	地域の「食」や「食文化」を「観光資源」としてとらえた観光振興が注目されている。本講義では、「地域の食」を「観光」と結びつけたフードツーリズムについて学ぶ。料理やワインが生まれた背景となる歴史や地理を学び、飲食への楽しみを広げる。また、飲食を提供するレストランや近年人気の高まるワインについての基本的な知識も身に付ける。	2
現代社会学部 観光学科	西村典芳	TR2206-Y51	ウエルネスツーリズム論	我が国において医療費の高騰が社会問題化する中、予防策としての健康サービスの重要性がクローズアップされている。経済産業省では、「健康サービス創造研究会報告書」において、健康サービスのあり方について具体的なモデルを提示しており、その一例として地域資源を活用した健康プログラムとしてウエルネスツーリズムを取り上げている。ウエルネスツーリズムは、観光サービスと健康サービスの両側面を有するが、本講座では特に温泉療法、運動療法、森林セラピーなどの自然療法に着目し、我が国におけるウエルネスツーリズムに求められる要素及び今後の施策の方向性について学ぶ。この講座は、3年時以降の専門分野の研究の基礎となるテーマについて学ぶ。	2
現代社会学部 観光学科	西村典芳	TR2301-Y51	スポーツツーリズム論	平成23年6月に取りまとめられた「スポーツツーリズム推進基本方針」を踏まえ、スポーツ及び観光に関わる多くの方々に活用され、スポーツツーリズムの一層の推進が図られることを期待されている。「観るスポーツ」ではプロ野球、Jリーグをはじめ高いレベルを誇る競技が数多くあり、多くのファンを魅了している。次に、「するスポーツ」ではランニング、ウォーキング、サイクリングなどが世代を超えて人気を集め、スポーツイベントに集う人々が地域に活力を与えている。さらに、地域に密着したスポーツチームの運営、市民ボランティアとしての大会支援、国や地域を挙げての国際競技大会・キャンプ誘致等の「支えるスポーツ」は、国・地域の魅力の効果的発信に寄与している。これら魅力あるスポーツ資源を最大限に活用し、異なる地域や国の人々の交流を呼び起こし、国内観光振興及びインバウンド拡大につながることを学ぶ。	2
現代社会学部 観光学科	福本賢太	TB2107-Y01	クルーズビジネス論	クルーズ旅行を企画するためには、提供するサービス内容の他、クルーズビジネスに関わる基礎知識を理解する必要があります。その特性を理解した上で、消費者行動・マーケティングに関する基本的な仕組みの理解も求められます。本授業は専門教育科目（観光ビジネス専攻）に位置付けられ、顧客満足を満たすクルーズ旅行の企画立案へむけた基礎的な知識を身につけるため、クルーズ旅行の企画書作成・行程表作成へ取り組み、企画立案技能を醸成することを目指します。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
現代社会学部 観光学科 合計					120

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
大学院人間行動学研究科	山本喜晴	25108	投影法特論Ⅱ	投影法の中でも、習熟に時間を要する描画法について学ぶ。特に、風景構成法・BAUMテスト・スクイッグル・箱庭について理解を深める。描画に触発されて生じるさまざまな感情や感覚、気持ちを時間をかけて丁寧に味わい、振り返り、受講者で共有していくことで、心理臨床で求められる治療的態度について学ぶ。	2
大学院人間行動学研究科	中尾繁樹	30044	発達障害教育特別演習Ⅰ	具体的なテーマに沿った実践研究を行うことにより、発達障害に関する分野での実践・研究に必要なとなる現場体験及び文献講読による実践分析力と研究方法のと習得をめざす。発達障害児における現場での課題と心理・教育学的に検討するための具体的方法論を知り、また最新の研究動向を知る中で、現在の発達障害教育の教育課題に対するエビデンスの収集と問題のたて方と研究方法を学ぶ。	2
大学院人間行動学研究科	中尾繁樹	30542	発達障害教育特別演習Ⅱ	具体的なテーマに沿った実践研究を行うことにより、発達障害に関する分野での実践・研究に必要なとなる現場体験及び文献講読による実践分析力と研究方法のと習得をめざす。発達障害児における現場での課題と心理・教育学的に検討するための具体的方法論を知り、また最新の研究動向を知る中で、現在の発達障害教育の教育課題に対するエビデンスの収集と問題のたて方と研究方法を学ぶ。	2
大学院人間行動学研究科	中尾繁樹	30544	特別支援教育実践研究	具体的なテーマに沿った実践研究を行うことにより、特別支援教育学の分野での実践・研究に必要なとなる現場での実践分析力と研究方法の習得をめざす。特別支援教育における現場での課題と心理・教育学的に検討するための具体的方法論を知り、また最新の研究動向を知る中で、現在の特別支援教育の教育課題に対するエビデンスの収集と問題のたて方と研究方法を学ぶ。	2
大学院人間行動学研究科	道中 隆	30511	教育環境学特論	日本における格差社会の中で、子どもの貧困問題をはじめとするさまざまな問題がクローズアップされている。こうした子どもの教育や発達上の問題、健康問題が発生する過程については、この間、蓄積された先行研究によって多くのことが解明されてきた。ここでは、具体的なテーマに沿った文献購読を行うことにより、教育社会学、福祉政策学などの関連分野で必要となる概念と研究方法論の習得をめざす。本授業のテーマに関する文献を収集し、輪読を通して、論点を整理・分析する。その上で課題に対する政策や研究方法論を理解するとともに課題解決への仮説生成や論点整理を行う。特に、貧困世帯をめぐる子どもの発達や健康、教育への影響に視座に課題解決に向けた研究の意義を理解し、現場実践への示唆を考える。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
大学院人間行動学研究科	百瀬和夫、中尾繁樹	30031	スクールインターンシップ	授業の概要1 院生もしくは院生の所属する学校が直面している教育実践上の課題について、理論と実践の融合を念頭に、実践と省察を繰り返しながら課題解決を図る実践的研究（アクション・リサーチ）のための事前指導を行う。2 インターンシップ実践校での、① 課題確定、② 予備調査、③ 仮説の設定、④ 実践研究⑤ 研究結果の分析と検証、研究報告書の作成と言った一連の研究活動の省察をワークショップの手法を用いて協同的に行い、研究論文作成のための中間、事後の指導を行う。3 研究の手法 実践的研究（アクション・リサーチ）研究の主体を院生自身として、特定の学校・学級で起きている教育的課題を望ましい方向へ改善していくことを主眼とする。そのため、当面する教育課題を明らかにし、関連する先行研究等を参考に、院生自ら解決のための方策・手立てを考え、課題解決のためのアクション（学校全体としての取組や個々の授業づくり）を起こし、その成果についてリサーチ（分析、考察等の追究）をしながら課題解決を図る。4 インターンシップ実践校での実践的研究の研究結果（指導案、調査結果、ビデオ記録、ICレコーダー記録、観察記録等）を週1回大学へ持ち帰り省察をする。	2
大学院人間行動学研究科 合計					12

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科	授業担当教員	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
大学院看護学研究科	高見沢恵美子	41016	急性看護学特論	【概要】危機理論および関連する概念から、危機状態にある人の反応と変化の過程について学修する。さらに、危機理論に基づき危機状態からの回復を促す援助について考察を深める。	2
大学院看護学研究科	高見沢恵美子	41017	急性看護学演習	【概要】急性看護学で学修した知識をもとに、急性期患者・家族に必要な看護援助について理解を深め、自らの研究課題を明確にするために国内外の文献を検討し、文献レビュー・クリティーク・プレゼンテーション・ディスカッションにより急性看護の課題を明確にする。	8
大学院看護学研究科	高見沢恵美子、岡光京子、櫻井信人、山内豊明	41009	フィジカルアセスメントⅠ	【概要】複雑な健康問題をもった対象の全身状況について、系統的に診査し臨床看護判断を行うために必要な知識を学修する。さらに、知識に基づきフィジカルアセスメントに必要な技術を習得し、対象者の身体状態をアセスメントする能力を養う。	2
大学院看護学研究科	川畑摩紀枝、浜野孝、道中 隆	41012	保健・医療・福祉政策特論	グローバルな視点からわが国の少子高齢化社会の抱える課題を理解し、現在の保健医療福祉政策および関連する制度、また看護関連政策および制度の動向を理解する。これらの理解を踏まえて、各自の研究課題の意義を考察する。	2
大学院看護学研究科 合計					14
総計					771